

Ⅲ 児童調査結果

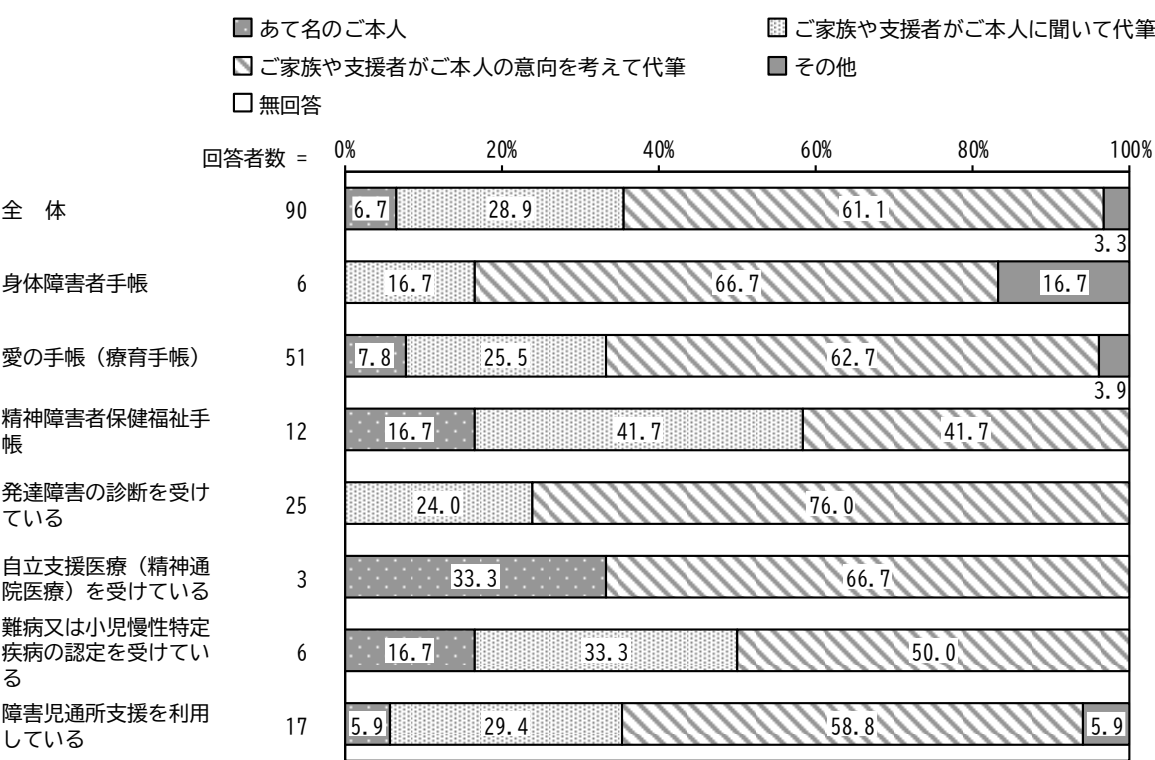
あなた（あて名のご本人）自身について

問1 この調査票にご回答いただくのは、どなたですか。（○印は1つ）

「あて名のご本人」の割合が 6.7%、「ご家族や支援者がご本人に聞いて代筆」の割合が 28.9%、「ご家族や支援者がご本人の意向を考えて代筆」の割合が 61.1%となっています。

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「あて名のご本人」「ご家族や支援者がご本人に聞いて代筆」、発達障害の診断を受けているで「ご家族や支援者がご本人の意向を考えて代筆」の割合が高くなっています。

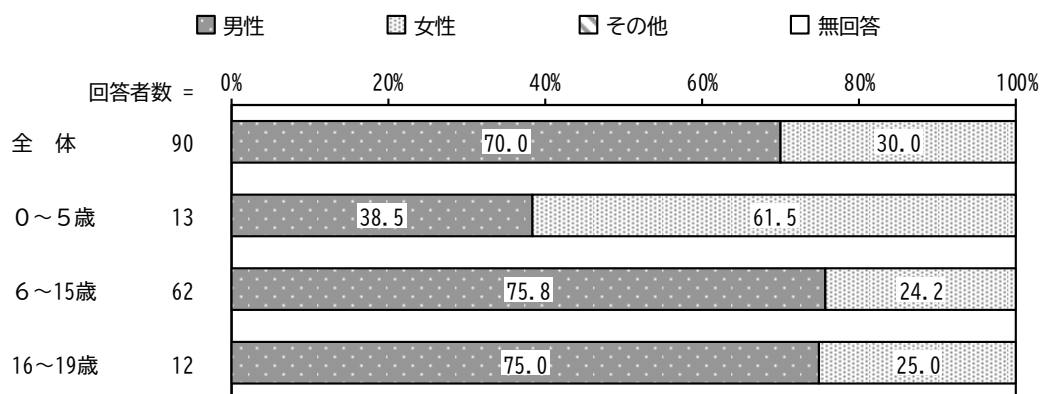


問2 あなたの性別は、次のうちどれですか。(○印は1つ)

「男性」の割合が70.0%、「女性」の割合が30.0%となっています。

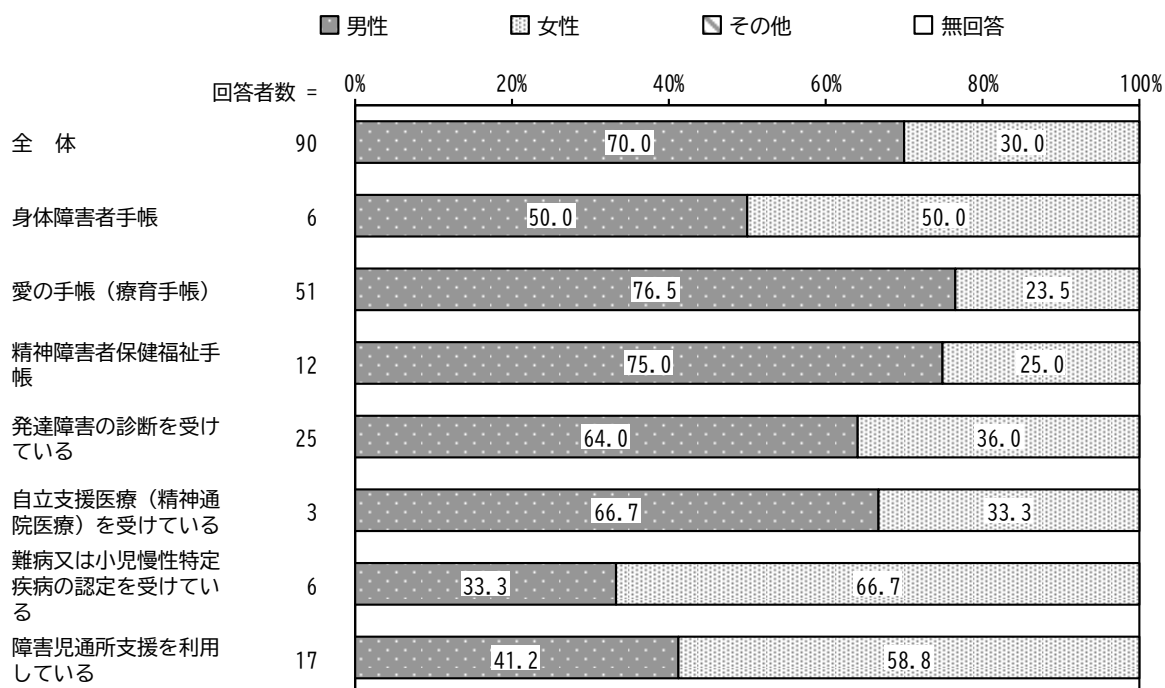
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「女性」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「女性」の割合が高くなっています。

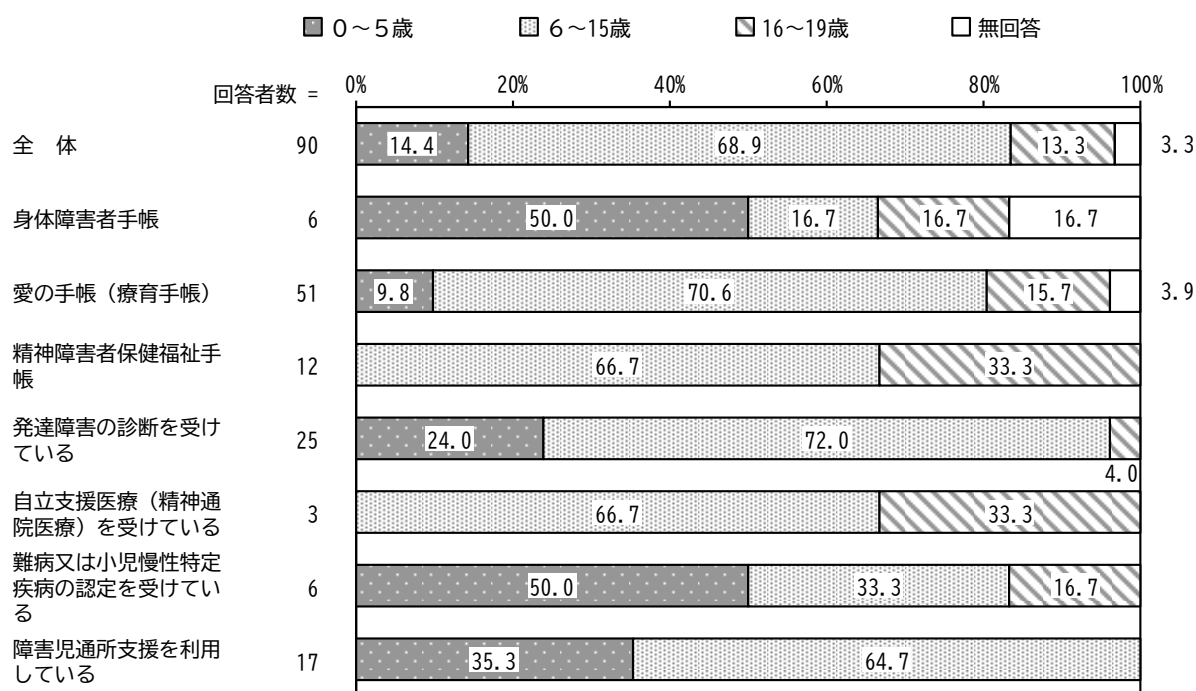


問3 あなたの年齢（令和8年4月1日現在）をお答えください。

「0～5歳」の割合が14.4%、「6～15歳」の割合が68.9%、「16～19歳」の割合が13.3%となっています。

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「0～5歳」、精神障害者保健福祉手帳で「16～19歳」の割合が高くなっています。

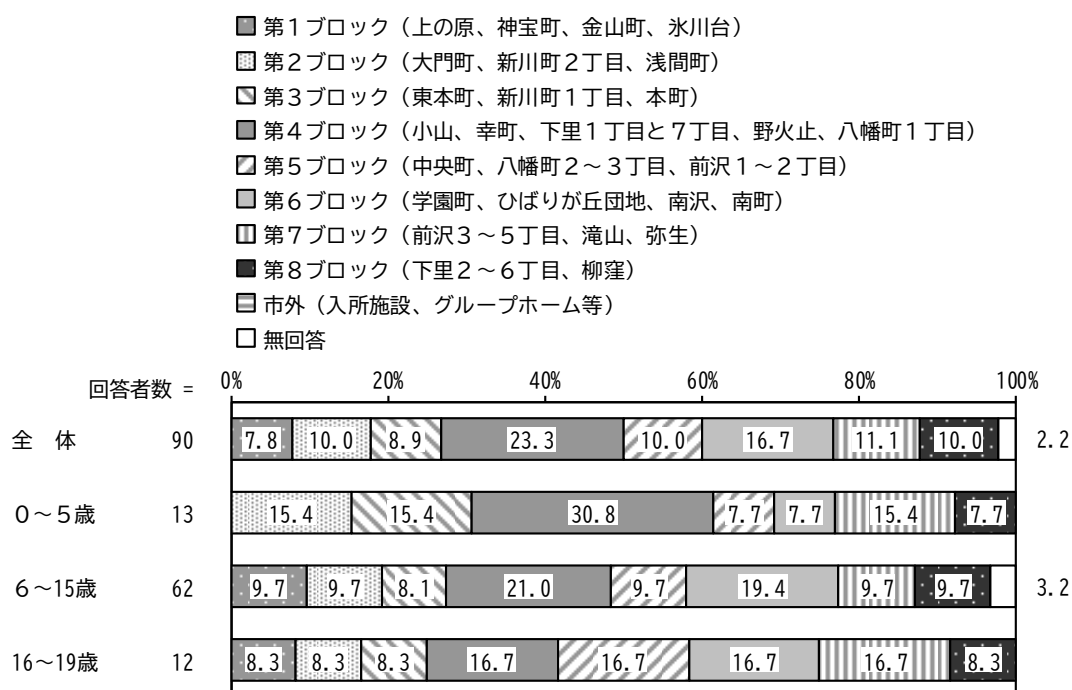


問4 あなたのお住まいをお聞きます。(○印は1つ)

「第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目）」の割合が23.3%と最も高く、次いで「第6ブロック（学園町、ひばりが丘団地、南沢、南町）」の割合が16.7%、「第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生）」の割合が11.1%となっています。

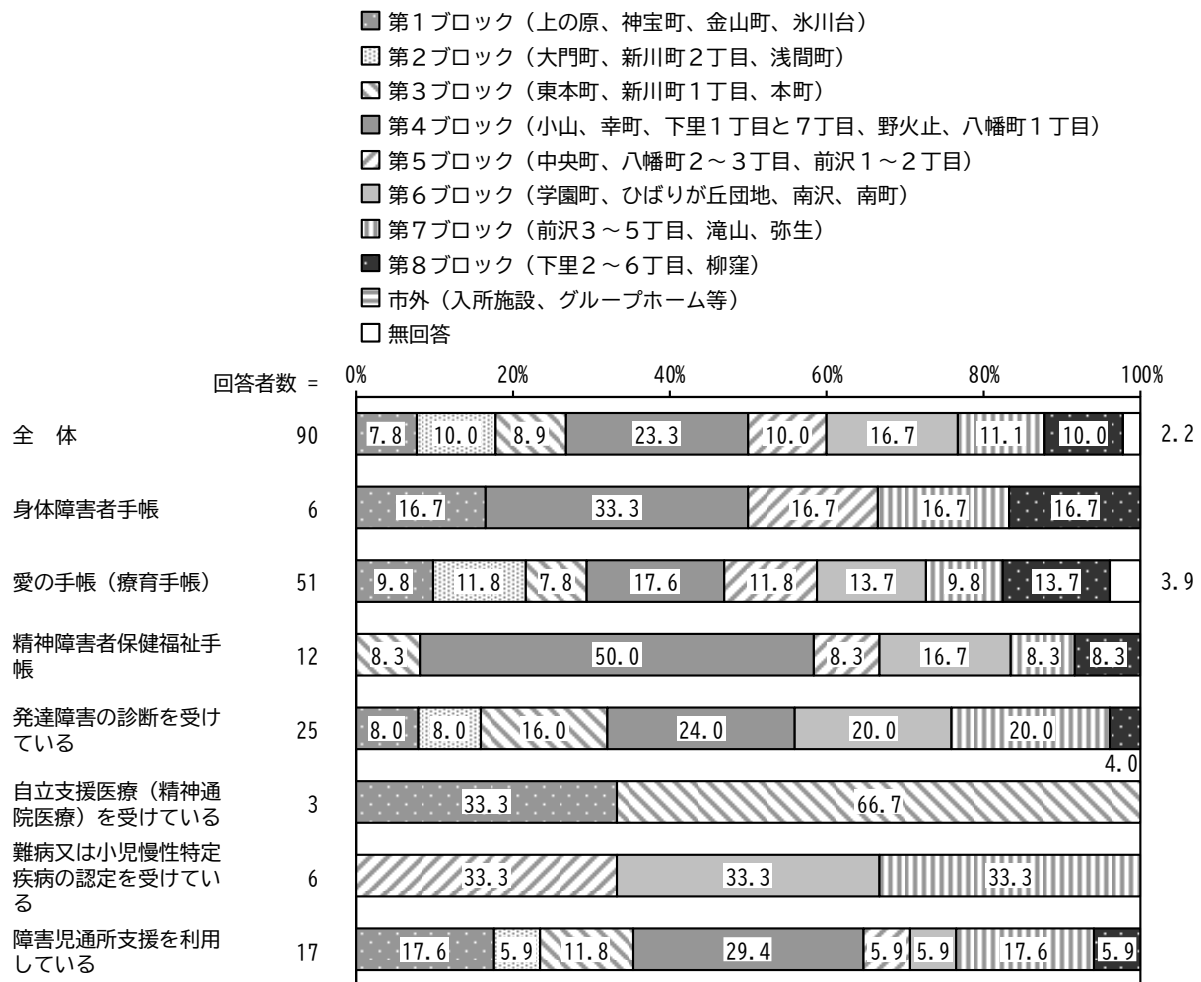
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「第2ブロック（大門町、新川町2丁目、浅間町）」「第3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町）」「第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目）」、16～19歳で「第5ブロック（中央町、八幡町2～3丁目、前沢1～2丁目）」「第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生）」の割合が高くなっています。



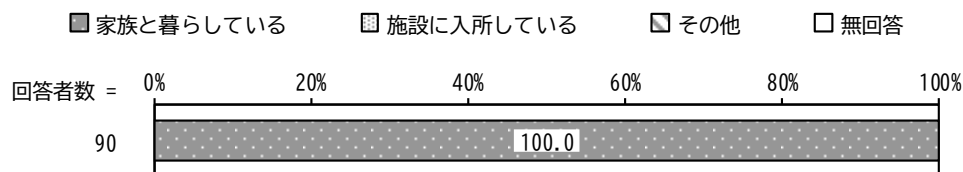
【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「第1ブロック（上の原、神宝町、金山町、氷川台）」、発達障害の診断を受けているで「第3ブロック（東本町、新川町1丁目、本町）」、精神障害者保健福祉手帳で「第4ブロック（小山、幸町、下里1丁目と7丁目、野火止、八幡町1丁目）」、発達障害の診断を受けている、障害児通所支援を利用しているで「第7ブロック（前沢3～5丁目、滝山、弥生）」の割合が高くなっています。



問5 あなたはどのような暮らし方をしていますか。(○印は1つ)

「家族と暮らしている」の割合が 100.0%となっています。



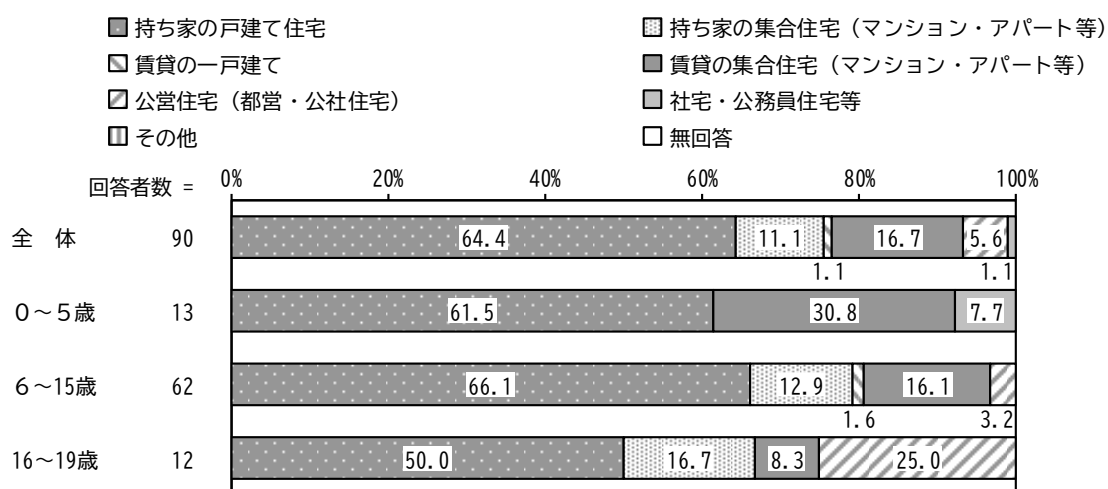
問5で「家族と暮らしている」に○をつけた方にお聞きします。

問5－1 あなたのお住まいの種類はどれですか。(○印は1つ)

「持ち家の戸建て住宅」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「賃貸の集合住宅（マンション・アパート等）」の割合が 16.7%、「持ち家の集合住宅（マンション・アパート等）」の割合が 11.1%となっています。

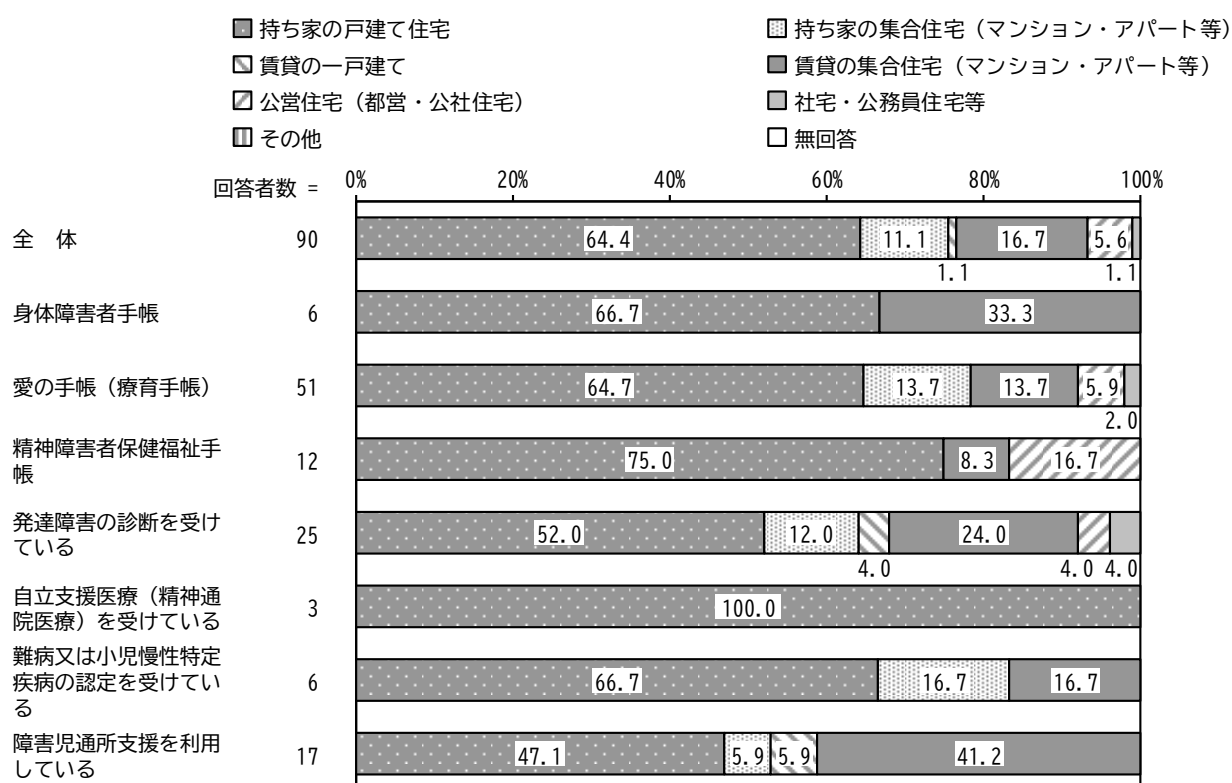
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「持ち家の集合住宅（マンション・アパート等）」「公営住宅（都営・公社住宅）」の割合が高く、「賃貸の集合住宅（マンション・アパート等）」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「持ち家の戸建て住宅」「公営住宅（都営・公社住宅）」、障害児通所支援を利用している「賃貸の集合住宅（マンション・アパート等）」の割合が高くなっています。



あなたの障害の状況について

問6 あなたの持っている手帳の種類と等級、診断の有無をお聞きます。あてはまる手帳の番号と、カッコ内の等級（度数）に○印をつけてください。（あてはまるものすべてに○印）

「愛の手帳（療育手帳）」の割合が56.7%と最も高く、次いで「発達障害の診断を受けている」の割合が27.8%、「障害児通所支援を利用している」の割合が18.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「愛の手帳（療育手帳）」「精神障害者保健福祉手帳」の割合が高く、「発達障害の診断を受けている」の割合が低くなっています。

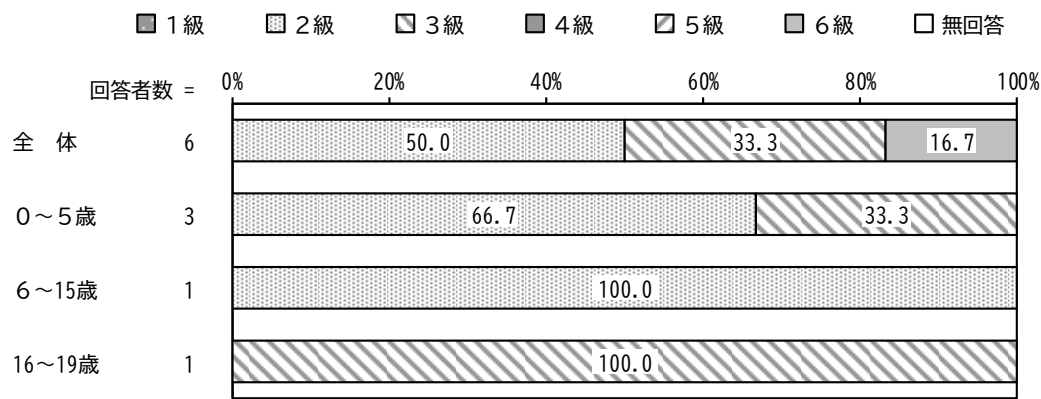
単位：％

区分	回答者数（件）	身体障害者手帳	愛の手帳（療育手帳）	精神障害者保健福祉手帳	発達障害の診断を受けている	自立支援医療（精神通院医療）を受けている	難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	障害児通所支援を利用している	無回答
全 体	90	6.7	56.7	13.3	27.8	3.3	6.7	18.9	2.2
0～5歳	13	23.1	38.5	0.0	46.2	0.0	23.1	46.2	0.0
6～15歳	62	1.6	58.1	12.9	29.0	3.2	3.2	17.7	3.2
16～19歳	12	8.3	66.7	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0

身体障害者手帳の等級

「2級」が3件、「3級」が2件、「6級」が1件となっています。

【年齢別】

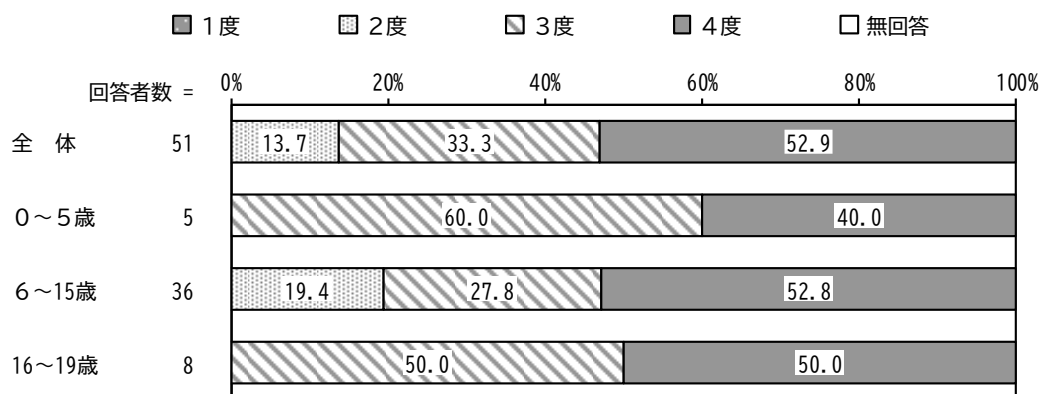


愛の手帳（療育手帳）の程度

「4度」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「3度」の割合が 33.3%、「2度」の割合が 13.7%となっています。

【年齢別】

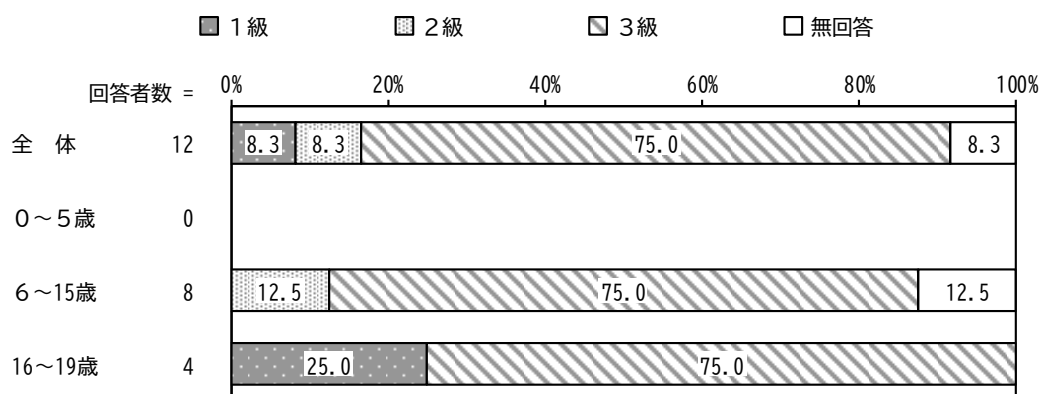
6～15歳で「4度」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「3度」の割合が 27.8%となっています。



精神障害者保健福祉手帳の等級

「1級」、「2級」の割合が 8.3%、「3級」の割合が 75.0%となっています。

【年齢別】



問6で「身体障害者手帳」に○をつけた方にお聞きします。

問6－1 障害の種類は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○印)

「肢体不自由（上肢機能障害・下肢機能障害・体幹機能障害）」、「内部障害（心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害、肝臓機能障害）」が4件、「音声・言語・そしゃく機能障害」が2件となっています。

【年齢別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	肢体不自由 (上肢機能障害・ 下肢機能障害・ 体幹機能障害)	音声・言語・そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害(心臓機能障害、 腎臓機能障害、呼吸器機 能障害、膀胱・直腸機能障 害、小腸機能障害、免疫機 能障害、肝臓機能障害)	無回答
全 体	6	66.7	33.3	0.0	16.7	66.7	0.0
0～5歳	3	66.7	66.7	0.0	33.3	66.7	0.0
6～15歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
16～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	肢体不自由 (上肢機能障害・ 下肢機能障害・ 体幹機能障害)	音声・言語・そしゃく機能 障害	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	内部障害(心臓機能障害、 腎臓機能障害、呼吸器機 能障害、膀胱・直腸機能障 害、小腸機能障害、免疫機 能障害、肝臓機能障害)	無回答
全 体	6	66.7	33.3	0.0	16.7	66.7	0.0
身体障害者手帳	6	66.7	33.3	0.0	16.7	66.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	2	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
障害児通所支援を利用している	2	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0

問7 あなたが社会生活上で課題となる行動・疾病はありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「一つの行動に集中して他が目に入らない」の割合が26.7%と最も高く、次いで「多動」の割合が24.4%、「パニック」の割合が18.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「偏食」「自分でトイレに行けない」の割合が高く、「睡眠障害」の割合が低くなっています。また6～15歳で「大声・奇声」「多動」「飛び出し等突発的な行為」、16～19歳で「てんかん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	90	6.7	5.6	3.3	2.2	11.1	24.4	5.6	3.3	17.8	2.2	14.4
0～5歳	13	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0	30.8	7.7	7.7
6～15歳	62	8.1	8.1	4.8	3.2	14.5	30.6	8.1	4.8	17.7	0.0	16.1
16～19歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7

区分	昼夜逆転	パニック	一つ の行動に集中 して他が目に入 らない	自分で トイレに行 けない	排せつ 物を触つて しまう	飛び出し等突 発的な行為	不法等不適切な 行為	てんかん	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	2.2	18.9	26.7	12.2	1.1	14.4	3.3	6.7	15.6	30.0	1.1
0～5歳	0.0	15.4	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	38.5	0.0
6～15歳	3.2	21.0	32.3	9.7	1.6	21.0	3.2	4.8	14.5	24.2	1.6
16～19歳	0.0	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0	8.3	25.0	8.3	41.7	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「多動」「睡眠障害」、発達障害の診断を受けているで「偏食」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「パニック」、障害児通所支援を利用しているで「一つの行動に集中して他が目に入らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	90	6.7	5.6	3.3	2.2	11.1	24.4	5.6	3.3	17.8	2.2	14.4
身体障害者手帳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	9.8	9.8	5.9	3.9	19.6	25.5	7.8	5.9	25.5	2.0	17.6
精神障害者保健福祉手帳	12	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	50.0	8.3	0.0	16.7	0.0	25.0
発達障害の診断を受けている	25	16.0	8.0	4.0	0.0	12.0	36.0	4.0	8.0	32.0	0.0	24.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	35.3	0.0	5.9	17.6	5.9	11.8

区分	昼夜逆転	パニック	一つの行動に集中して他が目に入らない	自分でトイレに行けない	排せつ物を触ってしまう	飛び出し等突発的な行為	不法等不適切な行為	てんかん	その他	特にない	無回答
全 体	2.2	18.9	26.7	12.2	1.1	14.4	3.3	6.7	15.6	30.0	1.1
身体障害者手帳	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	2.0	23.5	31.4	19.6	2.0	19.6	5.9	9.8	7.8	25.5	2.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0
発達障害の診断を受けている	4.0	32.0	32.0	12.0	0.0	16.0	4.0	0.0	16.0	16.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	66.7	0.0
障害児通所支援を利用している	0.0	23.5	41.2	11.8	0.0	11.8	0.0	5.9	29.4	17.6	0.0

問8 あなたが社会生活上で課題となる行動・疾病の中で、特に配慮が必要と覚えることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「パニック」の割合が17.8%と最も高く、次いで「一つの行動に集中して他が目に入らない」の割合が16.7%、「多動」「飛び出し等突発的な行為」の割合が14.4%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「睡眠障害」「一つの行動に集中して他が目に入らない」の割合が高くなっています。また、0～5歳で「偏食」「自分でトイレに行けない」、6～15歳で「飛び出し等の突発的な行為」、16～19歳で「てんかん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	90	4.4	5.6	3.3	2.2	5.6	14.4	2.2	2.2	8.9	2.2	10.0
0～5歳	13	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0
6～15歳	62	4.8	8.1	4.8	1.6	6.5	17.7	3.2	3.2	8.1	0.0	11.3
16～19歳	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7

区分	昼夜逆転	パニック	一つ の行動に集中 して他が目に入 らない	自分で トイレに行 けない	排せつ 物を触つ てしまう	飛び出し等突 発的な行為	不法等不適切な 行為	てんかん	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	3.3	17.8	16.7	8.9	0.0	14.4	4.4	6.7	14.4	32.2	1.1
0～5歳	0.0	15.4	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	30.8	0.0
6～15歳	4.8	19.4	17.7	6.5	0.0	21.0	4.8	4.8	11.3	29.0	1.6
16～19歳	0.0	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	8.3	25.0	8.3	33.3	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「多動」「偏食」「一つの行動に集中して他が目に入らない」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「パニック」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自傷	他傷	破壊行動	行動停止	大声・奇声	多動	反復行動	異食	偏食	摂食障害 (過食・拒食)	睡眠障害
全 体	90	4.4	5.6	3.3	2.2	5.6	14.4	2.2	2.2	8.9	2.2	10.0
身体障害者手帳	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	5.9	9.8	5.9	3.9	9.8	11.8	2.0	3.9	13.7	2.0	11.8
精神障害者保健福祉手帳	12	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7
発達障害の診断を受けている	25	12.0	8.0	4.0	4.0	8.0	32.0	4.0	8.0	24.0	0.0	16.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	0.0	5.9	0.0	11.8	11.8	23.5	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0

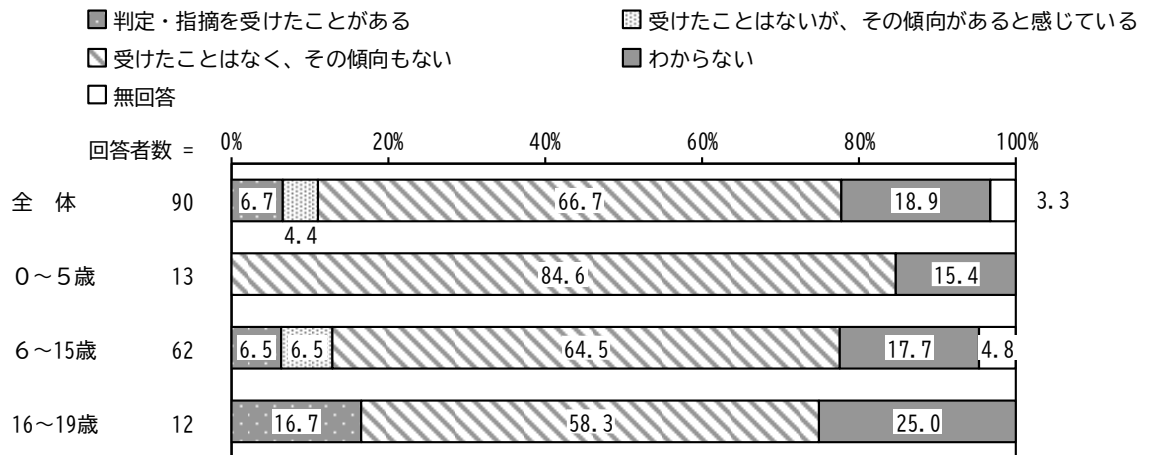
区分	昼夜逆転	パニック	一つの行動に集中して他が目に入らない	自分でトイレに行けない	排せつ物を触ってしまう	飛び出し等突発的な行為	不法等不適切な行為	てんかん	その他	特にない	無回答
全 体	3.3	17.8	16.7	8.9	0.0	14.4	4.4	6.7	14.4	32.2	1.1
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	2.0	21.6	15.7	13.7	0.0	19.6	7.8	9.8	5.9	31.4	2.0
精神障害者保健福祉手帳	8.3	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
発達障害の診断を受けている	4.0	32.0	28.0	12.0	0.0	20.0	4.0	0.0	12.0	16.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0
障害児通所支援を利用している	0.0	23.5	23.5	11.8	0.0	11.8	0.0	5.9	23.5	23.5	0.0

問9 これまでに、専門機関等から「強度行動障害（あるいはそれに相当する状態）」との判定や指摘を受けたことがありますか。（○印は1つ）

「判定・指摘を受けたことがある」の割合が6.7%、「受けたことはないが、その傾向があると感じている」の割合が4.4%、「受けたことはなく、その傾向もない」の割合が66.7%となっています。

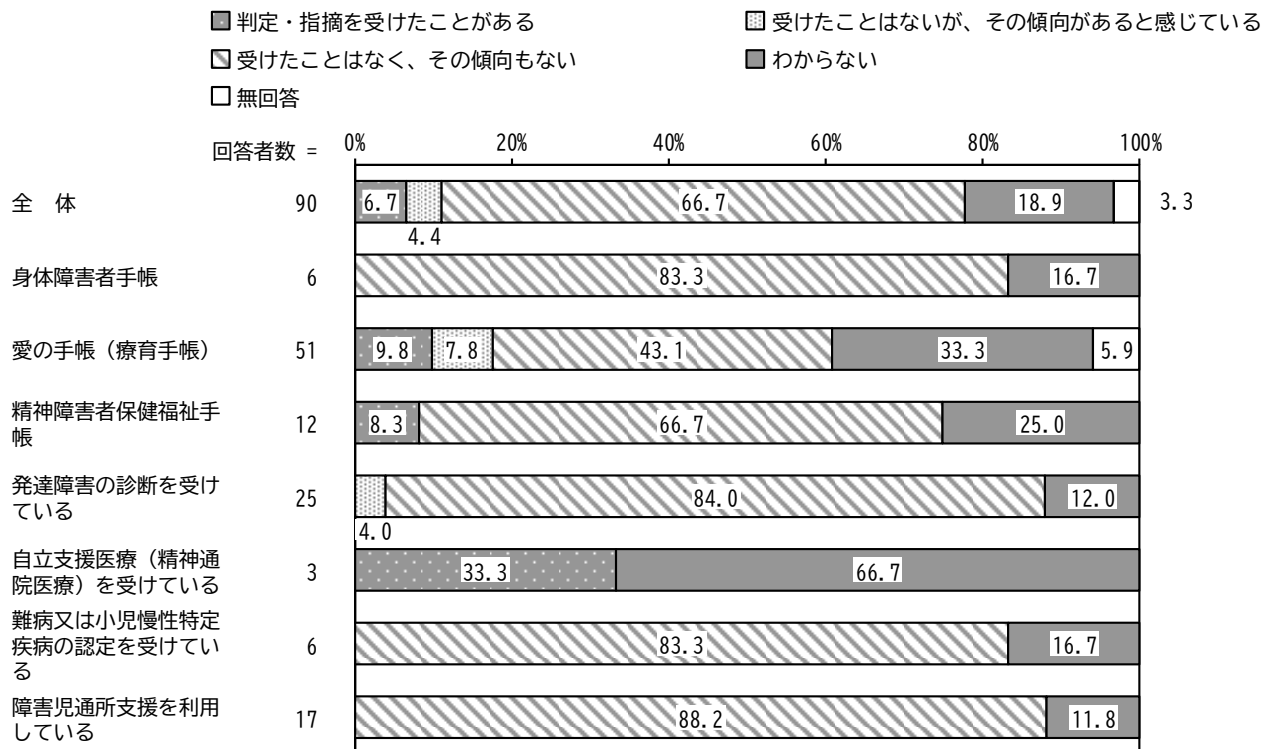
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「判定・指摘を受けたことがある」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「受けたことはなく、その傾向もない」の割合が高くなっています。

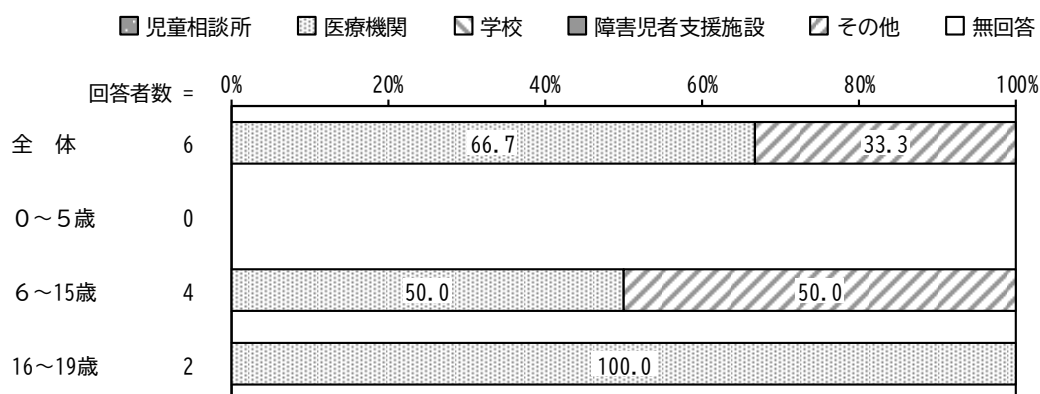


問9で「判定・指摘を受けたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

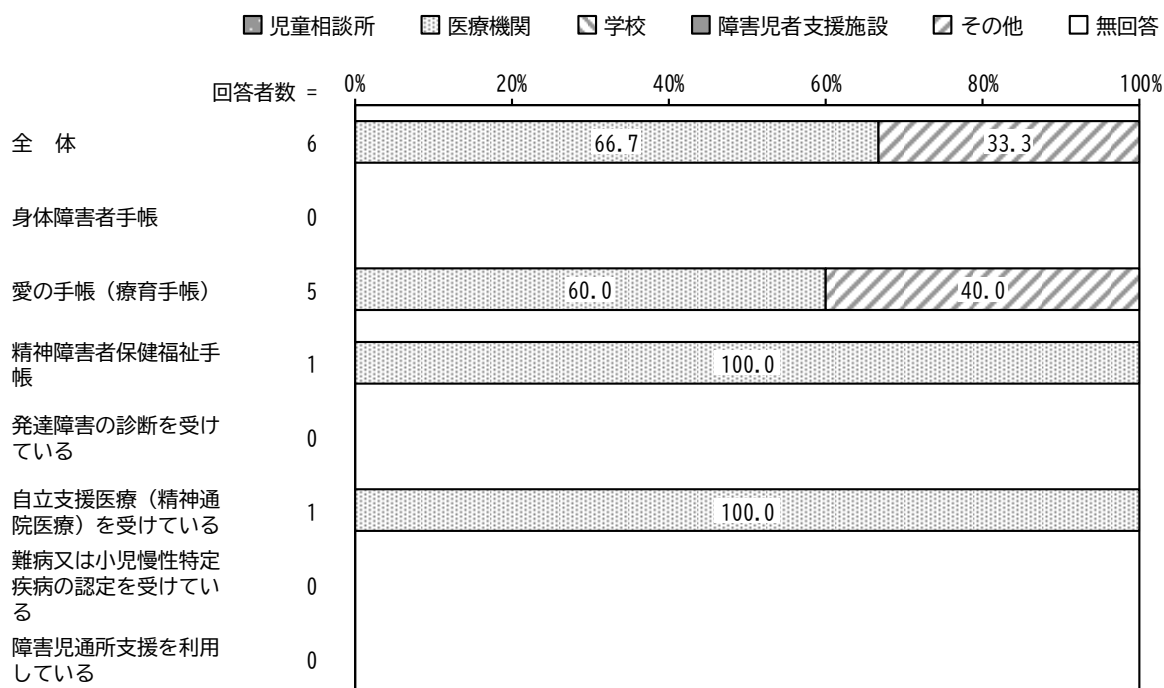
問9－1 具体的にどこで判定・指摘を受けましたか。(○印は1つ)

「医療機関」が4件となっています。

【年齢別】



【手帳の種類・診断別】



問9で「判定・指摘を受けたことがある」に○をつけた方の、ご家族・介助者の方にお聞きます。

問9-2 介助者が困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「本人の意思をどう尊重しつつ支援体制を作るかが大きな課題」が4件、「予測できない状況でパニックや強い行動が出やすい」「介助者は常に安全確保を考え続ける必要がある」「試行錯誤が続き、支援者も疲弊しやすい」「行動の背景にある感覚特性やコミュニケーションの困難が理解されにくい」が3件となっています。

【年齢別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	介助者が「何を求めているのか」を読み取る負担が大きい	予測できない状況でパニックや強い行動が出やすい	診察や検査が難航し、必要な医療が受けられないこともある	介助者が常に緊張し、外出自体が負担になる	介助者は常に安全確保を考え続ける必要がある	相談できる相手が少なく、精神的に追い詰められやすい	行動の背景理解や対応方針が統一されず、混乱が起きる	試行錯誤が続き、支援者も疲弊しやすい	本人の意思をどう尊重しつつ支援体制を作るかが大きな課題	行動の背景にある感覚特性やコミュニケーションの困難が理解されにくい	その他	無回答
全 体	6	33.3	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	0.0	50.0	66.7	50.0	0.0	16.7
0～5歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6～15歳	4	50.0	75.0	50.0	25.0	75.0	25.0	0.0	50.0	75.0	75.0	0.0	0.0
16～19歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0

【手帳の種類・診断別】

単位：％

区分	回答者数（件）	介助者が「何を求めているのか」を読み取る負担が大きい	予測できない状況でパニックや強い行動が出やすい	診察や検査が難航し、必要な医療が受けられないこともある	介助者が常に緊張し、外出自体が負担になる	介助者は常に安全確保を考え続ける必要がある	相談できる相手が少なく、精神的に追い詰められやすい	行動の背景理解や対応方針が統一されず、混乱が起きる	試行錯誤が続く、支援者も疲弊しやすい	本人の意思をどう尊重しつつ支援体制を作るかが大きな課題	行動の背景にある感覚特性やコミュニケーションの困難が理解されにくい	その他	無回答
全 体	6	33.3	50.0	33.3	16.7	50.0	16.7	0.0	50.0	66.7	50.0	0.0	16.7
身体障害者手帳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	5	40.0	60.0	40.0	20.0	60.0	20.0	0.0	60.0	80.0	60.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
発達障害の診断を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問9で「判定・指摘を受けたことがある」に○をつけた方にお聞きします。

問9－3 どのような支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「見通しを持てる生活づくり」「安心できる方・場所の確保」が5件、「本人が選べる場面を増やす」「本人のペースを尊重する」が4件となっています。

【年齢別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	わかりやすいコミュニケーション手段の提供	見通しを持てる生活づくり	感覚刺激への配慮	本人が選べる場面を増やす	成功体験を積み重ねる機会づくり	身体の不調を早期に気づける仕組み	安心できる方・場所の確保	興味や得意を活かした活動の提供	行動が起きる前のサインに合わせた支援	本人のペースを尊重する	その他	無回答
全 体	6	50.0	83.3	50.0	66.7	33.3	50.0	83.3	50.0	16.7	66.7	0.0	0.0
0～5歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6～15歳	4	75.0	100.0	50.0	50.0	25.0	50.0	100.0	50.0	25.0	75.0	0.0	0.0
16～19歳	2	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

単位：％

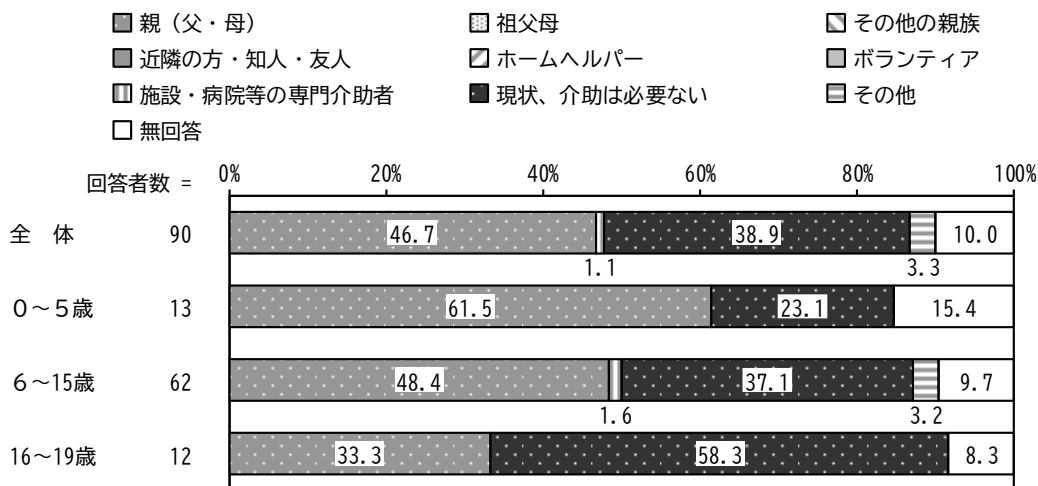
区分	回答者数 (件)	わかりやすいコミュニケーション手段の提供	見通しを持てる生活づくり	感覚刺激への配慮	本人が選べる場面を増やす	成功体験を積み重ねる機会づくり	身体の不調を早期に気づける仕組み	安心できる方・場所の確保	興味や得意を活かした活動の提供	行動が起きる前のサインに合わせた支援	本人のペースを尊重する	その他	無回答
全 体	6	50.0	83.3	50.0	66.7	33.3	50.0	83.3	50.0	16.7	66.7	0.0	0.0
身体障害者手帳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	5	60.0	100.0	60.0	60.0	40.0	60.0	100.0	60.0	20.0	80.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問10 あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。(○印は1つ)

「親（父・母）」の割合が46.7%と最も高く、次いで「現状、介助は必要ない」の割合が38.9%となっています。

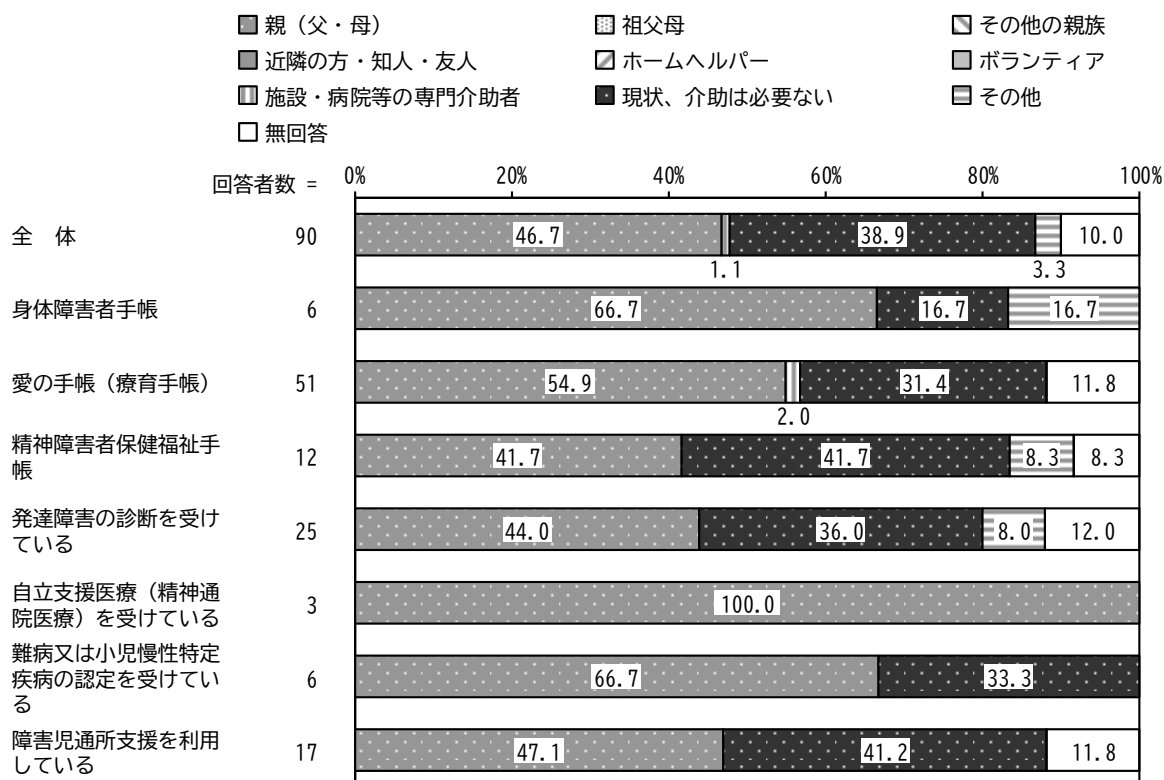
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「現状、介助は必要ない」の割合が高く、「親（父・母）」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「親（父・母）」の割合が高く、「現状、介助は必要ない」の割合が低くなっています。



普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。

問 11 現在、主な介助者の方が困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「精神的な負担が大きい」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「代わりの介助を頼める方がいない」の割合が 33.3%、「経済的な負担が大きい」の割合が 28.6%となっています。

【年齢別】

単位：％

区分	回答者数 (件)	代わりの介助を頼 める方がいない	休養や息抜きの時 間がない	長期の旅行や外出 ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康 に不安がある	身体的な負担が大 きい	精神的な負担が大 きい	経済的な負担が大 きい	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	42	33.3	26.2	19.0	19.0	19.0	11.9	38.1	28.6	11.9	23.8	0.0
0～5歳	8	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0
6～15歳	30	36.7	20.0	16.7	26.7	20.0	13.3	40.0	30.0	13.3	20.0	0.0
16～19歳	4	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「代わりの介助を頼める方がいない」「休養や息抜きの時間がない」「長期の旅行や外出ができない」の割合が高く、発達障害の診断を受けているで「介助者自身の健康に不安がある」「身体的な負担が大きい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	代わりの介助を頼 める方がいない	休養や息抜きの時 間がない	長期の旅行や外出 ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康 に不安がある	身体的な負担が大 きい	精神的な負担が大 きい	経済的な負担が大 きい	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	42	33.3	26.2	19.0	19.0	19.0	11.9	38.1	28.6	11.9	23.8	0.0
身体障害者手帳	4	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	28	42.9	35.7	28.6	25.0	25.0	14.3	50.0	35.7	7.1	14.3	0.0
精神障害者保健福祉手 帳	5	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0
発達障害の診断を受け ている	11	36.4	27.3	9.1	27.3	36.4	27.3	45.5	36.4	18.2	18.2	0.0
自立支援医療（精神通 院医療）を受けている	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定 疾病の認定を受けてい る	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
障害児通所支援を利用 している	8	50.0	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	25.0	0.0

普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。

問12 今後、介助や支援にあたって課題になると考えられることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「代わりの介助を頼める方がいない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「経済的な負担が大きい」「本人の権利擁護に関する問題」の割合が35.7%となっています。

【年齢別】

単位：％

区分	回答者数(件)	代わりの介助を頼める方がいない	休養や息抜きの間がない	長期の旅行や外出ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	本人の住まいの確保	本人の権利擁護に関する問題	その他	特にない	無回答
全 体	42	42.9	21.4	11.9	16.7	23.8	16.7	26.2	35.7	31.0	35.7	11.9	19.0	0.0
0～5歳	8	37.5	37.5	0.0	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	37.5	0.0
6～15歳	30	46.7	16.7	13.3	20.0	20.0	16.7	26.7	33.3	33.3	36.7	13.3	16.7	0.0
16～19歳	4	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「代わりの介助を頼める方がいない」「長期の旅行や外出ができない」「精神的な負担が大きい」「経済的な負担が大きい」「本人の住まいの確保」「本人の権利擁護に関する問題」の割合が高く、発達障害の診断を受けているで「介助者自身の健康に不安がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	代わりの介助を頼める方がいない	休養や息抜きの間がない	長期の旅行や外出ができない	仕事に出られない	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	本人の住まいの確保	本人の権利擁護に関する問題	その他	特にない	無回答
全 体	42	42.9	21.4	11.9	16.7	23.8	16.7	26.2	35.7	31.0	35.7	11.9	19.0	0.0
身体障害者手帳	4	75.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	28	57.1	28.6	17.9	17.9	28.6	21.4	39.3	42.9	46.4	46.4	7.1	3.6	0.0
精神障害者保健福祉手帳	5	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
発達障害の診断を受けている	11	36.4	27.3	9.1	18.2	36.4	18.2	27.3	36.4	18.2	9.1	9.1	27.3	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
障害児通所支援を利用している	8	50.0	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	0.0

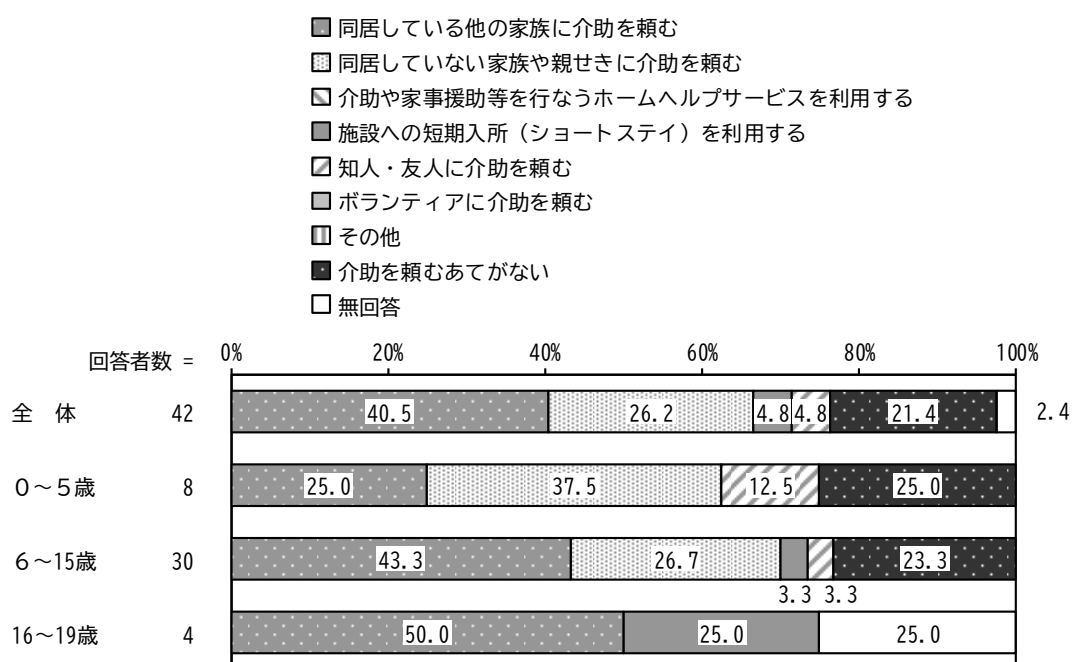
普段から、家族・親族の方が介助している方にお聞きします。

問 13 普段介助している方が一時的に介助できなくなったとき、あなたはどのようにしますか。(1つに○印)

「同居している他の家族に介助を頼む」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「同居していない家族や親せきに介助を頼む」の割合が 26.2%、「介助を頼むあてがない」の割合が 21.4%となっています。

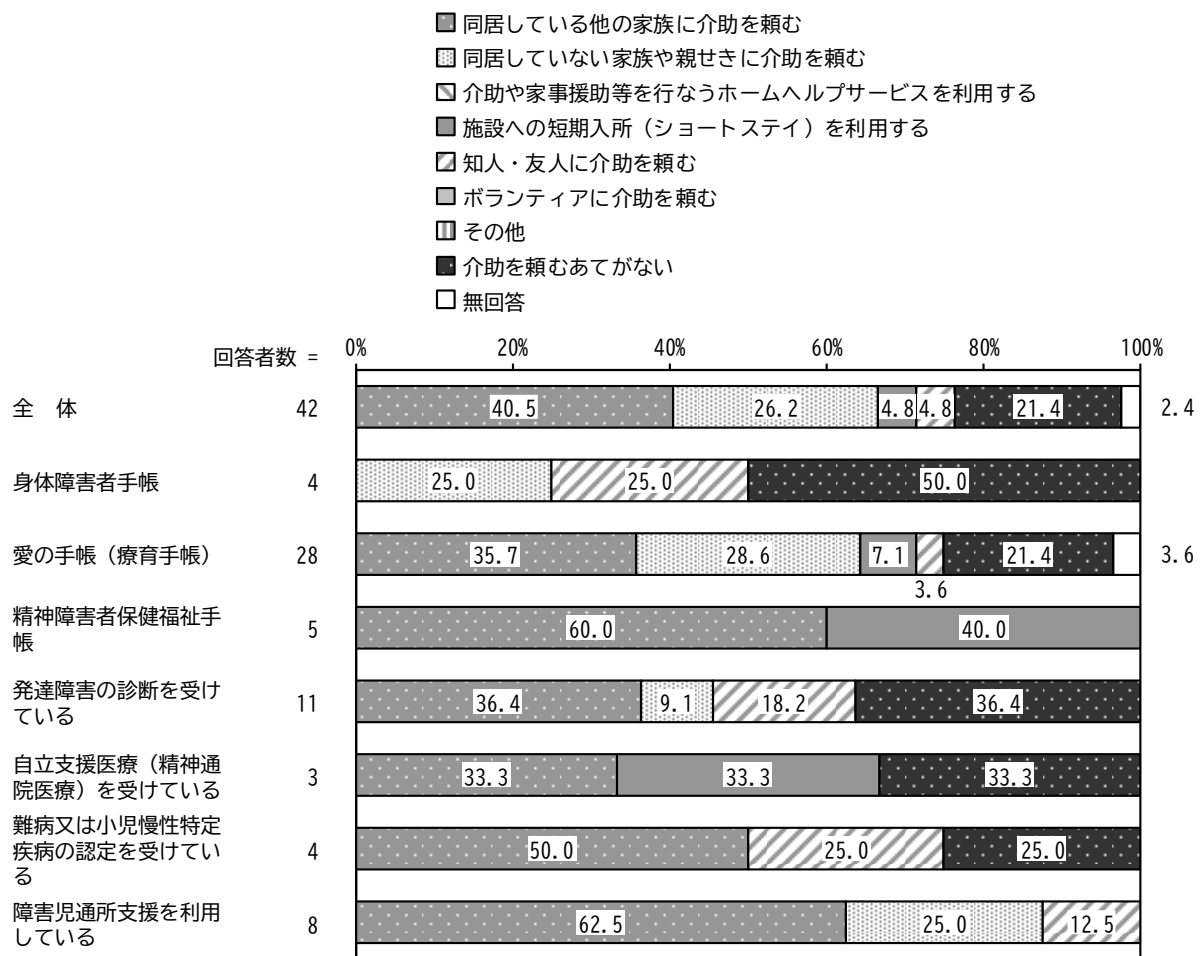
【年齢別】

6～15歳で「同居している他の家族に介助を頼む」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「同居していない家族や親せきに介助を頼む」の割合が 26.7%、「介助を頼むあてがない」の割合が 23.3%となっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「同居していない家族や親せきに介助を頼む」「施設への短期入所（ショートステイ）を利用する」の割合が高く、発達障害の診断を受けている「知人・友人に介助を頼む」「介助を頼むあてがない」の割合が高くなっています。



問 14 あなたは、医療的な支援（医療的ケア）を受けていますか。（あてはまるものすべてに○印）

「受けていない」の割合が81.1%と最も高くなっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「受けていない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	受けていない	経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）	吸引（口鼻腔内・エアウェイ内・気管内）	酸素管理	エアウェイの管理	導尿	気管切開部の衛生管理
全 体	90	81.1	2.2	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0
0～5歳	13	53.8	15.4	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0
6～15歳	62	85.5	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0
16～19歳	12	91.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	胃ろう・腸ろう部の衛生管理	ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	中心静脈栄養	人工透析	定時の薬液吸入	人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等	その他	無回答
全 体	1.1	0.0	0.0	0.0	2.2	1.1	1.1	10.0
0～5歳	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4
6～15歳	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.6	8.1
16～19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、10件以上の項目で大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	受けていない	経管栄養（留置チューブ・胃ろう・腸ろう）	吸引（口鼻腔内・エアウェイ内・気管内）	酸素管理	エアウェイの管理	導尿	気管切開部の衛生管理
全 体	90	81.1	2.2	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0
身体障害者手帳	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	82.4	0.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	25	72.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
障害児通所支援を利用している	17	82.4	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0

区分	胃ろう・腸ろう部の衛生管理	ストマ（人工肛門・人工膀胱）の管理	中心静脈栄養	人工透析	定時の薬液吸入	人工呼吸器の作動状況の確認及び緊急時の連絡等	その他	無回答
全 体	1.1	0.0	0.0	0.0	2.2	1.1	1.1	10.0
身体障害者手帳	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
愛の手帳（療育手帳）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	11.8
精神障害者保健福祉手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9

問 14 で何らかの医療的ケアを受けている方にお聞きします。

問 14－1 あなたは、医療的ケアに関して、困っていることや不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「いつ症状が急変するか怖い」「体調が変化した場合、医療機関を受診すべきか判断に迷う」が2件となっています。

【年齢別】

単位：％

区分	回答者数(件)	いつ症状が急変するか怖い	体調が変化した場合、医療機関を受診すべきか判断に迷う	日常的なケアや症状への対応が難しい	医療者の対応に不安がある	医療用物品の調達・管理が難しい	主たる介護者が、ケアによる身体的な負担が大きい	主たる介護者が、ケアにより自分の時間を持てない	経済的な負担が大きい	時間的制約により働きたくても働くことができない	医療的ケアが必要な方がいる家族同士のつながりがない	特筆したい内容・その他	無回答
全 体	8	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
0～5歳	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6～15歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
16～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

単位：％

区分	回答者数（件）	いつ症状が急変するか怖い	体調が変化した際、医療機関を受診すべきか判断に迷う	日常的なケアや症状への対応が難しい	医療者の対応に不安がある	医療用物品の調達・管理が難しい	主たる介護者が、ケアによる身体的な負担が大きい	主たる介護者が、ケアにより自分の時間を持ってない	経済的な負担が大きい	時間的制約により働きたくても働くことができない	医療的ケアが必要な方がいる家族同士のつながりがなく	特筆したい内容・その他	無回答
全 体	8	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
身体障害者手帳	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
精神障害者保健福祉手帳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

日常生活について

問 15 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「日常会話・コミュニケーションのこと」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「進学・学校生活のこと」の割合が 41.1%、「友人関係、近所づきあい」、「外出・買い物など」の割合が 28.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「住宅・生活の場所のこと」「身体・健康のこと」の割合が高く、「結婚、性、恋愛などに関すること」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	治療・訓練のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	友人関係、近所づきあい	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること	進学・学校生活のこと
全 体	90	5.6	57.8	28.9	28.9	12.2	10.0	15.6	41.1
0～5歳	13	7.7	61.5	7.7	23.1	23.1	15.4	15.4	30.8
6～15歳	62	4.8	62.9	35.5	32.3	9.7	9.7	17.7	50.0
16～19歳	12	8.3	33.3	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3	16.7

区分	交通機関の利用に関すること	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	相談できる方がいない(限られている)	その他	特にない	無回答
全 体	21.1	18.9	12.2	12.2	11.1	2.2	20.0	0.0
0～5歳	23.1	30.8	7.7	23.1	15.4	7.7	23.1	0.0
6～15歳	21.0	17.7	11.3	9.7	8.1	1.6	16.1	0.0
16～19歳	25.0	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	25.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「日常会話・コミュニケーションのこと」「進学・学校生活のこと」、愛の手帳（療育手帳）で「外出・買い物など」、精神障害者保健福祉手帳で「交通機関の利用に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	治療・訓練のこと	日常会話・コミュニケーションのこと	友人関係、近所づきあい	外出・買い物など	保健・医療サービスに関すること	住宅・生活の場所のこと	福祉サービスに関すること	進学・学校生活のこと
全 体	90	5.6	57.8	28.9	28.9	12.2	10.0	15.6	41.1
身体障害者手帳	6	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	50.0
愛の手帳（療育手帳）	51	5.9	72.5	29.4	41.2	19.6	13.7	19.6	37.3
精神障害者保健福祉手帳	12	8.3	41.7	25.0	33.3	16.7	8.3	16.7	50.0
発達障害の診断を受けている	25	8.0	76.0	36.0	24.0	8.0	4.0	8.0	60.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	100.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3
障害児通所支援を利用している	17	5.9	52.9	29.4	23.5	11.8	11.8	11.8	47.1

区分	交通機関の利用に関すること	身体・健康のこと	結婚、性、恋愛などに関すること	親や介助者の高齢化のこと	相談できる方がいない（限られている）	その他	特にな	無回答
全 体	21.1	18.9	12.2	12.2	11.1	2.2	20.0	0.0
身体障害者手帳	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	27.5	19.6	19.6	17.6	17.6	2.0	15.7	0.0
精神障害者保健福祉手帳	33.3	16.7	0.0	16.7	8.3	0.0	25.0	0.0
発達障害の診断を受けている	8.0	12.0	0.0	8.0	4.0	0.0	4.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
障害児通所支援を利用している	11.8	11.8	5.9	5.9	0.0	5.9	17.6	0.0

問 16 あなたは、日常生活で困った時に、誰に（どこに）相談・確認しますか。（あてはまるものすべてに○印）

「家族・親戚」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「保育園、幼稚園、学校の先生」の割合が 43.3%、「福祉施設の職員」の割合が 21.1%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「福祉施設の職員」「公的機関（市役所、保健所、児童相談所など）」「同じ悩みや障害を持つ子の保護者」の割合が高く、「友人・知人」「相談支援事業所」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族・親戚	友人・知人	先生 保育園、幼稚園、学校の	医療関係者	福祉施設の職員	公的機関（市役所、保健所、児童相談所など）	民生委員・児童委員	同じ悩みや障害を持つ子の保護者	相談支援事業所	インターネット、SNS	その他	相談しない	無回答
全 体	90	83.3	15.6	43.3	16.7	21.1	6.7	0.0	8.9	10.0	8.9	4.4	6.7	0.0
0～5歳	13	76.9	7.7	38.5	15.4	30.8	15.4	0.0	15.4	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0
6～15歳	62	87.1	12.9	46.8	17.7	19.4	6.5	0.0	8.1	6.5	3.2	3.2	4.8	0.0
16～19歳	12	83.3	33.3	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	16.7	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「保育園、幼稚園、学校の先生」「福祉施設の職員」、精神障害者保健福祉手帳で「医療関係者」、障害児通所支援を利用しているで「同じ悩みや障害を持つ子の保護者」の割合が高くなっています。

単位：％

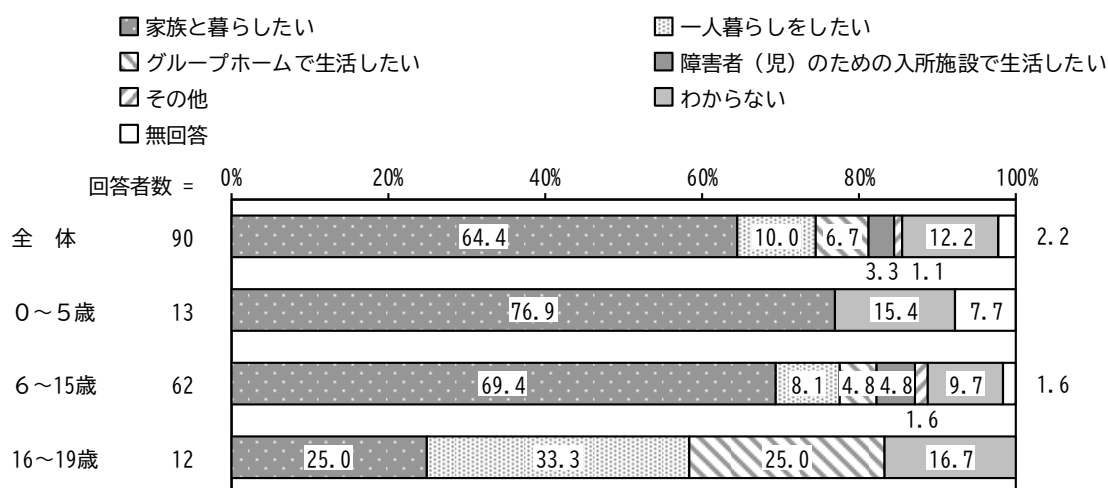
区分	回答者数 (件)	家族・親戚	友人・知人	先生 保育園、幼稚園、学校の	医療関係者	福祉施設の職員	公的機関(市役所、保健 所、児童相談所など)	民生委員・児童委員	同じ悩みや障害を持つ 子の保護者	相談支援事業所	インターネット、SNS	その他	相談しない	無回答
全 体	90	83.3	15.6	43.3	16.7	21.1	6.7	0.0	8.9	10.0	8.9	4.4	6.7	0.0
身体障害者手帳	6	66.7	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	82.4	17.6	45.1	17.6	29.4	9.8	0.0	11.8	13.7	7.8	3.9	5.9	0.0
精神障害者保健福祉手帳	12	100.0	25.0	41.7	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	25	80.0	8.0	60.0	16.0	32.0	4.0	0.0	8.0	4.0	8.0	0.0	8.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	66.7	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
障害児通所支援を利用している	17	76.5	5.9	41.2	17.6	23.5	11.8	0.0	23.5	5.9	11.8	17.6	5.9	0.0

問 17 あなたは今後、どのような生活の場で暮らしたいと思いますか。(○印は1つ)

「家族と暮らしたい」の割合が64.4%と最も高く、次いで「一人暮らしをしたい」の割合が10.0%となっています。

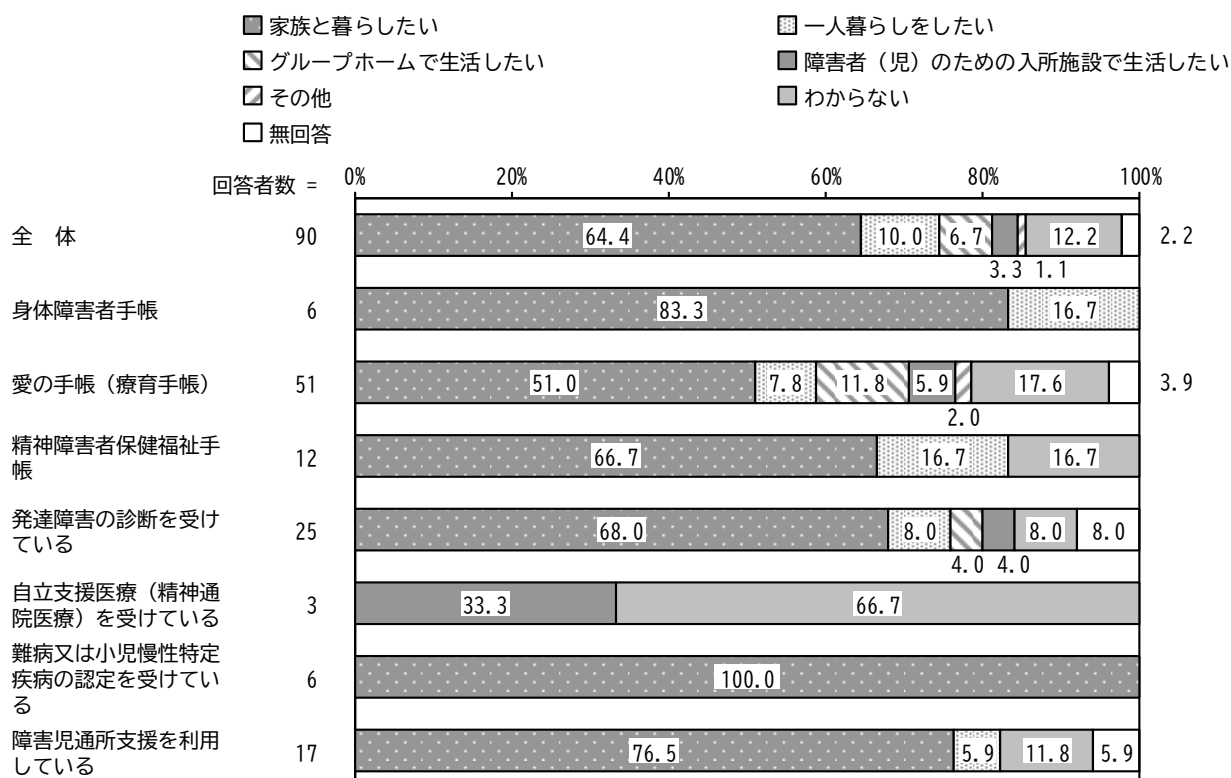
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「一人暮らしをしたい」「グループホームで生活したい」の割合が高く、「家族と暮らしたい」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「家族と暮らしたい」、精神障害者保健福祉手帳で「一人暮らしをしたい」、愛の手帳（療育手帳）で「グループホームで生活したい」の割合が高くなっています。

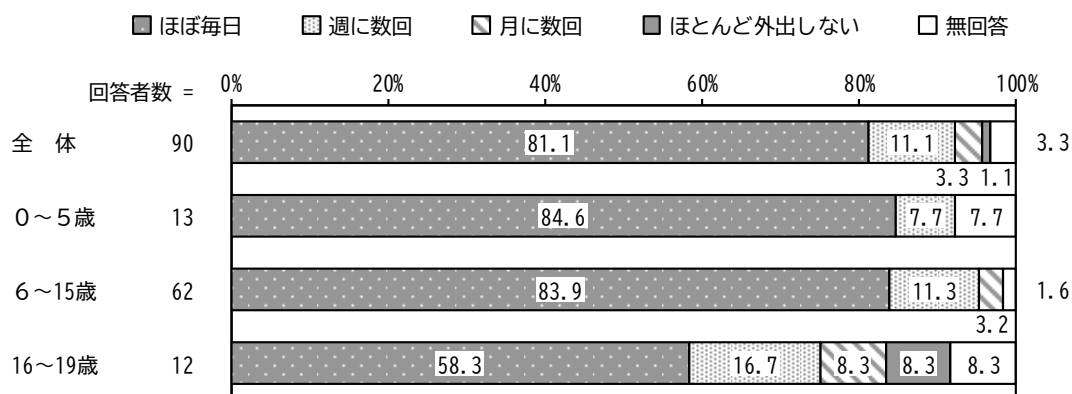


問 18 あなたは、普段どれくらい外出しますか。(○印は1つ)

「ほぼ毎日」の割合が81.1%と最も高く、次いで「週に数回」の割合が11.1%となっています。

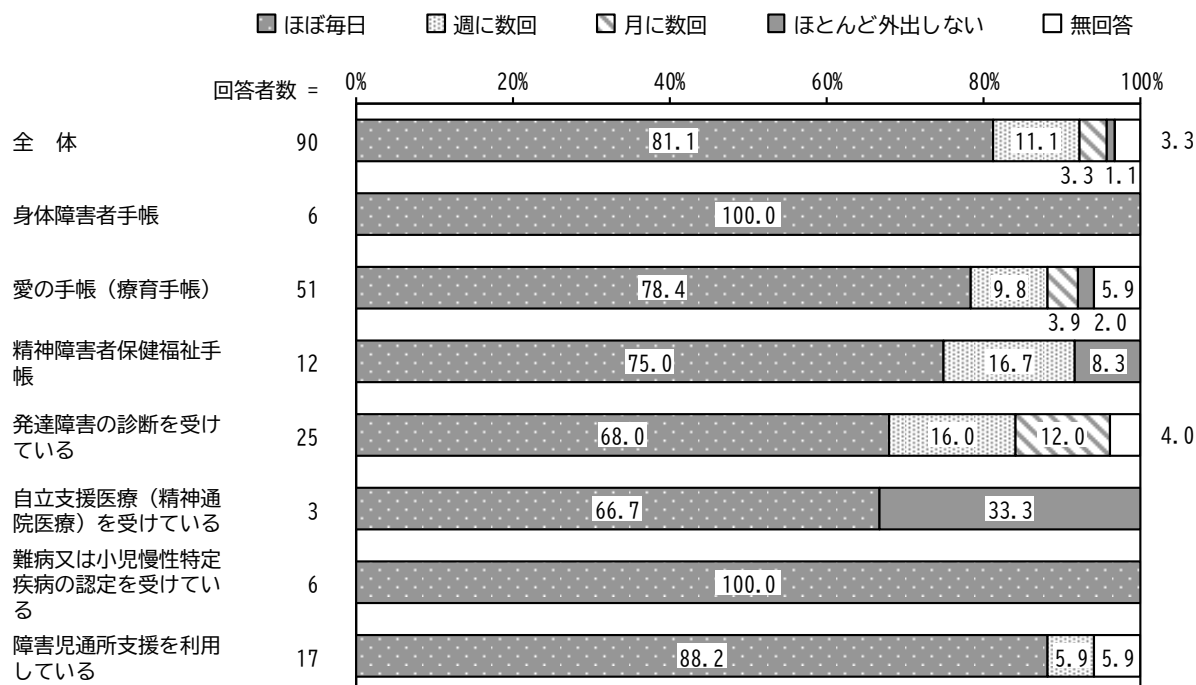
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「週に数回」の割合が高く、「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「ほぼ毎日」、精神障害者保健福祉手帳で「週に数回」「ほとんど外出しない」、発達障害の診断を受けているで「月に数回」の割合が高くなっています。



問 19 普段外出するときに、困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

「困った時にどうすればよいか心配」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「切符の買い方や乗換えがわかりにくい」の割合が 21.1%、「バスや電車などの乗り降りが難しい」の割合が 14.4%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「バスや電車などの乗り降りが難しい」「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が高く、「切符の買い方や乗換えがわかりにくい」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	バスや電車などの 公共交通機関が少 ない、またはない	バスや電車などの 乗り降りが難しい	道路や駅に階段や 段差が多い	切符の買い方や乗 換えがわかりにく い	トイレやエレベ ーターなどの建物 の設備が不便	介助者が確保でき ない	交通費（運賃など） にお金がかかる	ヘルパーの利用料 などにお金がかか る
全 体	90	5.6	14.4	3.3	21.1	5.6	7.8	7.8	4.4
0～5歳	13	0.0	23.1	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
6～15歳	62	6.5	14.5	1.6	24.2	3.2	9.7	8.1	4.8
16～19歳	12	0.0	8.3	0.0	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3

区分	周囲の目が気になる	周囲の方からの配 慮・手助けがない	発作など突然の体 調不良が心配	困った時にどうす ればよいか心配	休憩できる場所が 少ない	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	8.9	7.8	4.4	32.2	10.0	5.6	38.9	3.3
0～5歳	7.7	0.0	0.0	15.4	23.1	15.4	38.5	7.7
6～15歳	11.3	11.3	4.8	35.5	4.8	4.8	40.3	1.6
16～19歳	0.0	0.0	8.3	33.3	25.0	0.0	33.3	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「バスや電車などの乗り降りが難しい」「介助者が確保できない」、精神障害者保健福祉手帳で「交通費（運賃など）にお金がかかる」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「困った時にどうすればよい心配」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	バスや電車などの公共交通機関が少ない、またはない	バスや電車などの乗り降りが難しい	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えがわかりにくい	トイレやエレベーターなどの建物の設備が不便	介助者が確保できない	交通費（運賃など）にお金がかかる	ヘルパーの利用料などにお金がかかる
全 体	90	5.6	14.4	3.3	21.1	5.6	7.8	7.8	4.4
身体障害者手帳	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	9.8	19.6	3.9	25.5	7.8	13.7	9.8	7.8
精神障害者保健福祉手帳	12	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	16.7	0.0
発達障害の診断を受けている	25	0.0	12.0	4.0	16.0	8.0	4.0	4.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	0.0	11.8	5.9	23.5	5.9	0.0	5.9	0.0

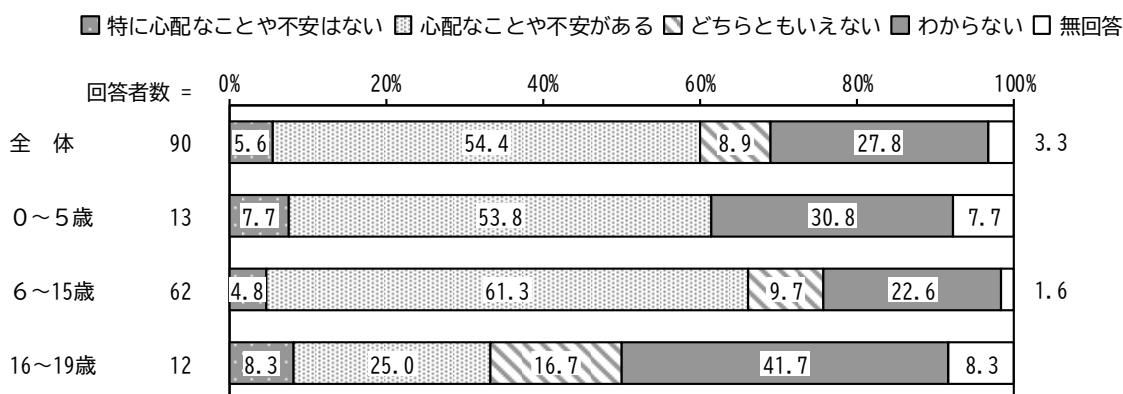
区分	周囲の目が気になる	周囲の方からの配慮・手助けがない	発作など突然の体調不良が心配	困った時にどうすればよい心配	休憩できる場所が少ない	その他	特にない	無回答
全 体	8.9	7.8	4.4	32.2	10.0	5.6	38.9	3.3
身体障害者手帳	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	13.7	9.8	5.9	41.2	13.7	5.9	21.6	5.9
精神障害者保健福祉手帳	0.0	8.3	0.0	41.7	8.3	0.0	41.7	0.0
発達障害の診断を受けている	4.0	12.0	0.0	40.0	8.0	0.0	48.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
障害児通所支援を利用している	11.8	5.9	0.0	23.5	5.9	11.8	41.2	5.9

問 20 あなたや家族、介助してくれる方は、あなたの”親が亡くなった後”や、将来の生活について、心配なことや不安がありますか。(○印は1つ)

「特に心配なことや不安はない」の割合が 5.6%、「心配なことや不安がある」の割合が 54.4%、「どちらともいえない」の割合が 8.9%となっています。

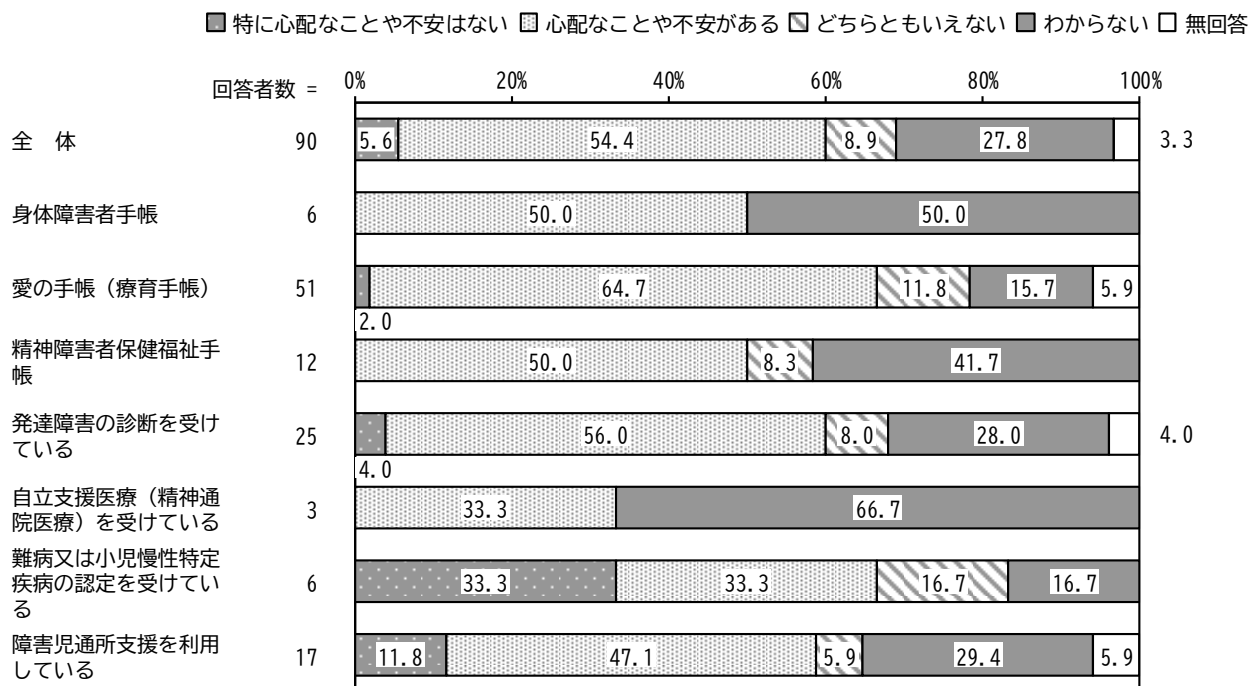
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳、6～15歳で「心配なことや不安がある」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「特に心配なことや不安はない」、愛の手帳（療育手帳）で「心配なことや不安がある」の割合が高くなっています。



問 21 あなたや家族は、「親が亡くなった後」の生活に関するつぎのことについて、心配や不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○印)

「お金の管理や支援」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「生活に必要な収入」の割合が 61.1%、「日常的な意思決定や支援」「相談できる方や機関」の割合が 50.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「緊急時の支援」の割合が高く、「日常的な介助や家事の援助」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	住む場所	日常的な 介助や家 事の援助	日常的な 意思決定 や支援	相談できる 方や機関	医療機関の 受診	生活に必要 な収入	お金の管理 や支援	日中を過 ごす場	休みの日 の過ごし 方	緊急時の 支援	その他	無回答
全 体	90	47.8	37.8	50.0	50.0	38.9	61.1	66.7	27.8	26.7	44.4	5.6	12.2
0～5歳	13	46.2	46.2	38.5	46.2	38.5	46.2	53.8	23.1	23.1	38.5	7.7	30.8
6～15歳	62	48.4	38.7	54.8	53.2	37.1	67.7	72.6	30.6	27.4	45.2	6.5	6.5
16～19歳	12	41.7	33.3	41.7	41.7	50.0	41.7	58.3	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「住む場所」「日常的な介助や家事の援助」「日中を過ごす場」「休みの日の過ごし方」、精神障害者保健福祉手帳で「医療機関の受診」「緊急時の支援」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「生活に必要な収入」「お金の管理や支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	住む場所	日常的な 介助や家 事の援助	日常的な 意思決定 や支援	相談できる 方や機関	医療機関の 受診	生活に必要 な収入	お金の管理 や支援	日中を過 ごす場	休みの日 の過ごし 方	緊急時の 支援	その他	無回答
全 体	90	47.8	37.8	50.0	50.0	38.9	61.1	66.7	27.8	26.7	44.4	5.6	12.2
身体障害者手帳	6	16.7	66.7	33.3	50.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	64.7	54.9	58.8	58.8	45.1	74.5	82.4	45.1	43.1	54.9	2.0	5.9
精神障害者保健福祉手帳	12	50.0	25.0	58.3	41.7	58.3	75.0	83.3	16.7	16.7	58.3	0.0	8.3
発達障害の診断を受けている	25	48.0	32.0	48.0	40.0	32.0	64.0	72.0	16.0	16.0	32.0	8.0	8.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	66.7	100.0	33.3	66.7	66.7	66.7	100.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3
障害児通所支援を利用している	17	17.6	29.4	35.3	35.3	17.6	52.9	41.2	5.9	5.9	23.5	11.8	29.4

問 22 あなたや家族は、「親が亡くなった後」への準備をするうえで、困ることがあります
か。(あてはまるものすべてに○印)

「考えるとさらに不安になる」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「何をすればよいかわからない」の割合が 41.1%、「情報が得にくい」「相談やいっしょに考える方がいない」の割合が 33.3%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「情報が得にくい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	情報が得にくい	相談やいっしょに 考える方がいない	準備をする時間的 な余裕がない	考えるとさらに不 安になる	準備をするために 費用がかかる	その他	何をすればよいか がわからない	無回答
全 体	90	33.3	33.3	7.8	42.2	16.7	5.6	41.1	11.1
0～5歳	13	30.8	7.7	7.7	23.1	7.7	0.0	46.2	30.8
6～15歳	62	32.3	37.1	8.1	46.8	19.4	8.1	38.7	6.5
16～19歳	12	41.7	33.3	8.3	41.7	16.7	0.0	58.3	16.7

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「情報が得にくい」「考えるとさらに不安になる」「準備をするために費用がかかる」、精神障害者保健福祉手帳で「相談やいっしょに考える方がいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	情報が得にくい	相談やいっしょに 考える方がいない	準備をする時間的 な余裕がない	考えるとさらに不 安になる	準備をするために 費用がかかる	その他	何をすればよいか がわからない	無回答
全 体	90	33.3	33.3	7.8	42.2	16.7	5.6	41.1	11.1
身体障害者手帳	6	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	39.2	37.3	11.8	54.9	25.5	3.9	47.1	5.9
精神障害者保健福祉手帳	12	25.0	41.7	8.3	41.7	16.7	0.0	41.7	0.0
発達障害の診断を受けている	25	24.0	28.0	8.0	36.0	12.0	4.0	48.0	8.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
障害児通所支援を利用している	17	23.5	11.8	0.0	29.4	5.9	11.8	29.4	29.4

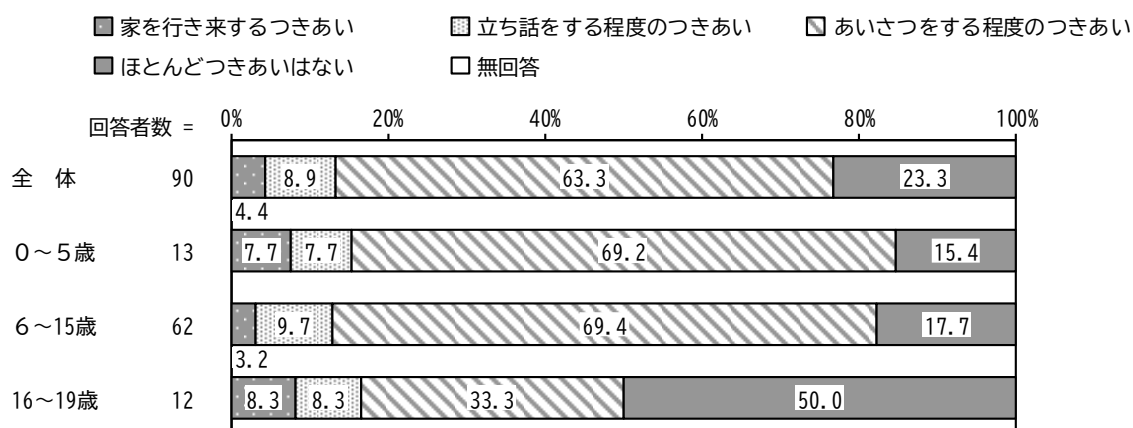
地域での生活について

問 23 あなたは、普段、近所の方との程度おつきあいをしていますか。(○印は1つ)

「あいさつをする程度のつきあい」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」の割合が 23.3%となっています。

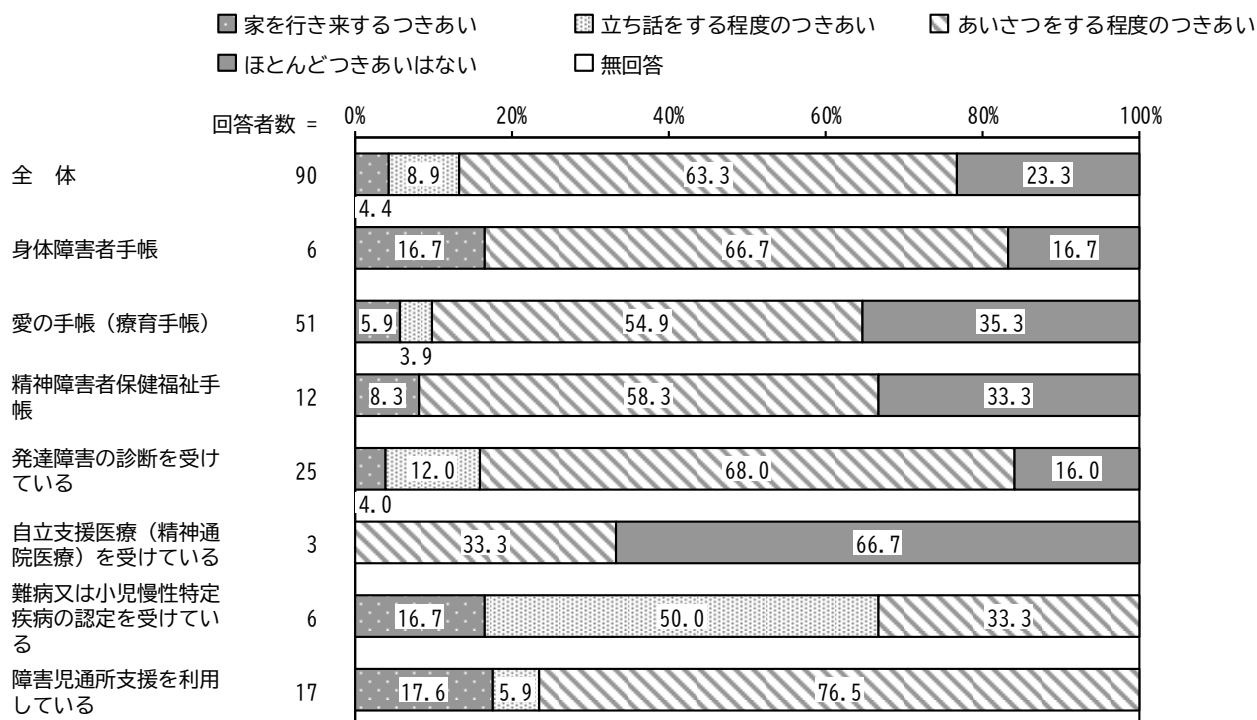
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「ほとんどつきあいはない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「家を行き来するつきあい」「あいさつをする程度のつきあい」、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「ほとんどつきあいはない」の割合が高くなっています。

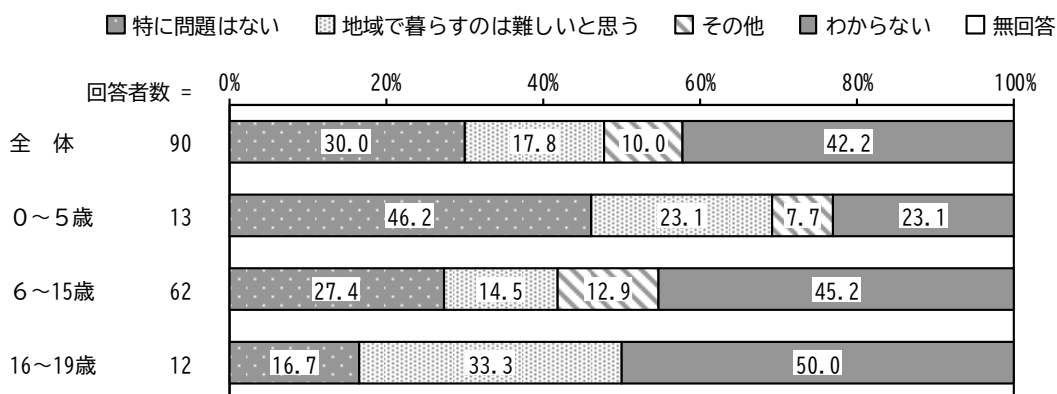


問 24 障害者が入所施設で生活するのではなく、今後、住み慣れた地域で暮らしていくことについてどう思いますか。(○印は1つ)

「特に問題はない」の割合が 30.0%、「地域で暮らすのは難しいと思う」の割合が 17.8%となっています。

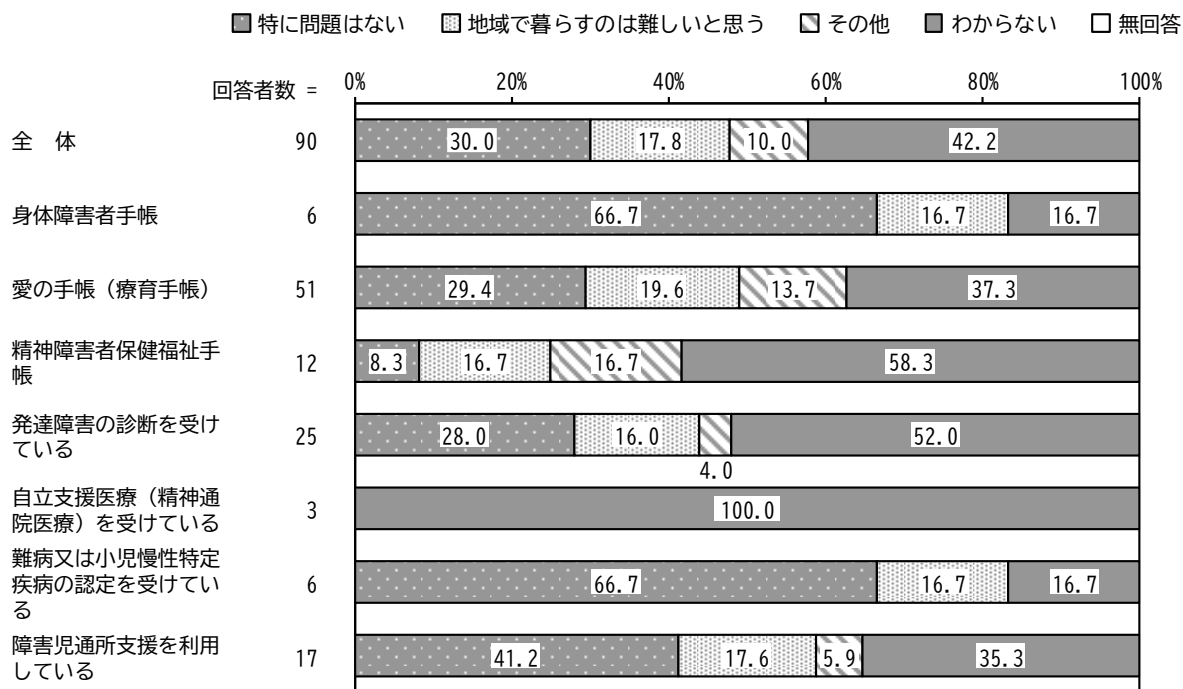
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「特に問題はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「特に問題はない」の割合が高くなっています。



問 25 あなたは、障害児が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。(特に必要と思われるもの3つまで○印)

「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「地域生活やサービス利用に関する相談支援」の割合が 34.4%、「地域の方たちの障害に対する理解」の割合が 28.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「障害者のための住宅の確保」「地域の方たちの障害に対する理解」の割合が高く、「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」「利用しやすい医療機関」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	地域生活やサービス利用に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中の活動・訓練場所や作業所の充実	グループホームの拡充	手話などによるコミュニケーションの支援	失語症によりコミュニケーションが難しい方への意思疎通支援	障害者のための住宅の確保
全 体	90	34.4	12.2	37.8	22.2	2.2	5.6	22.2
0～5歳	13	46.2	30.8	38.5	0.0	7.7	7.7	7.7
6～15歳	62	30.6	8.1	37.1	25.8	0.0	6.5	24.2
16～19歳	12	41.7	16.7	33.3	16.7	8.3	0.0	33.3

区分	利用しやすい医療機関	一般就労するための支援	交通機関や施設などのバリアフリー化	地域の方たちの障害に対する理解	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	18.9	24.4	4.4	28.9	5.6	6.7	7.8
0～5歳	23.1	7.7	0.0	23.1	15.4	7.7	0.0
6～15歳	21.0	29.0	6.5	27.4	4.8	4.8	9.7
16～19歳	8.3	25.0	0.0	41.7	0.0	8.3	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「日中の活動・訓練場所や作業所の充実」「一般就労するための支援」「地域の方たちの障害に対する理解」、愛の手帳（療育手帳）で「グループホームの拡充」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域生活やサービス利用に関する相談支援	訪問系サービスの充実	日中の活動・訓練場所や作業所の充実	グループホームの拡充	手話などによるコミュニケーションの支援	失語症によりコミュニケーションが難しい方への意思疎通支援	障害者のための住宅の確保
全 体	90	34.4	12.2	37.8	22.2	2.2	5.6	22.2
身体障害者手帳	6	50.0	50.0	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7
愛の手帳（療育手帳）	51	29.4	5.9	45.1	37.3	0.0	7.8	27.5
精神障害者保健福祉手帳	12	25.0	8.3	58.3	8.3	8.3	0.0	16.7
発達障害の診断を受けている	25	44.0	8.0	32.0	16.0	0.0	4.0	12.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
障害児通所支援を利用している	17	41.2	17.6	35.3	5.9	5.9	0.0	17.6

区分	利用しやすい医療機関	援一般就労するための支援	交通機関や施設などのバリアフリー化	地域の方たちの障害に対する理解	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	18.9	24.4	4.4	28.9	5.6	6.7	7.8
身体障害者手帳	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	11.8	17.6	5.9	21.6	5.9	3.9	13.7
精神障害者保健福祉手帳	16.7	50.0	0.0	50.0	16.7	8.3	0.0
発達障害の診断を受けている	24.0	32.0	0.0	32.0	8.0	4.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	23.5	23.5	0.0	35.3	0.0	5.9	5.9

問 26 あなたは、相手とコミュニケーションをする時や必要な情報を利用する時に、特に困るのはどのような場合ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「初めて行くところに出かける時」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「病院にかかった時」の割合が 40.0%、「銀行を利用する時」の割合が 36.7%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「銀行を利用する時」「買い物をする時」「スポーツやレクリエーションに参加する時」「仕事をする時」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	飲食店を利用する時	初めて行くところに出 かける時	銀行を利用する時	病院にかかった時	旅行をする時	買い物をする時	スポーツやレクリエー ションに参加する時	住まいを探す時	仕事をする時	その他	無回答
全 体	90	31.1	57.8	36.7	40.0	33.3	35.6	27.8	32.2	35.6	11.1	13.3
0～5歳	13	38.5	46.2	38.5	38.5	38.5	38.5	38.5	30.8	38.5	23.1	30.8
6～15歳	62	27.4	64.5	37.1	41.9	29.0	33.9	27.4	32.3	35.5	9.7	8.1
16～19歳	12	41.7	41.7	33.3	25.0	41.7	33.3	25.0	33.3	33.3	8.3	16.7

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「飲食店を利用する時」「病院にかかった時」「買い物をする時」「スポーツやレクリエーションに参加する時」「住まいを探す時」、精神障害者保健福祉手帳で「初めて行くところに出かける時」「銀行を利用する時」「旅行をする時」「仕事をする時」の割合が高くなっています。

単位：％

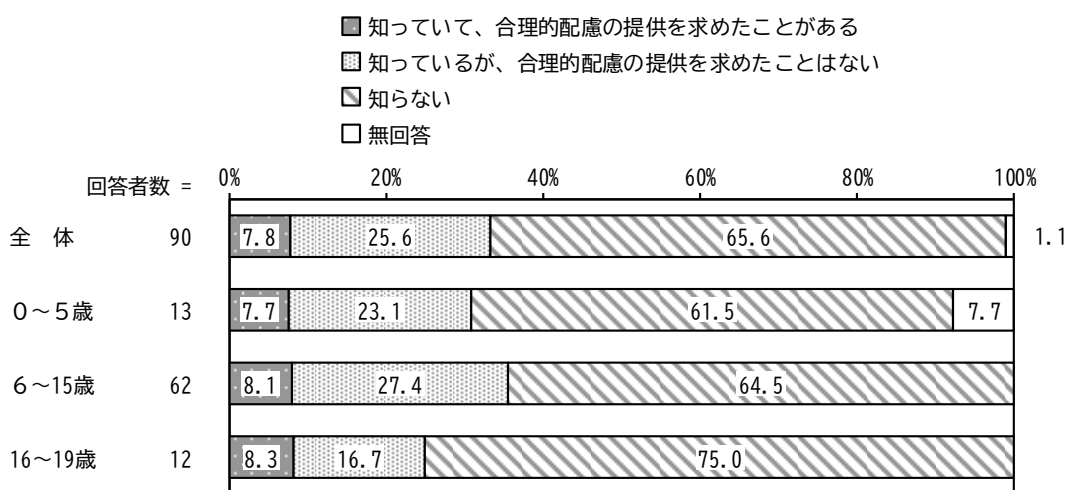
区分	回答者数 (件)	飲食店を利用する時	初めて行くところに出 かける時	銀行を利用する時	病院にかかった時	旅行をする時	買い物をする時	スポーツやレクリエー ションに参加する時	住まいを探す時	仕事をする時	その他	無回答
全 体	90	31.1	57.8	36.7	40.0	33.3	35.6	27.8	32.2	35.6	11.1	13.3
身体障害者手帳	6	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
愛の手帳（療育手帳）	51	52.9	68.6	52.9	56.9	47.1	58.8	41.2	47.1	45.1	5.9	3.9
精神障害者保健福祉手帳	12	33.3	91.7	66.7	41.7	66.7	25.0	25.0	41.7	58.3	0.0	8.3
発達障害の診断を受けている	25	32.0	60.0	36.0	40.0	40.0	32.0	32.0	28.0	44.0	24.0	8.0
自立支援医療（精神通 院医療）を受けている	3	66.7	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定 疾病の認定を受けている	6	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3
障害児通所支援を利用 している	17	17.6	47.1	23.5	23.5	29.4	23.5	23.5	23.5	35.3	17.6	23.5

問 27 障害者差別解消法が改正され、令和6年から事業者等による障害のある方への「合理的配慮の提供」が義務化されました。「合理的配慮の提供」とは、障害のある方から社会の中にある障壁を取り除くための何らかの配慮を求める意思表示があったときに、負担が重すぎない範囲で対応することです。あなたは、合理的配慮の提供について知っていますか。(○印は1つ)

「知っていて、合理的配慮の提供を求めたことがある」の割合が 7.8%、「知っているが、合理的配慮の提供を求めたことはない」の割合が 25.6%、「知らない」の割合が 65.6%となっています。

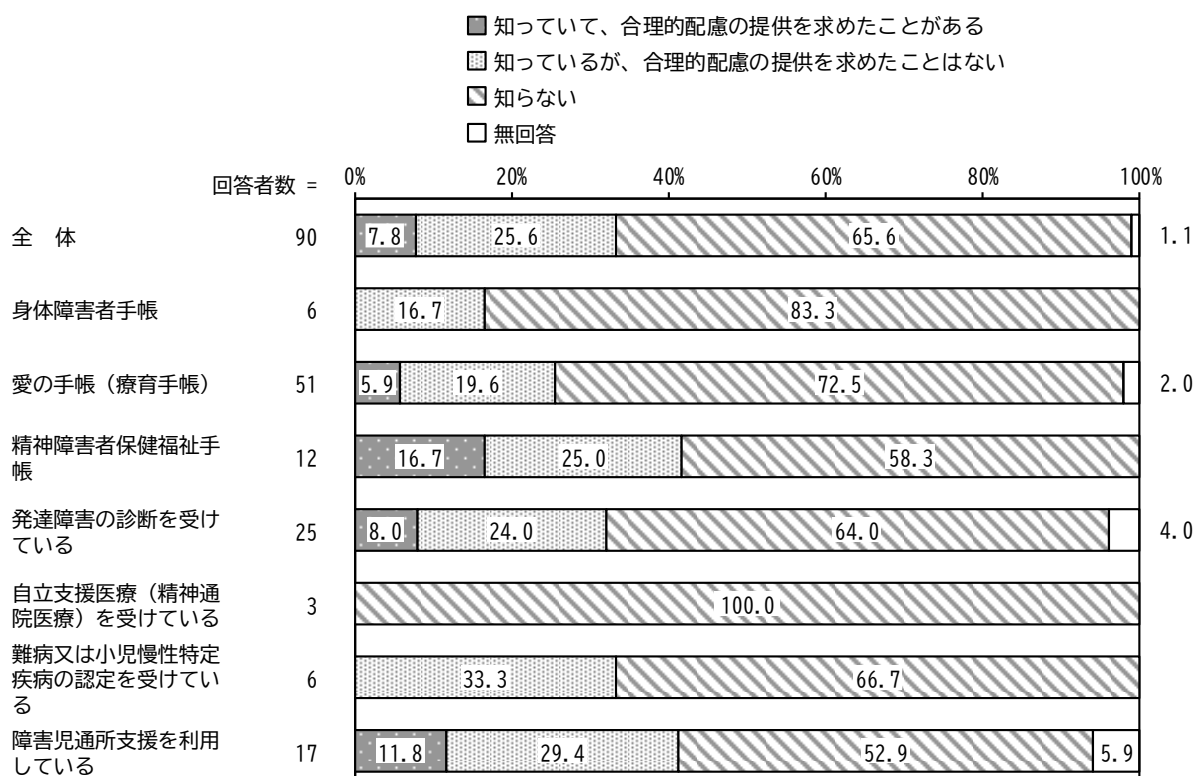
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っていて、合理的配慮の提供を求めたことがある」、愛の手帳（療育手帳）で「知らない」の割合が高くなっています。



問 28 あなたは、合理的配慮の提供がなされていないと感じた時、どのようなアクションを取りますか。(あてはまるものすべてに○印)

「その場で指摘して対応を求める」の割合が 6.7%、「事後に事業者にお問い合わせで改善を求める」の割合が 22.2%、「行政窓口へ相談する」の割合が 18.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「事後に事業者にお問い合わせで改善を求める」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	その場で指摘して 対応を求める	事後に事業者に 問い合わせで改善を 求める	行政窓口へ相談す る	その他	何もしない	無回答
全 体	90	6.7	22.2	18.9	10.0	47.8	6.7
0～5歳	13	15.4	15.4	38.5	7.7	23.1	23.1
6～15歳	62	3.2	22.6	12.9	12.9	53.2	3.2
16～19歳	12	16.7	25.0	16.7	0.0	50.0	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「その場で指摘して対応を求める」、障害児通所支援を利用しているで「事後に事業者にお問い合わせで改善を求める」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	その場で指摘して 対応を求める	事後に事業者に 問い合わせで改善を 求める	行政窓口へ相談す る	その他	何もしない	無回答
全 体	90	6.7	22.2	18.9	10.0	47.8	6.7
身体障害者手帳	6	16.7	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	3.9	23.5	19.6	9.8	51.0	3.9
精神障害者保健福祉手帳	12	16.7	16.7	8.3	0.0	75.0	0.0
発達障害の診断を受けている	25	4.0	16.0	16.0	12.0	48.0	12.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7
障害児通所支援を利用している	17	5.9	29.4	17.6	17.6	35.3	17.6

問 29 あなたは、障害への理解を進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○印）

「地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」の割合が 70.0%、「障害者の一般就労の促進」の割合が 50.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「障害や障害者に関するパンフレットの発行」「障害者作品展やイベントの開催」「障害に関する講演会や疑似体験会の開催」の割合が高く、「地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障害や障害者に関するパンフレットの発行	障害者作品展やイベントの開催	障害に関する講演会や疑似体験会の開催	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと	地域での交流の機会を増やして、地域の方とつながりを持つこと	障害者の一般就労の促進	その他	無回答
全 体	90	12.2	10.0	17.8	70.0	74.4	40.0	50.0	1.1	3.3
0～5歳	13	7.7	0.0	7.7	69.2	84.6	30.8	38.5	0.0	0.0
6～15歳	62	8.1	9.7	16.1	71.0	74.2	41.9	53.2	0.0	4.8
16～19歳	12	33.3	16.7	33.3	58.3	66.7	41.7	33.3	8.3	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「障害者作品展やイベントの開催」「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」、愛の手帳（療育手帳）で「障害に関する講演会や疑似体験会の開催」「地域での交流の機会を増やして、地域の方とつながりを持つこと」、愛の手帳（療育手帳）、障害児通所支援を利用しているで「障害者の一般就労の促進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	障害や障害者に関するパンフレットの発行	障害者作品展やイベントの開催	障害に関する講演会や疑似体験会の開催	学校や生涯学習での障害に関する教育や情報	地域や学校等で障害への理解を学ぶ機会を増やすこと	地域での交流の機会を増やして、地域の方とつながりを持つこと	障害者の一般就労の促進	その他	無回答
全 体	90	12.2	10.0	17.8	70.0	74.4	40.0	50.0	1.1	3.3
身体障害者手帳	6	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	50.0	66.7	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	15.7	11.8	25.5	74.5	76.5	47.1	56.9	0.0	3.9
精神障害者保健福祉手帳	12	8.3	16.7	16.7	83.3	75.0	41.7	41.7	8.3	0.0
発達障害の診断を受けている	25	12.0	0.0	16.0	72.0	76.0	24.0	44.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	0.0	0.0	0.0	50.0	83.3	33.3	33.3	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	11.8	5.9	11.8	76.5	64.7	35.3	58.8	0.0	0.0

障害福祉サービスなどについて

問 30 あなたは普段、次のような障害福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。（それぞれに○印は1つ）

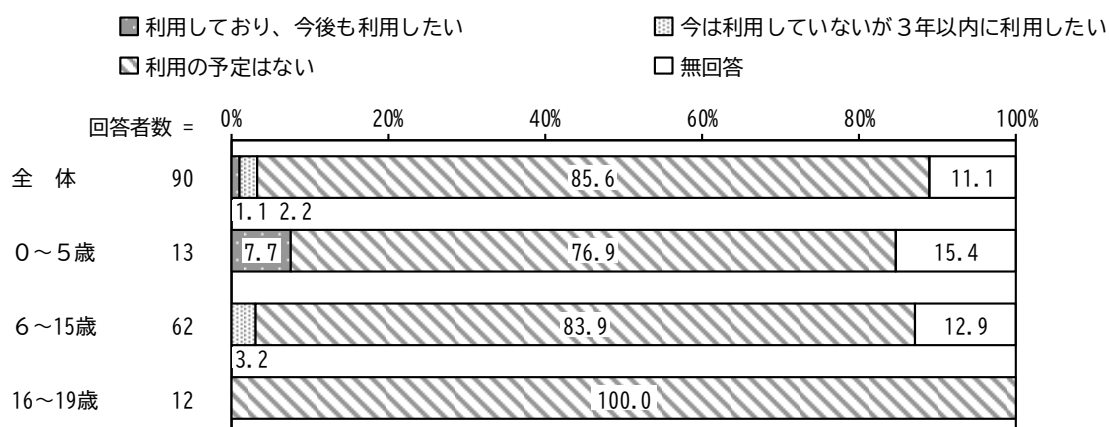
日中活動系サービスの『③放課後等デイサービス（医療型含む）』で「利用しており、今後も利用したい」が、その他の『③移動支援事業（外出時のガイドヘルプ）』で「今は利用していないが3年以内に利用したい」が、その他の『①意思疎通支援事業（主に聴覚障害者への手話通訳の派遣）』で「利用の予定はない」が高くなっています。

訪問系サービス

①居宅介護（ホームヘルプ）

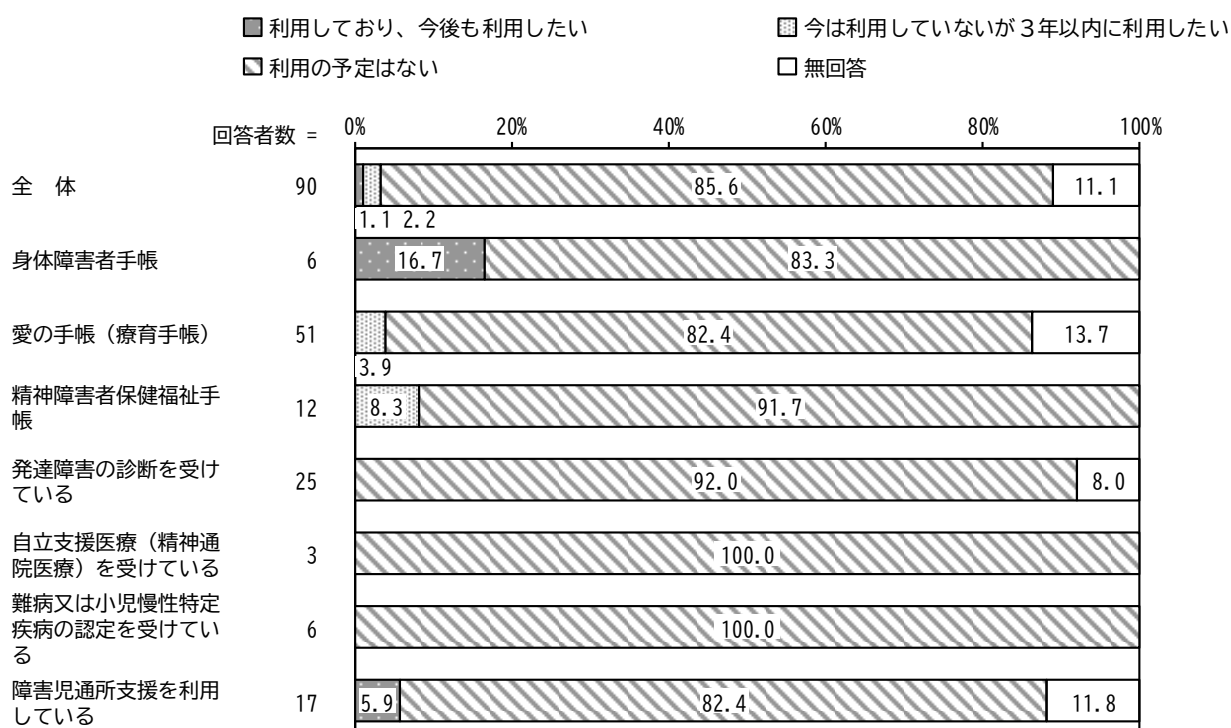
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

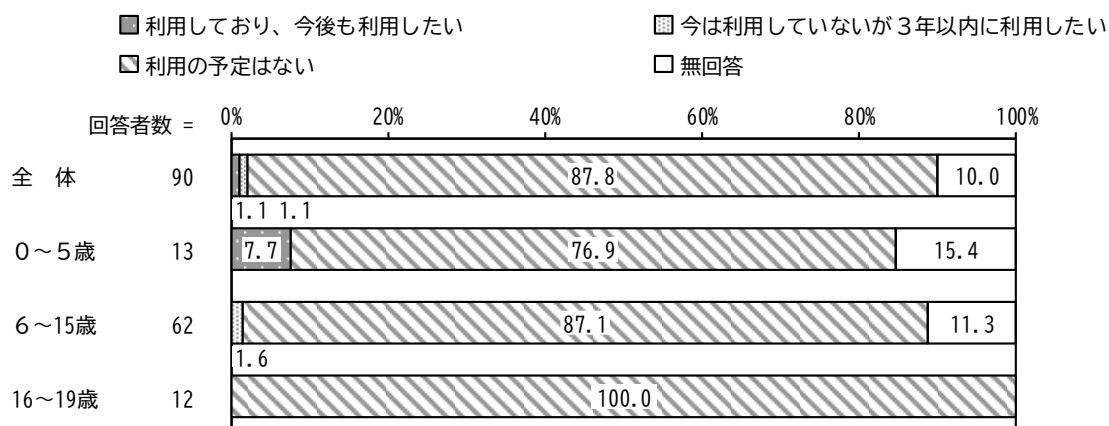
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



②重度訪問介護

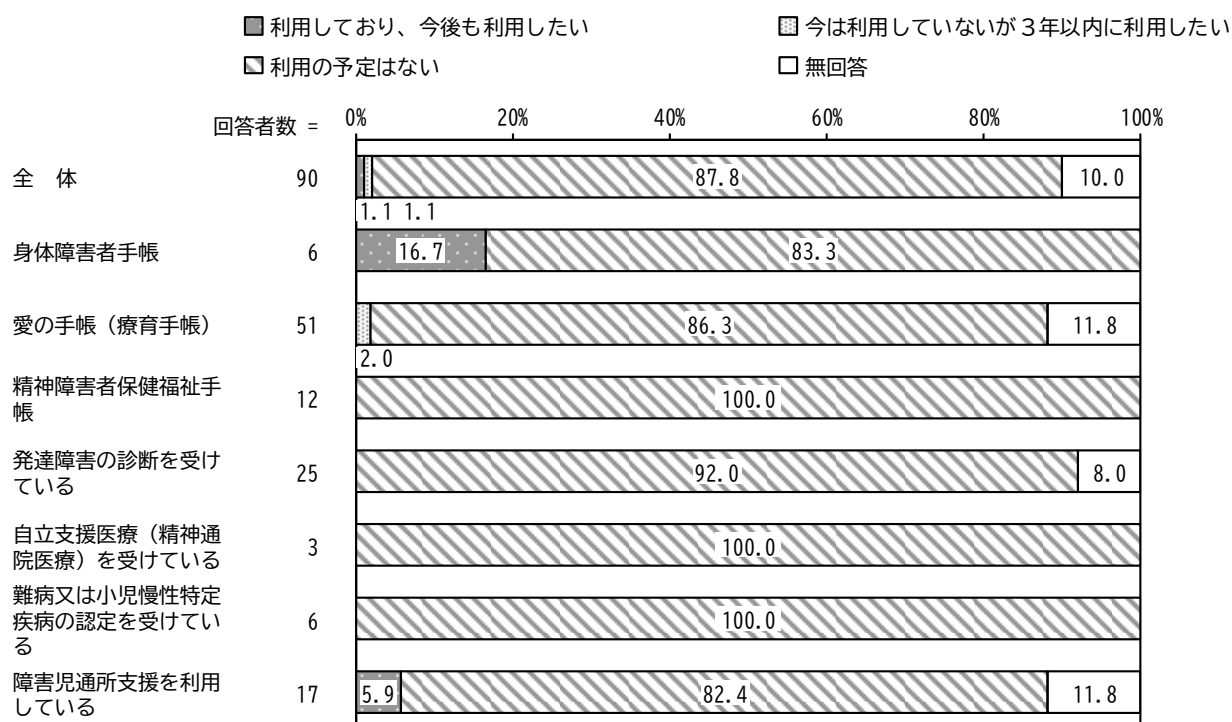
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

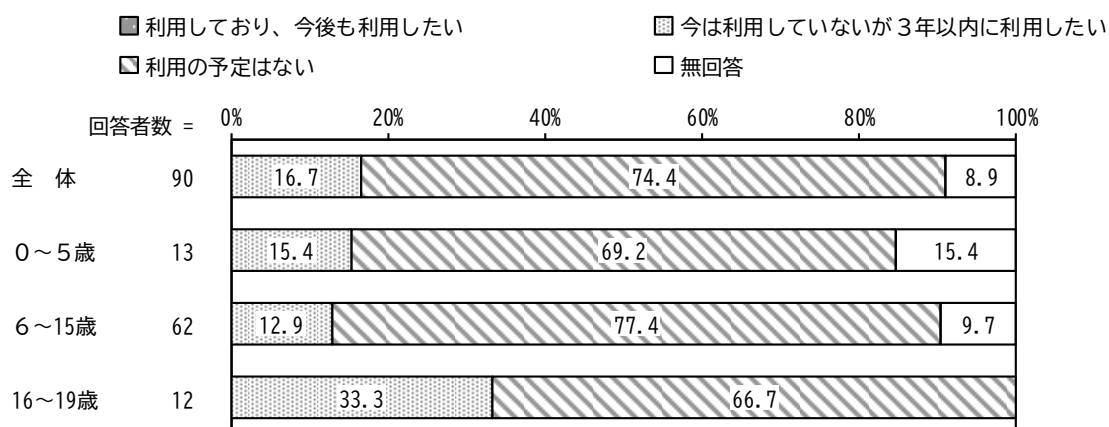
手帳の種類・診断別にみると、10件以上の項目で大きな差はみられません。



③同行援護

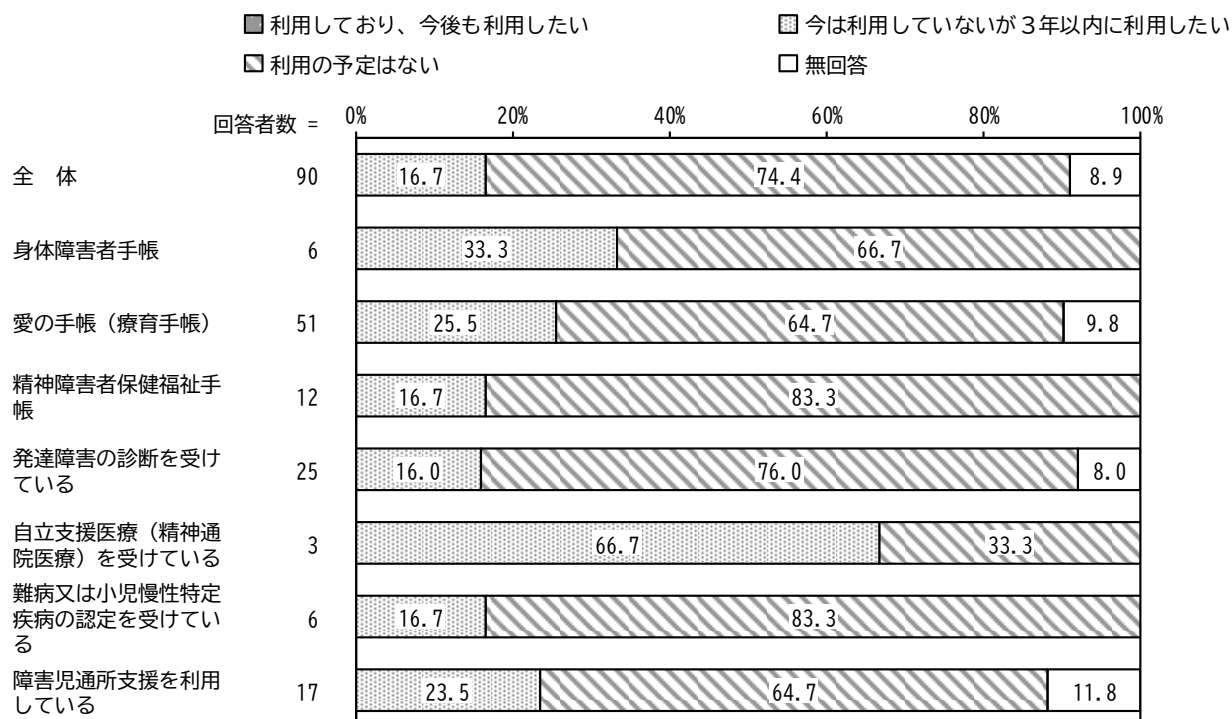
【年齢別】

年齢別にみると、16～19 歳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

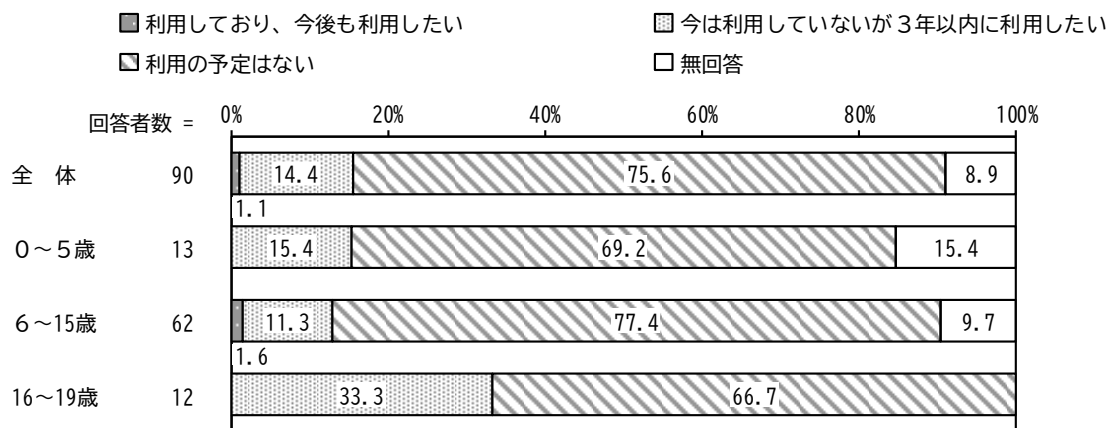
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、障害児通所支援を利用しているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



④行動援護

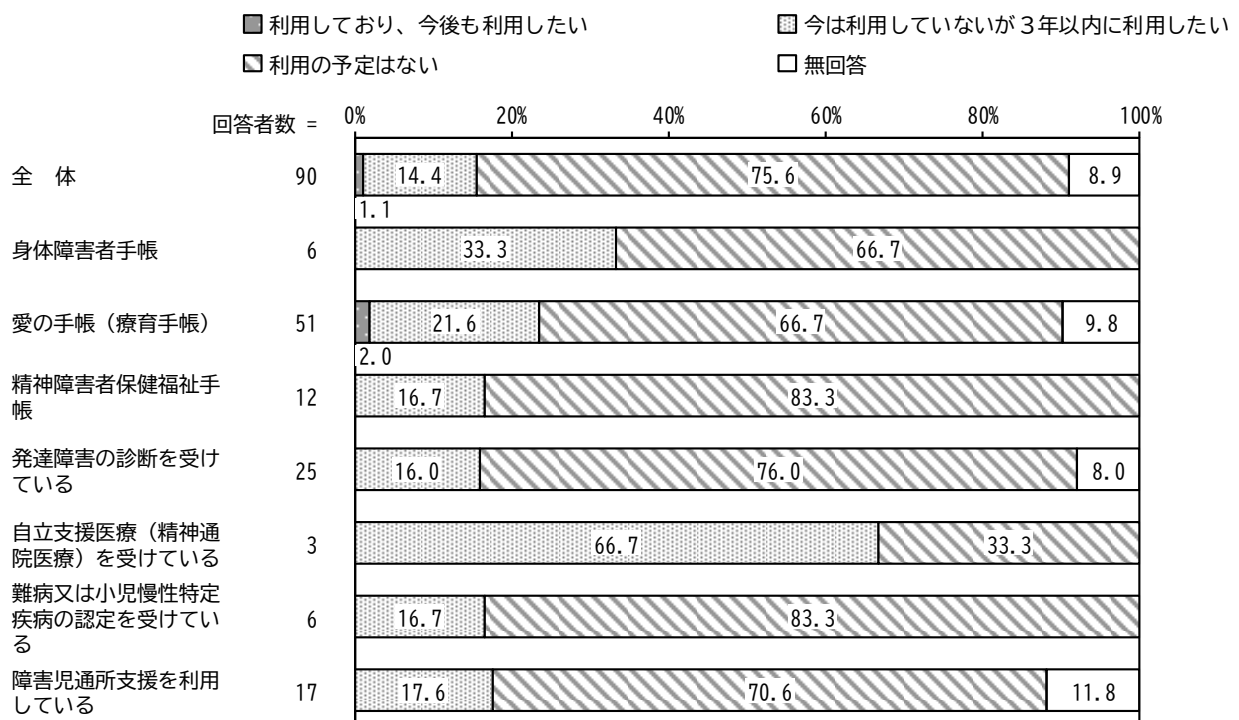
【年齢別】

年齢別にみると、16～19 歳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。

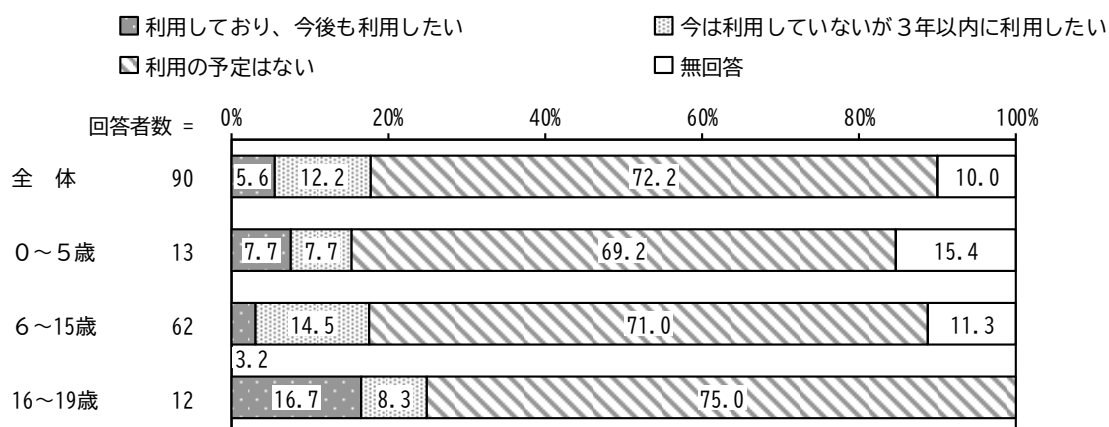


日中活動系サービス

①短期入所（ショートステイ）

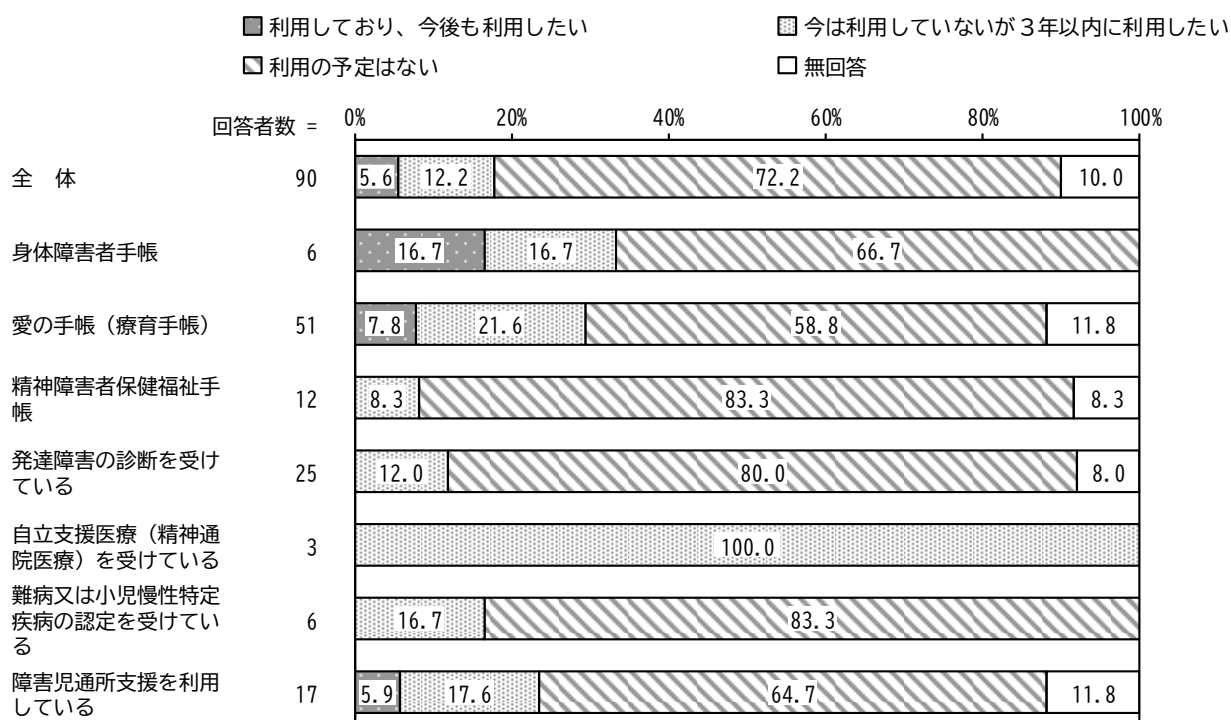
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

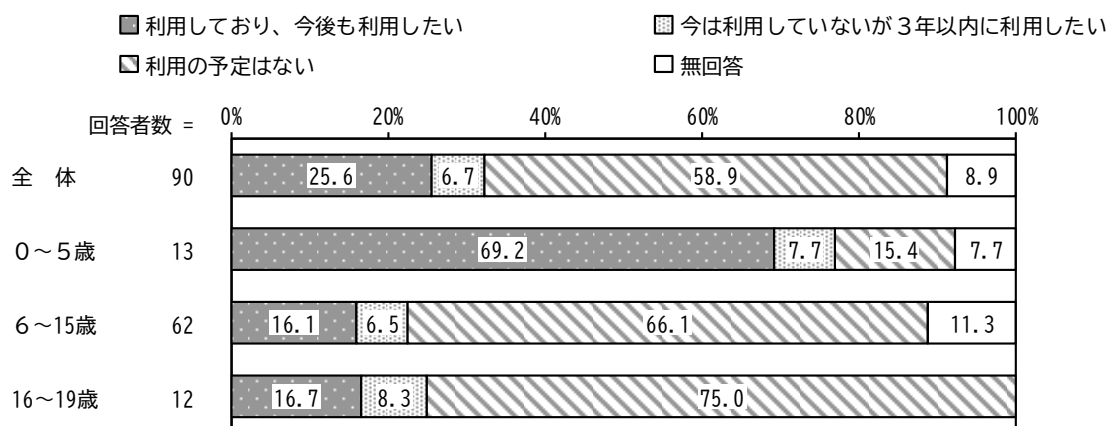
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



②児童発達支援（医療型含む）

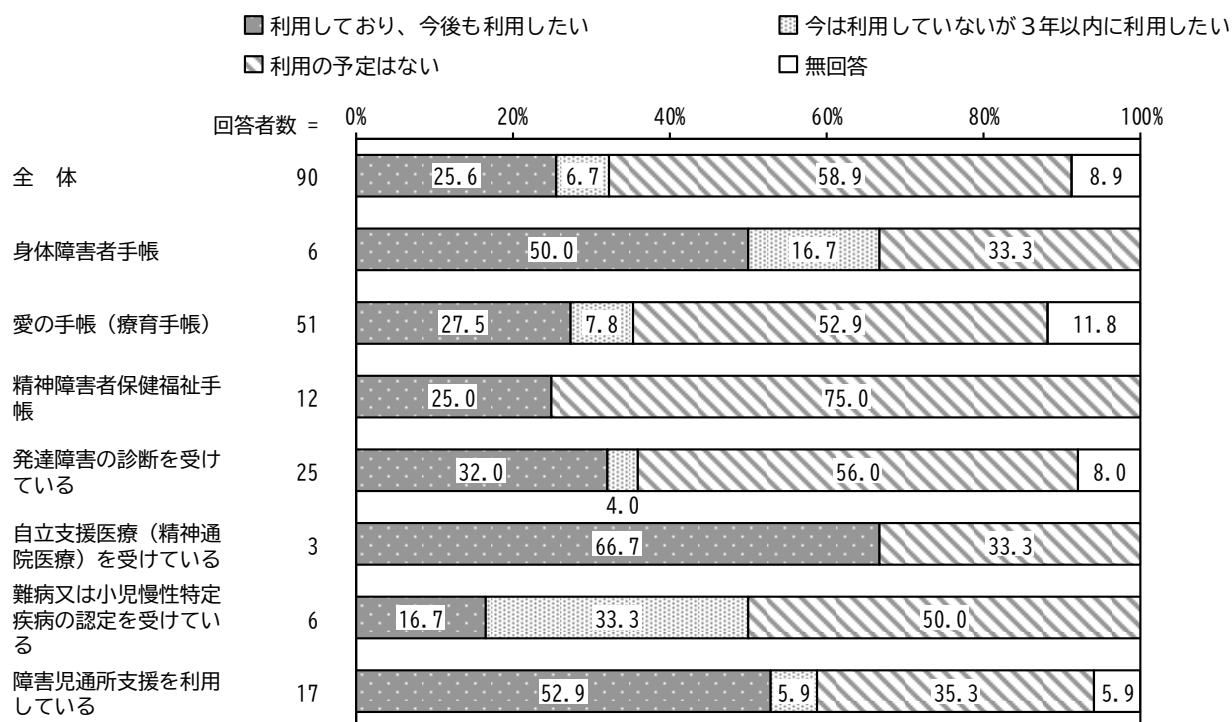
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「利用しており、今後も利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

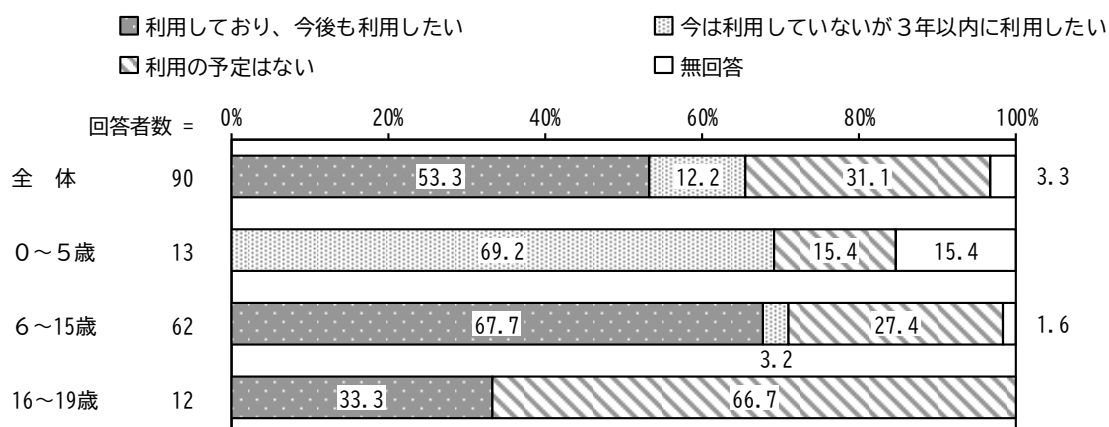
手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「利用しており、今後も利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



③放課後等デイサービス（医療型含む）

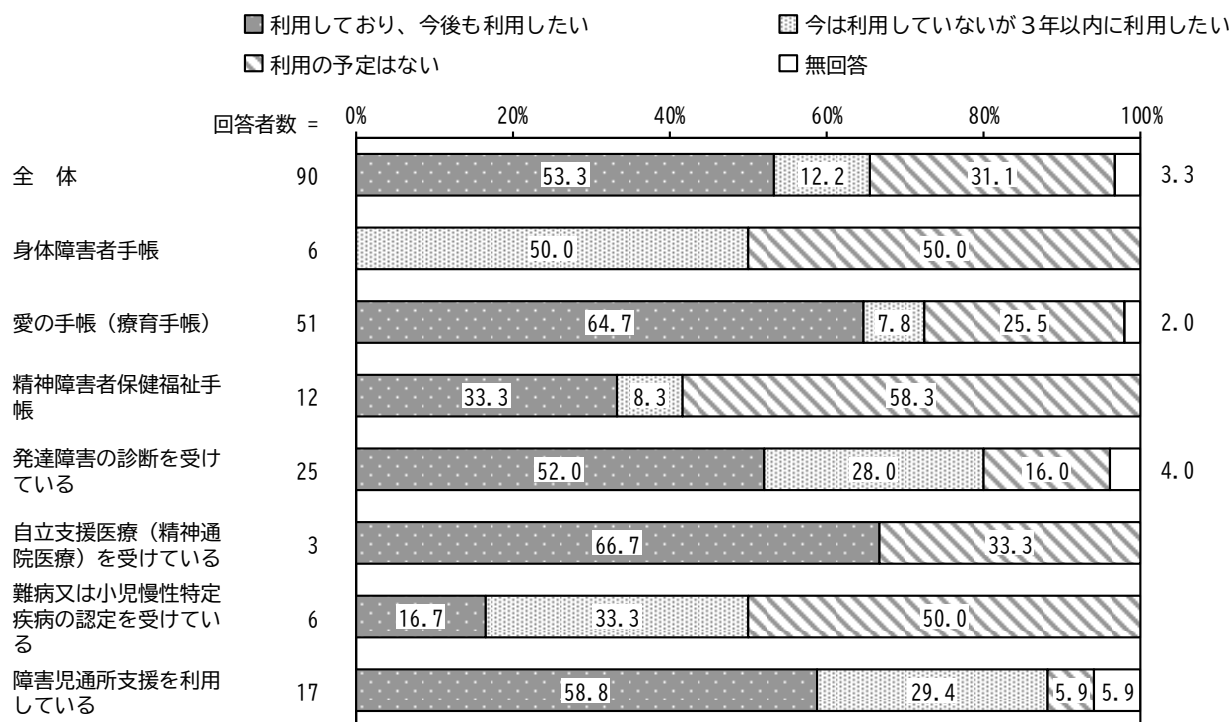
【年齢別】

年齢別にみると、6～15歳で「利用しており、今後も利用したい」、0～5歳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

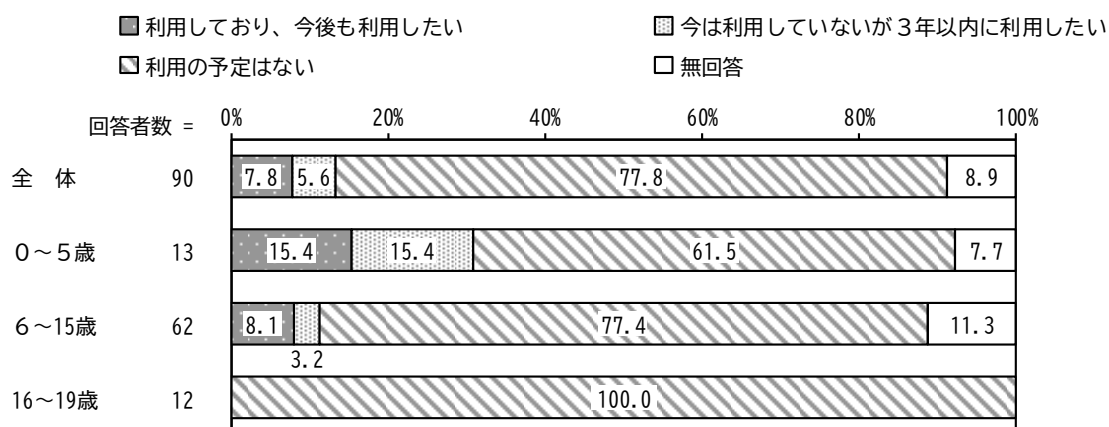
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」、発達障害の診断を受けている、障害児通所支援を利用しているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



④保育所等訪問支援

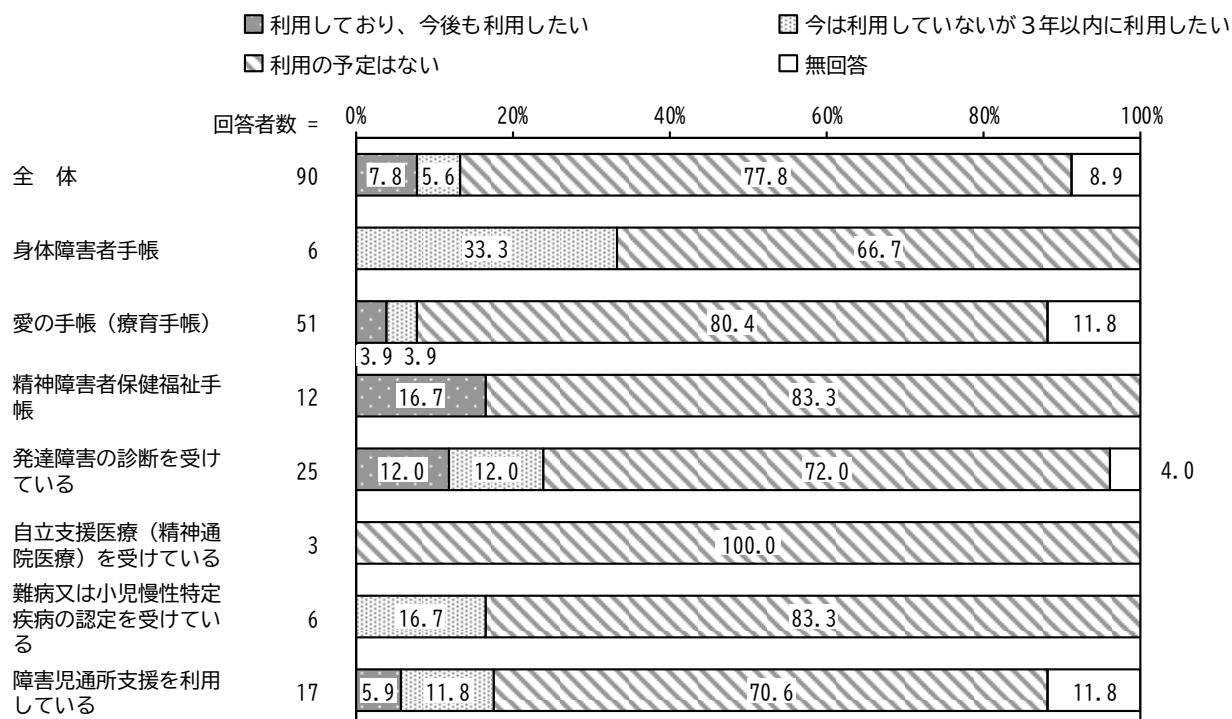
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「利用しており、今後も利用したい」「今は利用していないが3年以内に利用したい」、16～19歳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「利用しており、今後も利用したい」「利用の予定はない」、発達障害の診断を受けている、障害児通所支援を利用しているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。

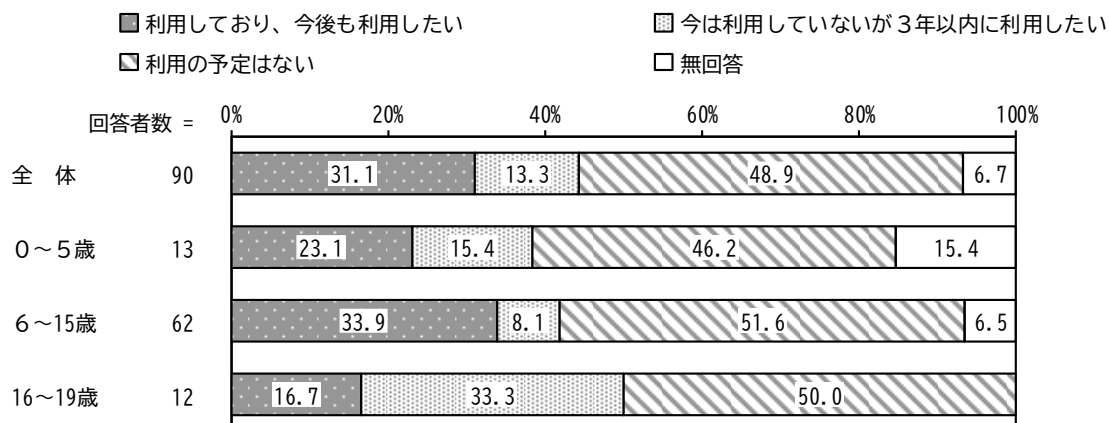


相談系サービス

①障害児相談支援

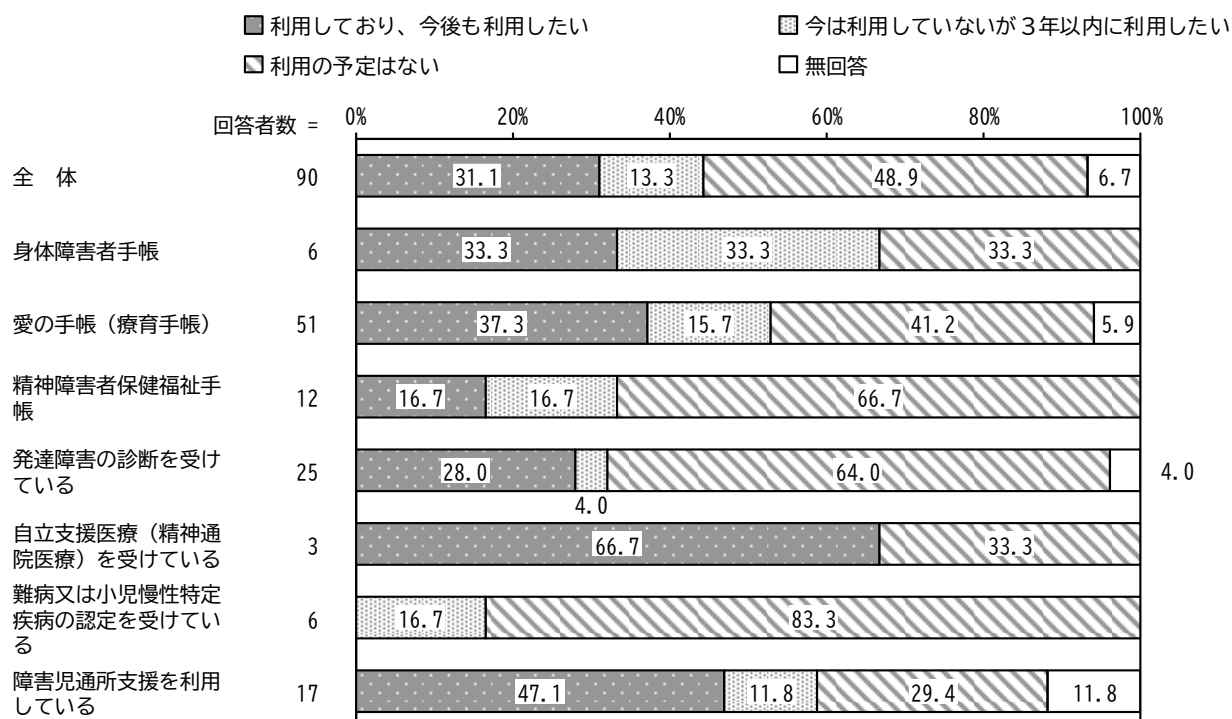
【年齢別】

年齢別にみると、6～15歳で「利用しており、今後も利用したい」、16～19歳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「利用しており、今後も利用したい」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「利用の予定はない」の割合が高くなっています。

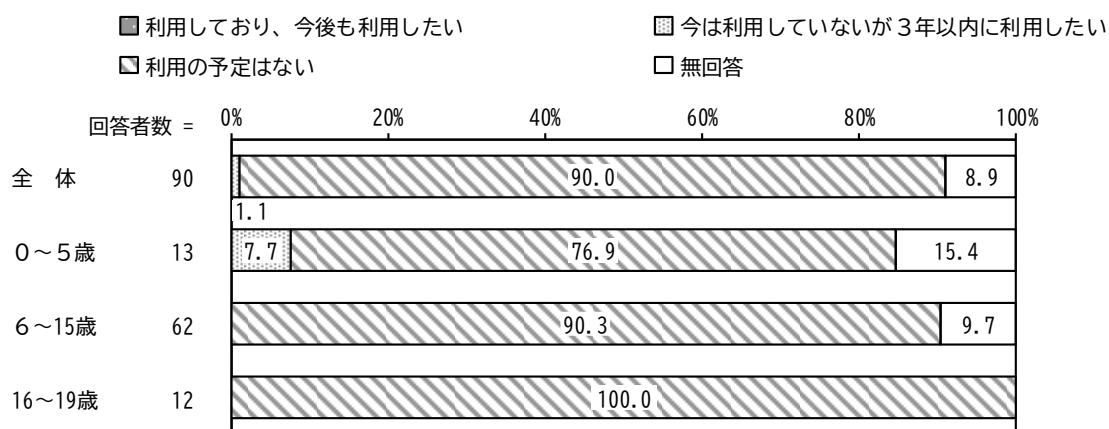


その他

①意思疎通支援事業（主に聴覚障害者への手話通訳の派遣）

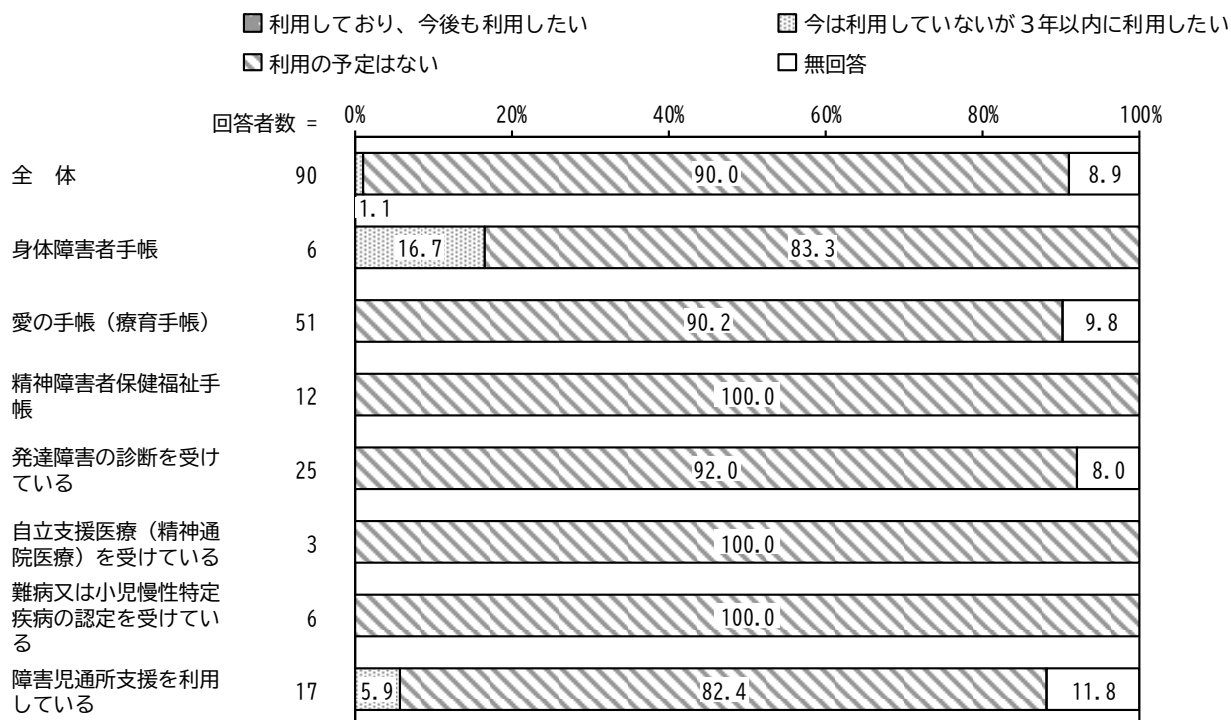
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

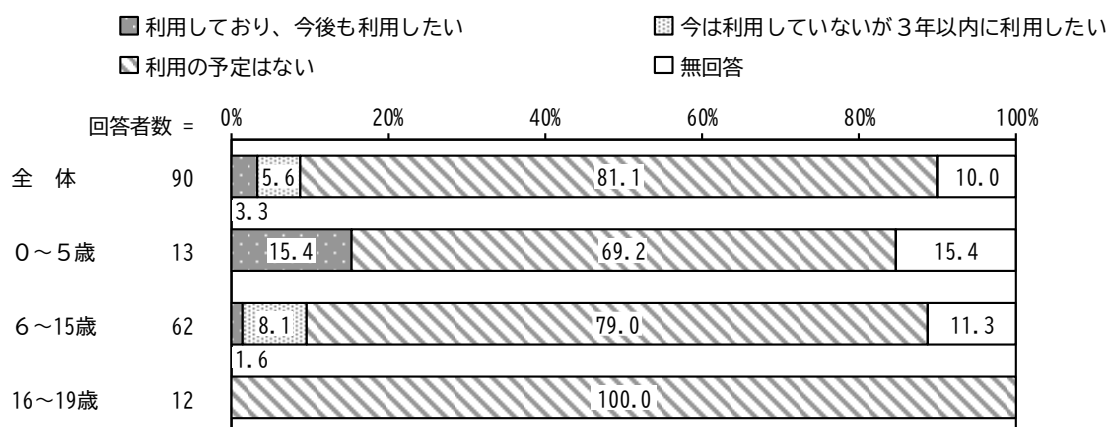
手帳の種類・診断別にみると、10件以上の項目で大きな差はみられません。



②日常生活用具給付等事業

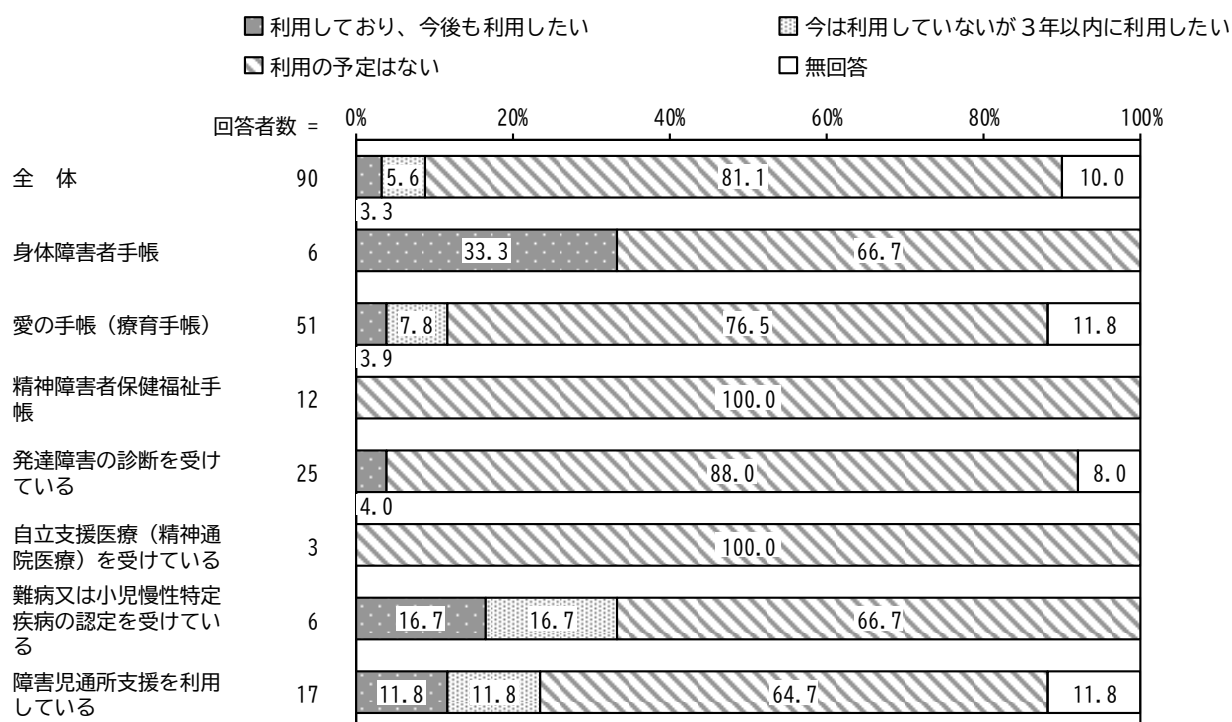
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用の予定はない」の割合が高く、「利用しており、今後も利用したい」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

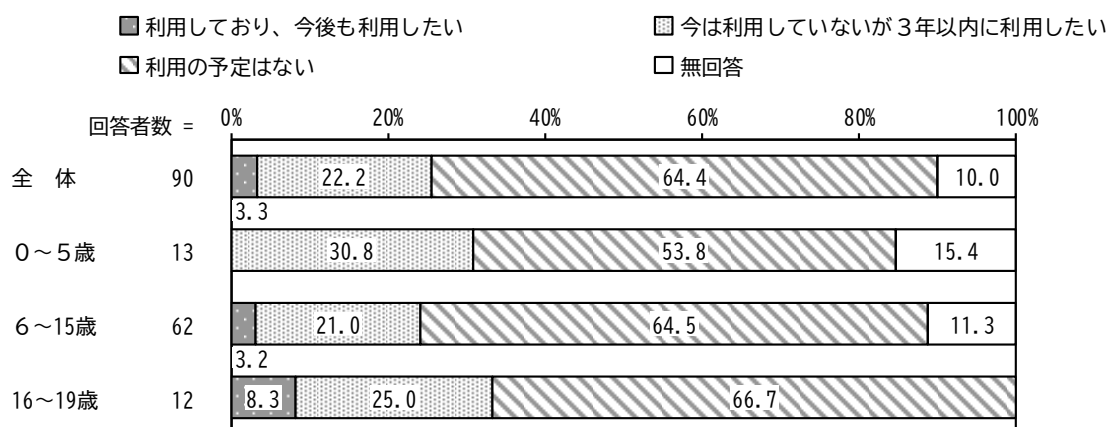
手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「利用しており、今後も利用したい」「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



③移動支援事業（外出時のガイドヘルプ）

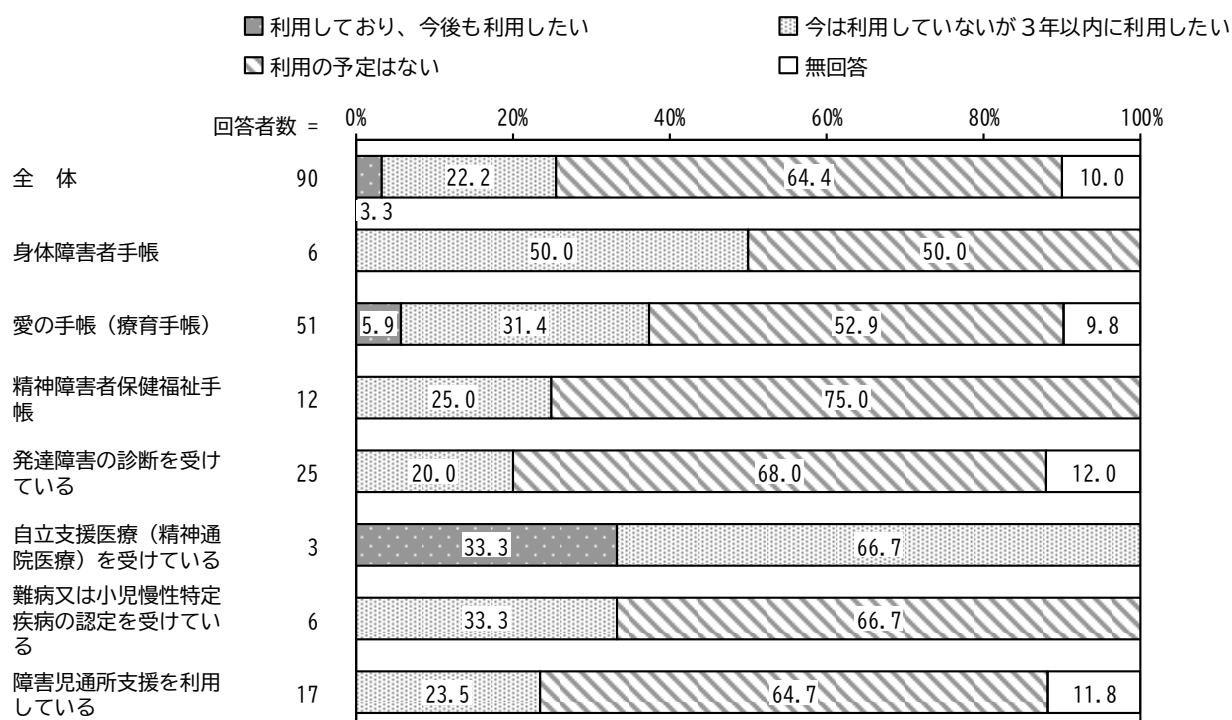
【年齢別】

年齢別にみると、16～19歳で「利用しており、今後も利用したい」、0～5歳で「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

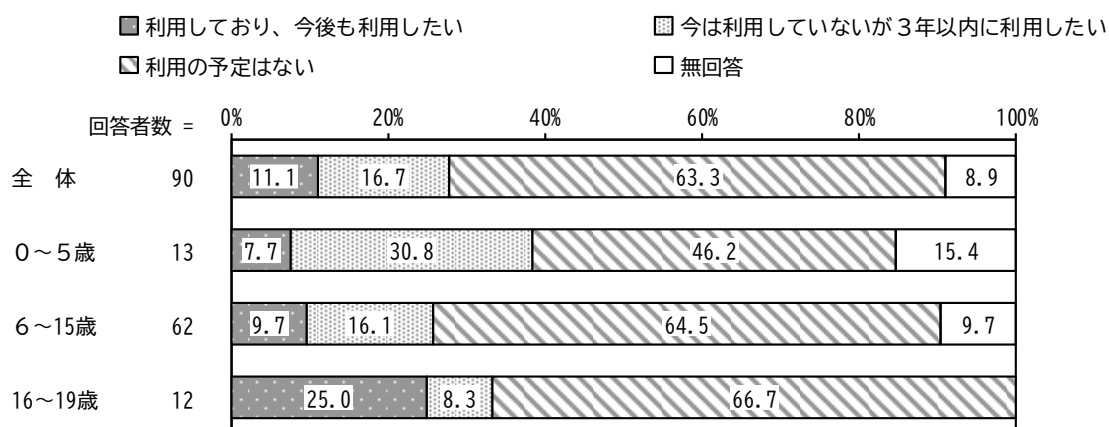
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



④日中一時支援事業（緊急一時保護）

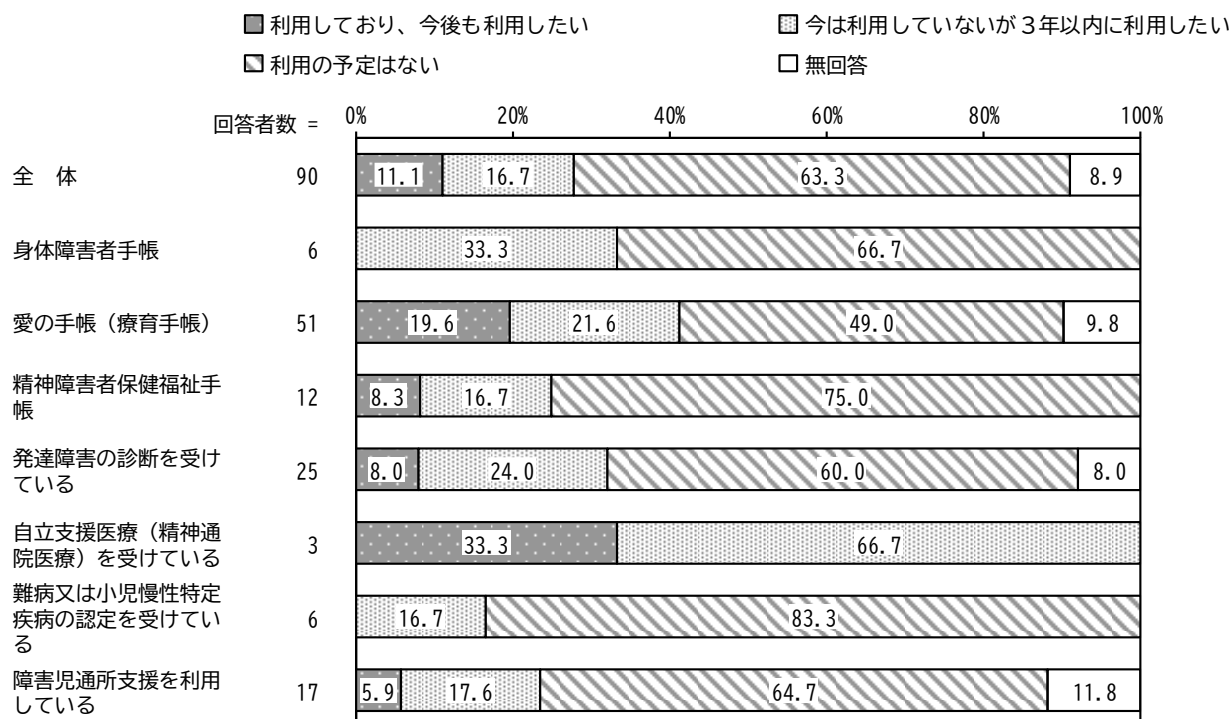
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用しており、今後も利用したい」「利用の予定はない」の割合が高く、「今は利用していないが3年以内に利用したい」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

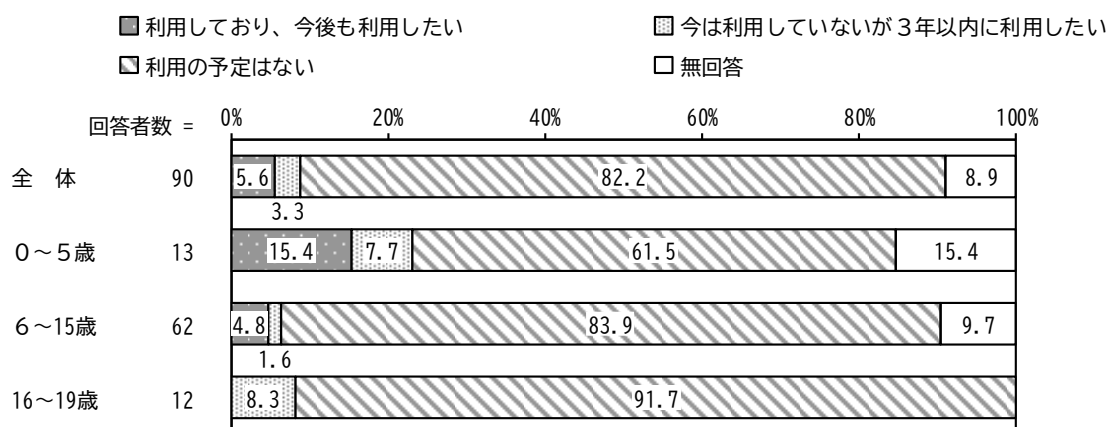
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「利用しており、今後も利用したい」、発達障害の診断を受けているで「今は利用していないが3年以内に利用したい」、精神障害者保健福祉手帳で「利用の予定はない」の割合が高くなっています。



⑤補装具費（車いす・補聴器等）の給付

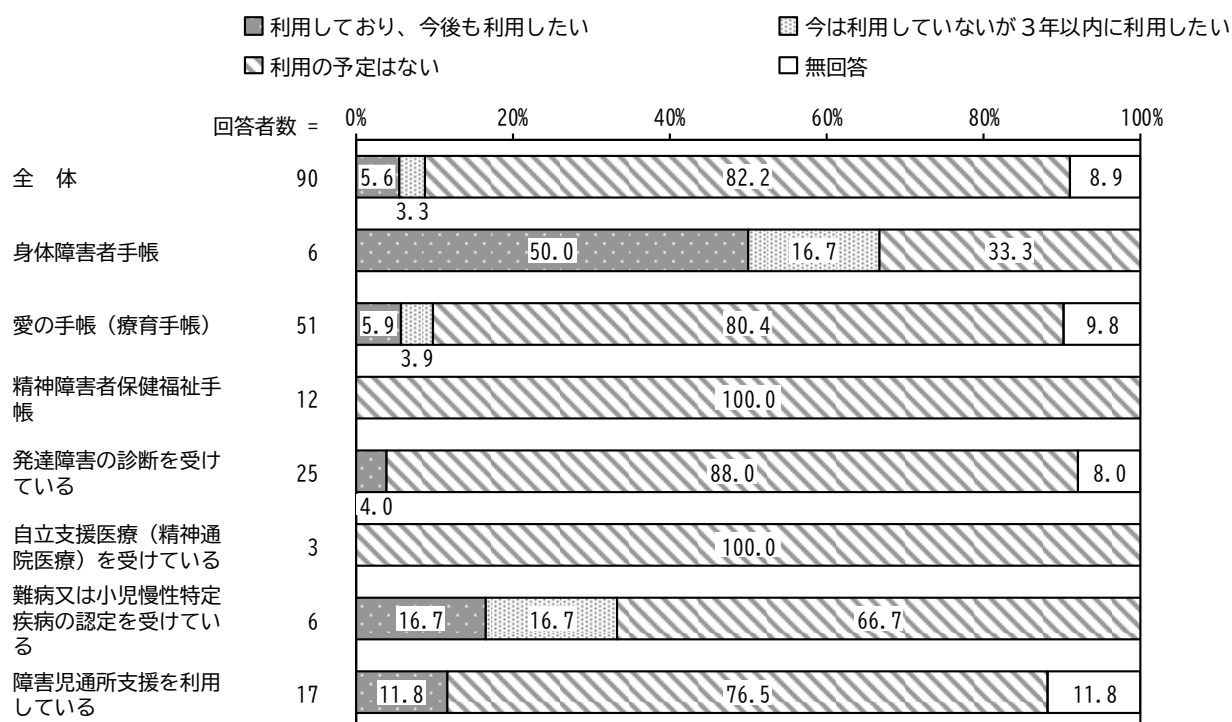
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「利用の予定はない」の割合が高く、「利用しており、今後も利用したい」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「利用しており、今後も利用したい」の割合が高くなっています。



問 31 あなたは、普段の障害福祉サービスの利用に関して困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○印）

「制度がわかりにくい」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「市役所での手続きが大変」の割合が 32.2%、「利用したいサービスを利用できない」の割合が 20.0%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「事業所への移動が大変」「利用できる日数が限られ利用回数が少ない」が、6～15歳で「事業所への移動が大変」の割合が高くなっています。また、年齢が下がるほど「利用したいサービスを利用できない」「市役所での手続きが大変」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	制度がわかりにくい	利用したいサービスを利用できない	利用できる日数が限られ利用回数が少ない	サービスの質について困っている	他の利用者との関係が大変	市役所での手続きが大変	事業所との日時などの調整が大変	事業所への移動が大変	経済的負担が大きい	利用したい内容のサービスがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	90	48.9	20.0	16.7	3.3	4.4	32.2	17.8	11.1	13.3	7.8	14.4	24.4	3.3
0～5歳	13	38.5	23.1	0.0	0.0	7.7	38.5	23.1	23.1	7.7	7.7	15.4	23.1	7.7
6～15歳	62	54.8	22.6	19.4	3.2	3.2	30.6	16.1	9.7	16.1	8.1	17.7	17.7	3.2
16～19歳	12	33.3	8.3	8.3	0.0	8.3	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	58.3	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「制度がわかりにくい」「サービスの質について困っている」「事業所との日時などの調整が大変」、愛の手帳（療育手帳）、発達障害の診断を受けているで「利用したいサービスを利用できない」、愛の手帳（療育手帳）で「利用できる日数が限られ利用回数が少ない」、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けている、障害児通所支援を利用しているで「市役所での手続きが大変」、発達障害の診断を受けているで「事業所への移動が大変」の割合が高くなっています。

単位：％

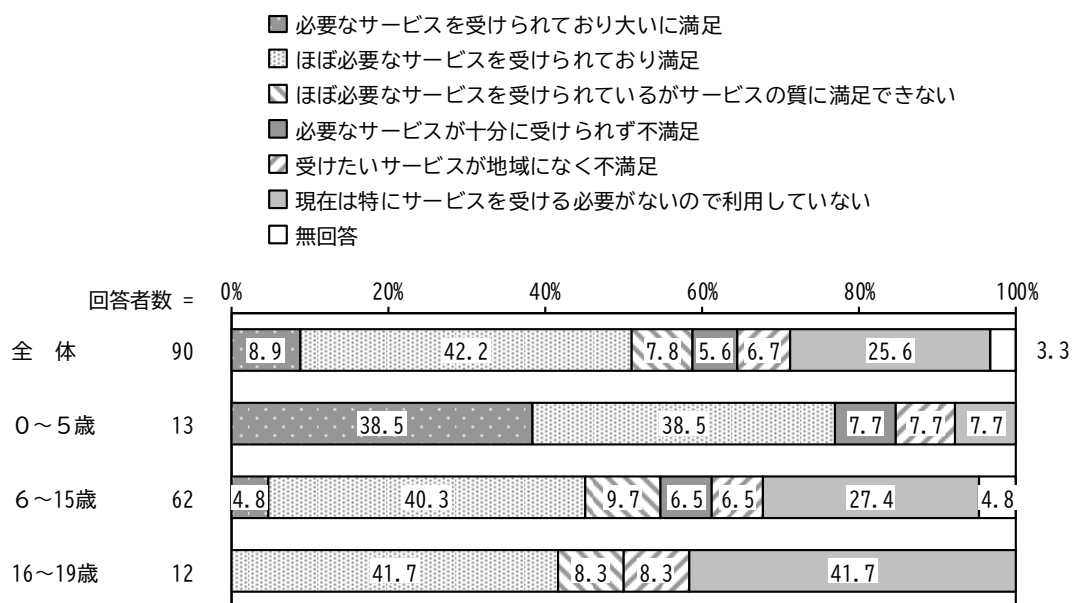
区分	回答者数（件）	制度がわかりにくい	利用したいサービスを利用できない	利用できる日数が限られ利用回数が少ない	困っているサービスの質について	他の利用者との関係が大変	市役所での手続きが大変	事業所との日時などの調整が大変	事業所への移動が大変	経済的負担が大きい	利用したい内容のサービスがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全 体	90	48.9	20.0	16.7	3.3	4.4	32.2	17.8	11.1	13.3	7.8	14.4	24.4	3.3
身体障害者手帳	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	49.0	27.5	23.5	3.9	5.9	29.4	21.6	11.8	15.7	9.8	17.6	17.6	5.9
精神障害者保健福祉手帳	12	75.0	16.7	16.7	8.3	0.0	41.7	25.0	16.7	16.7	8.3	16.7	16.7	0.0
発達障害の診断を受けている	25	44.0	28.0	12.0	4.0	4.0	40.0	16.0	20.0	8.0	8.0	8.0	28.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0
障害児通所支援を利用している	17	52.9	17.6	11.8	0.0	5.9	41.2	11.8	11.8	17.6	0.0	17.6	23.5	5.9

問 32 あなたは、普段受けている障害福祉サービスに、満足していますか。(○印は1つ)

「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「現在は特にサービスを受ける必要がないので利用していない」の割合が 25.6%となっています。

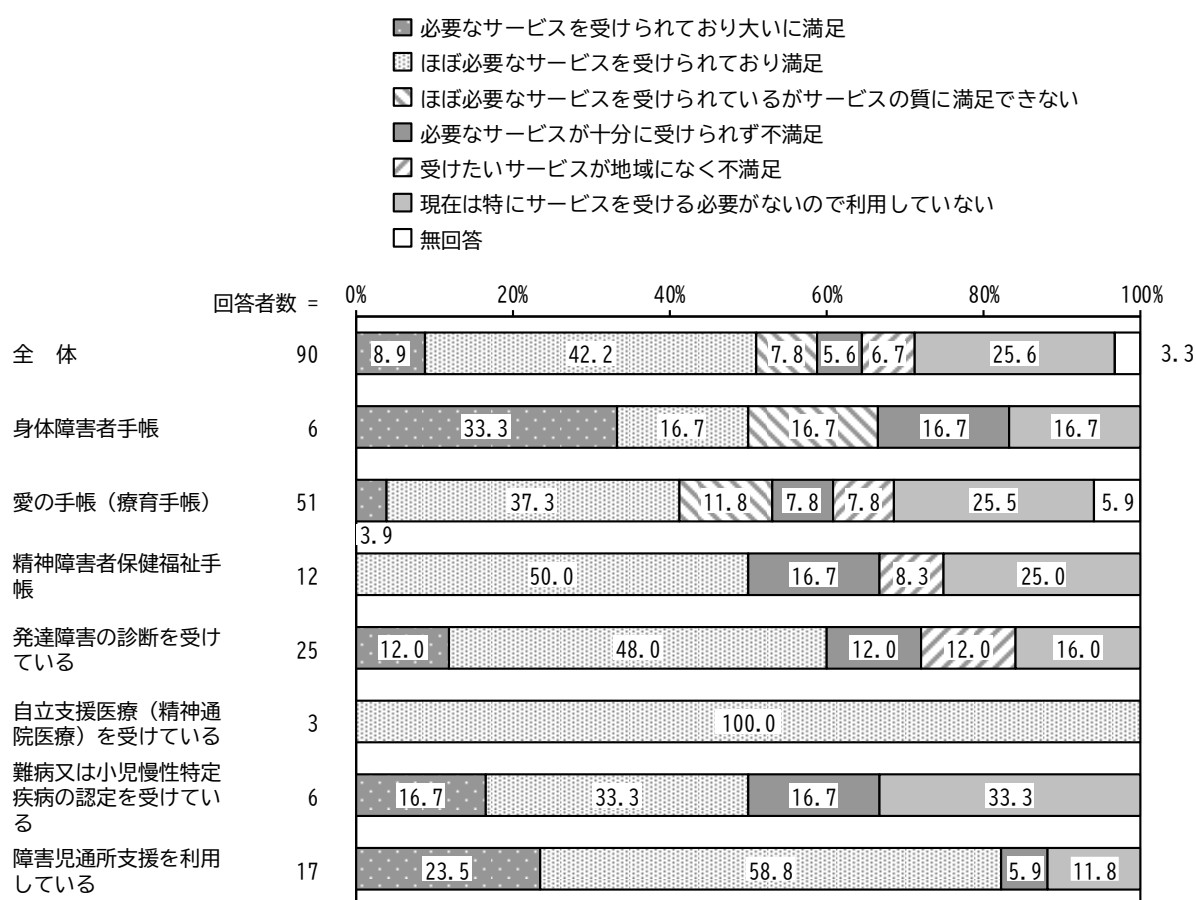
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「必要なサービスを受けられており大いに満足」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「必要なサービスを受けられており大いに満足」「ほぼ必要なサービスを受けられており満足」、精神障害者保健福祉手帳で「必要なサービスが十分に受けられず不満足」の割合が高くなっています。



問 32 で「必要なサービスが十分に受けられず不満足」か「受けたサービスが地域になく不満足」に○をつけた方にお聞きします。

問 32-1 地域の中で、障害者に関するサービスのうち何が不足していると思いますか。

全体で5件の意見がありました。

No	内容	件数
1	こどもの受け入れ体制(放課後デイサービスの利用等)	3件
2	移動支援	1件
3	グループホーム等の施設不足	1件

こどもの受け入れ体制(放課後デイサービスの利用等)

現在受けているサービスに満足しているが、医ケア児でもショートステイしてくれるところがないため休息が取れない
放デイ夏休み期間も保育園のように利用できる時間にしてほしい。10～、13～からなどフルタイムで仕事をしている中利用するのは困難。放デイ1ヶ所で平日5日間利用できたら子供にも負担がないと思うが、2～3ヶ所かけもちしなければならないので子どもにとっても負担が大きい
通級に通えない小学生を受け入れてくれる事業所がない(グレーと言われるような子)

移動支援

移動支援

グループホーム等の施設不足

グループホーム、施設等の不足により入所できずにいます。移動支援を利用希望しているが、そもそもの事業所が1ヶ所の上、電話しても利用不可能である。(人手不足とのこと。需要と供給がバランスとれてない。)体調悪くても親が本人に付添わなければならないのが現状である

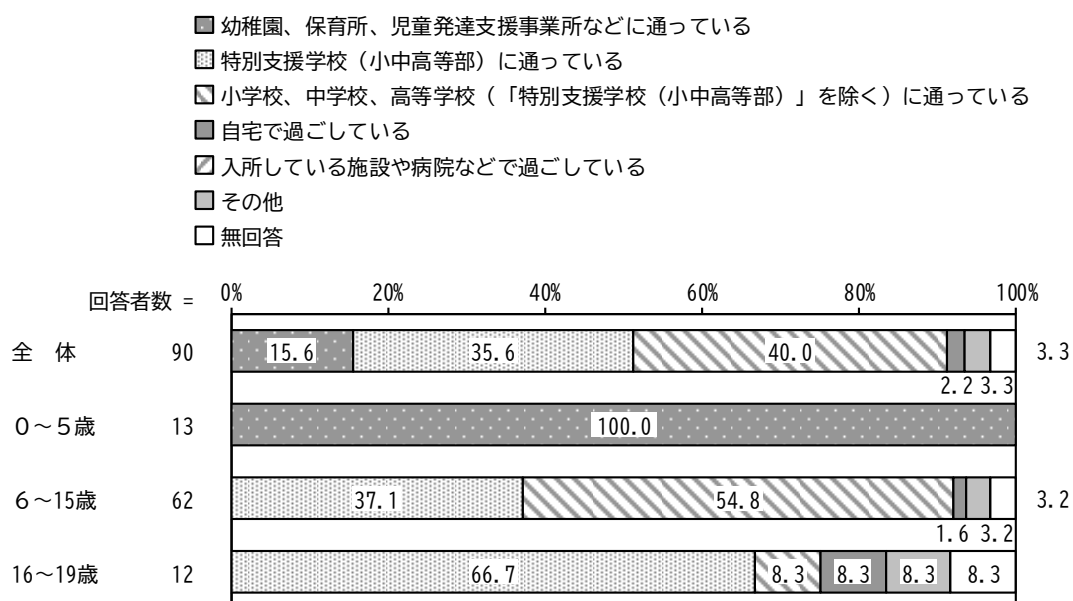
障害児福祉について

問 33 あなたは普段、平日の日中をどのように過ごしていますか。(○印は1つ)

「小学校、中学校、高等学校（「特別支援学校（小中高等部）」を除く）に通っている」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「特別支援学校（小中高等部）に通っている」の割合が 35.6%、「幼稚園、保育所、児童発達支援事業所などに通っている」の割合が 15.6%となっています。

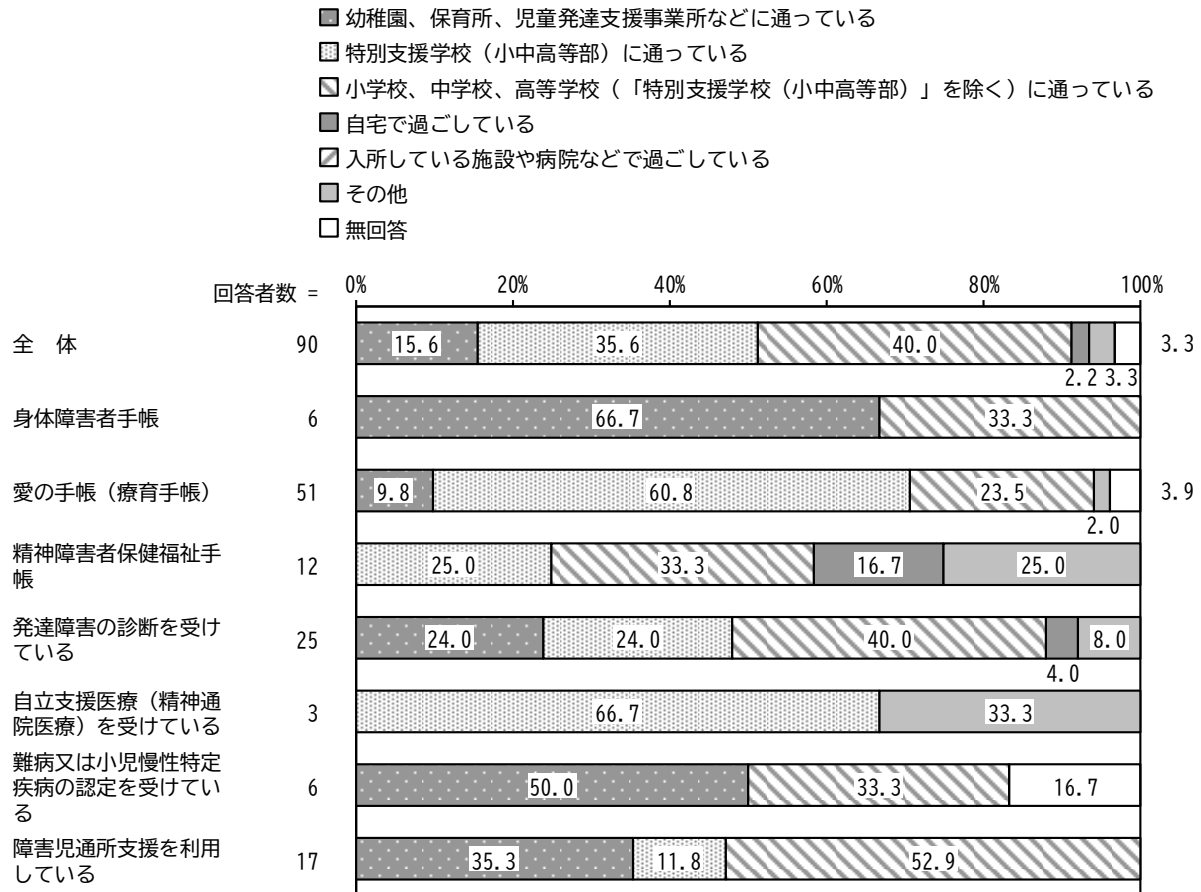
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「特別支援学校（小中高等部）に通っている」の割合が高くなっています。また、6～15歳で「小学校、中学校、高等学校（「特別支援学校（小中高等部）」を除く）に通っている」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

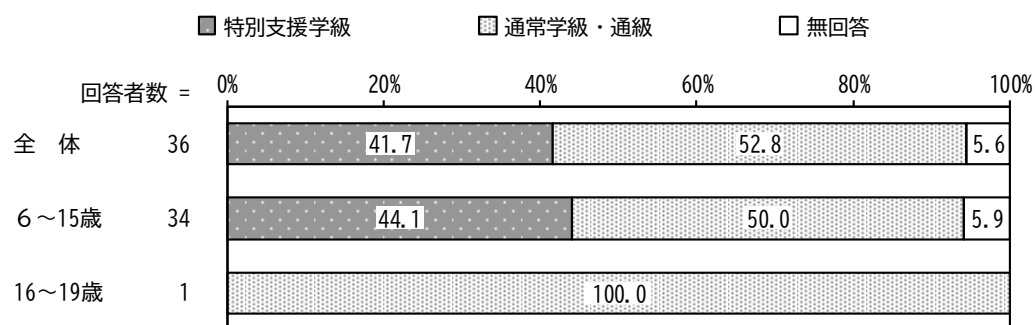
手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「幼稚園、保育所、児童発達支援事業所などに通っている」「小学校、中学校、高等学校（「特別支援学校（小中高等部）」を除く）に通っている」、愛の手帳（療育手帳）で「特別支援学校（小中高等部）に通っている」、精神障害者保健福祉手帳で「自宅で過ごしている」の割合が高くなっています。



通っている小学校、中学校、高等学校

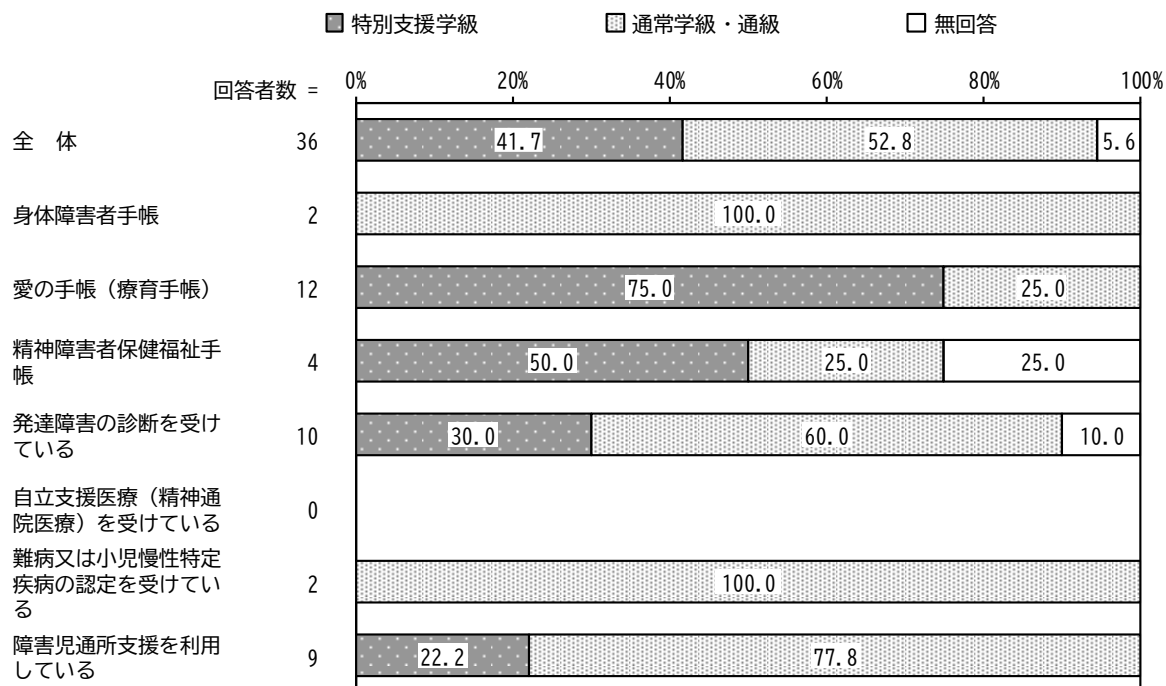
「特別支援学級」の割合が 41.7%、「通常学級・通級」の割合が 52.8%となっています。

【年齢別】



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）で「特別支援学級」の割合が高くなっています。



問 34 あなたの障害に気づいたきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○印)

「家族による気づき」の割合が 45.6%と最も高く、次いで「病院などの医療機関による受診・健診」の割合が 33.3%、「幼稚園、保育所の助言」の割合が 18.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「病院などの医療機関による受診・健診」「小学校で実施する就学時健康診断」の割合が高く、「児童発達支援センターわかさ学園の助言」「幼稚園、保育所の助言」の割合が低くなっています。また、6～15歳で「市が実施する健診」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病院などの医療機関による受診・健診	市が実施する健診	小学校で実施する就学時健康診断	児童発達支援センターわかさ学園の助言	幼稚園、保育所の助言	学校の助言	家族による気づき	その他	無回答
全 体	90	33.3	16.7	4.4	12.2	18.9	4.4	45.6	6.7	4.4
0～5歳	13	23.1	7.7	0.0	23.1	30.8	0.0	38.5	23.1	0.0
6～15歳	62	32.3	22.6	3.2	11.3	17.7	6.5	46.8	3.2	3.2
16～19歳	12	41.7	0.0	16.7	8.3	8.3	0.0	41.7	8.3	16.7

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「小学校で実施する就学時健康診断」、発達障害の診断を受けているで「児童発達支援センターわかさ学園の助言」「幼稚園、保育所の助言」「家族による気づき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病院などの医療機関による受診・健診	市が実施する健診	小学校で実施する就学時健康診断	児童発達支援センターわかさ学園の助言	幼稚園、保育所の助言	学校の助言	家族による気づき	その他	無回答
全 体	90	33.3	16.7	4.4	12.2	18.9	4.4	45.6	6.7	4.4
身体障害者手帳	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	31.4	19.6	3.9	15.7	13.7	2.0	49.0	7.8	5.9
精神障害者保健福祉手帳	12	25.0	16.7	16.7	0.0	25.0	0.0	58.3	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	25	20.0	12.0	0.0	24.0	36.0	0.0	64.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7
障害児通所支援を利用している	17	35.3	5.9	5.9	11.8	23.5	11.8	41.2	5.9	0.0

問 35 あなたは普段、放課後や夏休みなどの長期休暇では、主にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○印）

「自分の家」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「放課後等デイサービス」の割合が 47.8%、「公園等」の割合が 13.3%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「児童館」「公園等」の割合が高く、「学校の部活動」の割合が低くなっています。また、6～15歳で「放課後等デイサービス」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園、 保育所	学童クラブ	児童館	放課後等 デイサー ビス	公園等	学校の部活動	塾・習い事	地域のスポーツ クラブ	自分の家	友達の家	その他	無回答
全 体	90	6.7	8.9	5.6	47.8	13.3	7.8	11.1	2.2	74.4	6.7	8.9	3.3
0～5歳	13	38.5	0.0	23.1	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	69.2	7.7	7.7	0.0
6～15歳	62	0.0	11.3	3.2	61.3	12.9	6.5	16.1	1.6	75.8	4.8	9.7	3.2
16～19歳	12	0.0	0.0	0.0	33.3	8.3	25.0	0.0	0.0	75.0	8.3	8.3	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「児童館」「公園等」「塾・習い事」「友達の家」、愛の手帳（療育手帳）で「放課後等デイサービス」、精神障害者保健福祉手帳で「学校の部活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園、 保育所	学童クラブ	児童館	放課後等 デイサー ビス	公園等	学校の部活動	塾・習い事	地域のスポーツ クラブ	自分の家	友達の家	その他	無回答
全 体	90	6.7	8.9	5.6	47.8	13.3	7.8	11.1	2.2	74.4	6.7	8.9	3.3
身体障害者手帳	6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	33.3	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	2.0	9.8	3.9	58.8	13.7	7.8	7.8	3.9	68.6	5.9	15.7	3.9
精神障害者保健福祉手帳	12	0.0	0.0	0.0	33.3	8.3	16.7	8.3	0.0	100.0	0.0	16.7	0.0
発達障害の診断を受けている	25	8.0	8.0	8.0	48.0	12.0	0.0	4.0	0.0	76.0	4.0	8.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	16.7
障害児通所支援を利用している	17	5.9	11.8	11.8	52.9	23.5	5.9	17.6	0.0	88.2	11.8	5.9	0.0

問 36 幼稚園、保育所、通所施設などに通ううえで重要と思われるものをお答えください。
(○印は3つまで)

「送迎など、通所・通学のサポート」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「学習支援や介助など、園・学校生活のサポート」の割合が 43.3%、「生活訓練や職業訓練など、専門的な指導」の割合が 38.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「就学相談や進路相談を積極的に行う」の割合が高く、「投薬や喀痰吸引など、医療的なケア」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	送迎など、通所・通学のサポート	学習支援や介助など、園・学校生活のサポート	生活訓練や職業訓練など、専門的な指導	投薬や喀痰吸引など、医療的なケア	福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携	子ども同士の理解を深める交流機会を増やす	保育施設や学校施設のバリアフリー化	就学相談や進路相談を積極的に行う	通常の学級への受け入れを進める	放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす	その他	無回答
全 体	90	61.1	43.3	38.9	4.4	8.9	20.0	0.0	16.7	7.8	27.8	3.3	8.9
0～5歳	13	30.8	38.5	38.5	15.4	7.7	23.1	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	15.4
6～15歳	62	69.4	46.8	33.9	3.2	9.7	17.7	0.0	16.1	9.7	29.0	3.2	6.5
16～19歳	12	50.0	25.0	58.3	0.0	8.3	25.0	0.0	25.0	8.3	16.7	0.0	16.7

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「送迎など、通所・通学のサポート」、精神障害者保健福祉手帳で「学習支援や介助など、園・学校生活のサポート」「通常の学級への受け入れを進める」、発達障害の診断を受けているで「就学相談や進路相談を積極的に行う」、愛の手帳（療育手帳）で「放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす」の割合が高くなっています。

単位：％

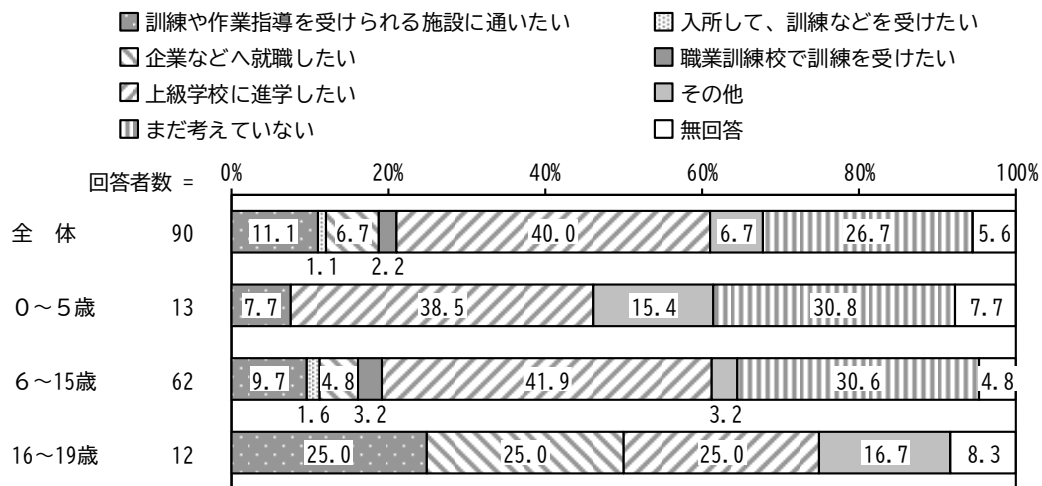
区分	回答者数（件）	送迎など、通所・通学のサポート	学習支援や介助など、園・学校生活のサポート	生活訓練や職業訓練など、専門的な指導	投薬や喀痰吸引など、医療的なケア	福祉サービス事業所など、外部の支援機関との連携	子ども同士の理解を深める交流機会を増やす	保育施設や学校施設のバリアフリー化	就学相談や進路相談を積極的に行う	通常の学級への受け入れを進める	放課後や夏休み等の一時預かりができる場所を増やす	その他	無回答
全 体	90	61.1	43.3	38.9	4.4	8.9	20.0	0.0	16.7	7.8	27.8	3.3	8.9
身体障害者手帳	6	50.0	50.0	33.3	50.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	68.6	27.5	41.2	2.0	11.8	19.6	0.0	13.7	5.9	33.3	3.9	9.8
精神障害者保健福祉手帳	12	66.7	66.7	41.7	0.0	8.3	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3
発達障害の診断を受けている	25	52.0	48.0	36.0	0.0	8.0	24.0	0.0	28.0	8.0	24.0	4.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	33.3	66.7	33.3	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	47.1	47.1	29.4	5.9	5.9	17.6	0.0	23.5	11.8	29.4	5.9	11.8

問 37 今の学校の卒業後について、希望する進路はどれですか。(○印は1つ)

「上級学校に進学したい」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「訓練や作業指導を受けられる施設に通いたい」の割合が 11.1%となっています。

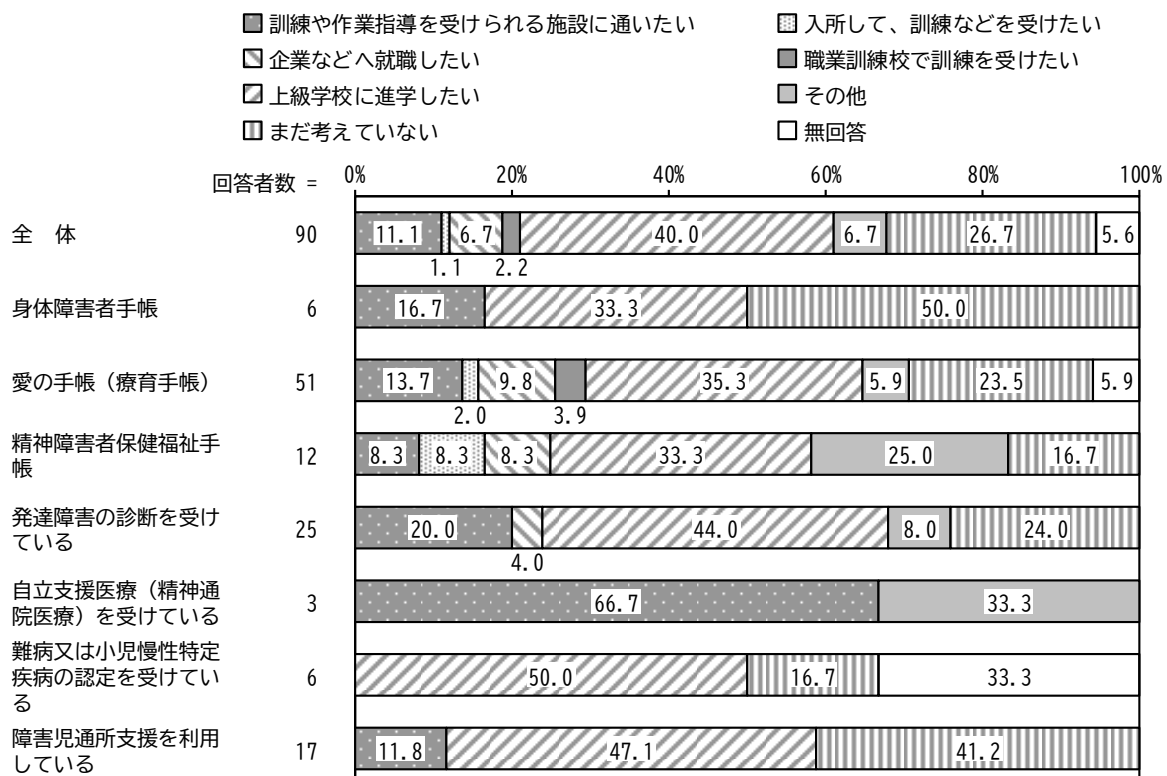
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳、6～15歳では「上級学校に進学したい」「まだ考えていない」の割合が、16～19歳では「訓練や作業指導を受けられる施設に通いたい」「企業などへ就職したい」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「訓練や作業指導を受けられる施設に通いたい」、精神障害者保健福祉手帳で「入所して、訓練などを受けたい」、障害児通所支援を利用しているで「上級学校に進学したい」の割合が高くなっています。



保護者の方にお聞きします。

問 38 保護者の方は、あて名のご本人の現在または将来について、どのような不安や悩みがありますか。(○印は3つまで)

「学校での集団生活や人間関係」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「本人の習熟度にあった学習指導」の割合が 31.1%、「適性に合った進路の相談支援」の割合が 26.7%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「適性に合った就職先の紹介」「就職に必要な技術等の訓練の機会」「就職に関する総合的な相談支援」「成人後の日中の通所先」「成人後の日中活動終了後の過ごし方」の割合が高く、「学校での集団生活や人間関係」「長期休暇時の子どもの過ごし方」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	本人の習熟度にあつた学習指導	学校での集団生活や人間関係	学校生活に関する相談	適性に合った進路の相談支援	進学等の環境変化に伴う本人の適応性	進学時における教員間での引継ぎ	教職員の障害に対する理解	教育・保育施設での医療的ケアの対応	長期休暇時の子どもの過ごし方
全 体	90	31.1	35.6	6.7	26.7	16.7	10.0	5.6	1.1	18.9
0～5歳	13	23.1	46.2	7.7	7.7	15.4	0.0	7.7	7.7	23.1
6～15歳	62	35.5	40.3	8.1	30.6	21.0	12.9	6.5	0.0	19.4
16～19歳	12	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

区分	通学時の送迎	適性に合った就職先の紹介	就職に必要な技術等の訓練の機会	就職に関する総合的な相談支援	成人後の日中の通所先	成人後の日中活動終了後の過ごし方	その他	特にない	無回答
全 体	11.1	17.8	7.8	11.1	17.8	17.8	7.8	3.3	7.8
0～5歳	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	23.1
6～15歳	12.9	17.7	6.5	9.7	19.4	19.4	6.5	1.6	4.8
16～19歳	0.0	41.7	25.0	25.0	25.0	25.0	8.3	16.7	8.3

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、障害児通所支援を利用しているで「本人の習熟度にあった学習指導」「学校生活に関する相談」「長期休暇時の子どもの過ごし方」、発達障害の診断を受けているで「学校での集団生活や人間関係」、精神障害者保健福祉手帳で「教職員の障害に対する理解」「適性に合った就職先の紹介」「就職に必要な技術等の訓練の機会」「就職に関する総合的な相談支援」、愛の手帳（療育手帳）で「成人後の日中の通所先」「成人後の日中活動終了後の過ごし方」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	本人の習熟度にあつた学習指導	学校での集団生活や人間関係	学校生活に関する相談	適性に合った進路の相談支援	進学等の環境変化に伴う本人の適応性	進学時における教員間での引継ぎ	教職員の障害に対する理解	医療的ケアの対応	教育・保育施設での療育的ケアの対応	長期休暇時の子どもの過ごし方
全 体	90	31.1	35.6	6.7	26.7	16.7	10.0	5.6	1.1	18.9	
身体障害者手帳	6	33.3	50.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	
愛の手帳（療育手帳）	51	19.6	21.6	2.0	21.6	13.7	7.8	0.0	0.0	27.5	
精神障害者保健福祉手帳	12	16.7	25.0	8.3	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	
発達障害の診断を受けている	25	44.0	64.0	8.0	36.0	12.0	4.0	4.0	0.0	28.0	
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	
障害児通所支援を利用している	17	47.1	52.9	17.6	29.4	17.6	17.6	11.8	5.9	29.4	

区分	通学時の送迎	適性に合った就職先の紹介	就職に必要な技術等の訓練の機会	就職に関する総合的な相談支援	成人後の日中の通所先	成人後の日中活動終了後の過ごし方	その他	特にない	無回答
全 体	11.1	17.8	7.8	11.1	17.8	17.8	7.8	3.3	7.8
身体障害者手帳	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	11.8	23.5	9.8	13.7	31.4	31.4	11.8	0.0	9.8
精神障害者保健福祉手帳	8.3	33.3	25.0	25.0	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0
発達障害の診断を受けている	8.0	12.0	4.0	12.0	8.0	4.0	4.0	0.0	8.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
障害児通所支援を利用している	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9

保護者の方にお聞きします。

問 39 保護者の方が、不安や悩みを相談する場として希望するものはどれですか。(○印は3つまで)

「児童発達支援センターわかさ学園」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「ペアレントトレーニングやペアレントプログラム」「障害児通所支援事業所」の割合が 17.8%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「障害児通所支援事業所」「児童発達支援センターわかさ学園」、16～19歳で「相談支援事業所」「さいわい福祉センター」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ペアレントトレーニングやペアレントプログラム	ピアサポート活動	家族会への参加	こども家庭センター	障害児通所支援事業所	相談支援事業所	児童発達支援センターわかさ学園
全 体	90	17.8	5.6	11.1	8.9	17.8	13.3	50.0
0～5歳	13	15.4	0.0	7.7	7.7	30.8	7.7	69.2
6～15歳	62	21.0	6.5	11.3	9.7	14.5	9.7	51.6
16～19歳	12	8.3	8.3	8.3	0.0	16.7	33.3	25.0

区分	さいわい福祉センター	スクールソーシャルワーカー	教育相談室	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	7.8	12.2	7.8	7.8	4.4	15.6	4.4
0～5歳	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	15.4
6～15歳	8.1	14.5	9.7	6.5	4.8	16.1	3.2
16～19歳	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	8.3	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「ペアレントトレーニングやペアレントプログラム」「ピアサポート活動」、障害児通所支援を利用しているで「障害児通所支援事業所」「児童発達支援センターわかくさ学園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ペアレント トレーニング プログラム	ピアサ ポート活動	家族会への 参加	こども家庭 センタ	障害児通 所支援事 業所	相談支援 事業所	児童発達 支援セン ターわか くさ学 園
全 体	90	17.8	5.6	11.1	8.9	17.8	13.3	50.0
身体障害者手帳	6	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0
愛の手帳（療育手帳）	51	15.7	5.9	13.7	11.8	17.6	15.7	54.9
精神障害者保健福祉手帳	12	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3
発達障害の診断を受けている	25	32.0	12.0	12.0	4.0	12.0	8.0	44.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3
障害児通所支援を利用している	17	23.5	5.9	0.0	11.8	35.3	5.9	58.8

区分	さいわい 福祉セン ター	スクール ソーシャル ワーカー	教育相談 室	その他	特にな い	わから ない	無回 答
全 体	7.8	12.2	7.8	7.8	4.4	15.6	4.4
身体障害者手帳	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
愛の手帳（療育手帳）	11.8	7.8	7.8	3.9	7.8	13.7	5.9
精神障害者保健福祉手帳	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	25.0	0.0
発達障害の診断を受けている	0.0	8.0	8.0	16.0	8.0	12.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7
障害児通所支援を利用している	0.0	0.0	11.8	5.9	0.0	17.6	5.9

東久留米市の障害福祉施策について

問 40 福祉に関する情報は、主にどこから得ていますか。(○印は3つまで)

「インターネット」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「市や社会福祉協議会等の広報紙」の割合が 30.0%、「友人・知人」の割合が 28.9%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「市や社会福祉協議会等の広報紙」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市や社会福祉協議 会等の広報紙	声の広報	テレビやラジオ	新聞・雑誌	インターネット	障害者団体	民生委員・児童委 員、身体・知的障害 者相談員	ホームヘルパー
全 体	90	30.0	0.0	7.8	2.2	33.3	6.7	2.2	0.0
0～5歳	13	15.4	0.0	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0
6～15歳	62	29.0	0.0	9.7	3.2	35.5	6.5	1.6	0.0
16～19歳	12	41.7	0.0	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0	0.0

区分	家族・親戚	友人・知人	医療機関	市や都の窓口	障害者の福祉施設	情報は得られてい ない	その他	無回答
全 体	6.7	28.9	25.6	7.8	14.4	13.3	8.9	3.3
0～5歳	7.7	15.4	38.5	0.0	23.1	15.4	30.8	7.7
6～15歳	4.8	33.9	19.4	11.3	14.5	11.3	6.5	3.2
16～19歳	8.3	16.7	41.7	0.0	8.3	25.0	0.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「市や社会福祉協議会等の広報紙」「医療機関」「情報は得られていない」、愛の手帳（療育手帳）で「友人・知人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	市や社会福祉協議会等の 広報紙	声の 広報	テレビやラジオ	新聞・雑誌	インターネット	障害者団体	民生委員・児童委員、身 体・知的障害者相談員	ホームヘルパー
全 体	90	30.0	0.0	7.8	2.2	33.3	6.7	2.2	0.0
身体障害者手帳	6	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	25.5	0.0	11.8	3.9	31.4	11.8	3.9	0.0
精神障害者保健福祉手帳	12	41.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
発達障害の診断を受けている	25	20.0	0.0	8.0	0.0	32.0	4.0	0.0	0.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	17.6	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0	0.0

区分	家族・親戚	友人・知人	医療機関	市や都の窓口	障害者の福祉施設	情報は得られていない	その他	無回答
全 体	6.7	28.9	25.6	7.8	14.4	13.3	8.9	3.3
身体障害者手帳	0.0	16.7	66.7	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
愛の手帳（療育手帳）	9.8	41.2	17.6	9.8	11.8	9.8	5.9	5.9
精神障害者保健福祉手帳	8.3	25.0	41.7	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0
発達障害の診断を受けている	4.0	12.0	28.0	8.0	20.0	20.0	8.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
障害児通所支援を利用している	11.8	23.5	29.4	5.9	23.5	11.8	17.6	5.9

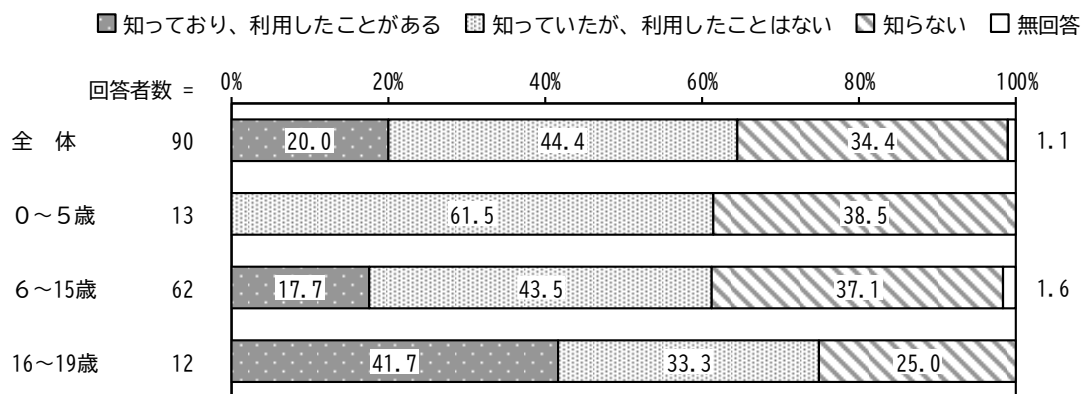
問 41 次の障害者（児）に関する市の相談窓口を知っていますか。また、それらを利用したことはありますか。（①～⑩までそれぞれに○印は1つ）

『⑦児童発達支援センターわかさ学園』で「知っており、利用したことがある」が、『①さいわい福祉センター』で「知っていたが、利用したことはない」が、『⑩当事者団体等によるピアカウンセリング等』で「知らない」が高くなっています。

①さいわい福祉センター

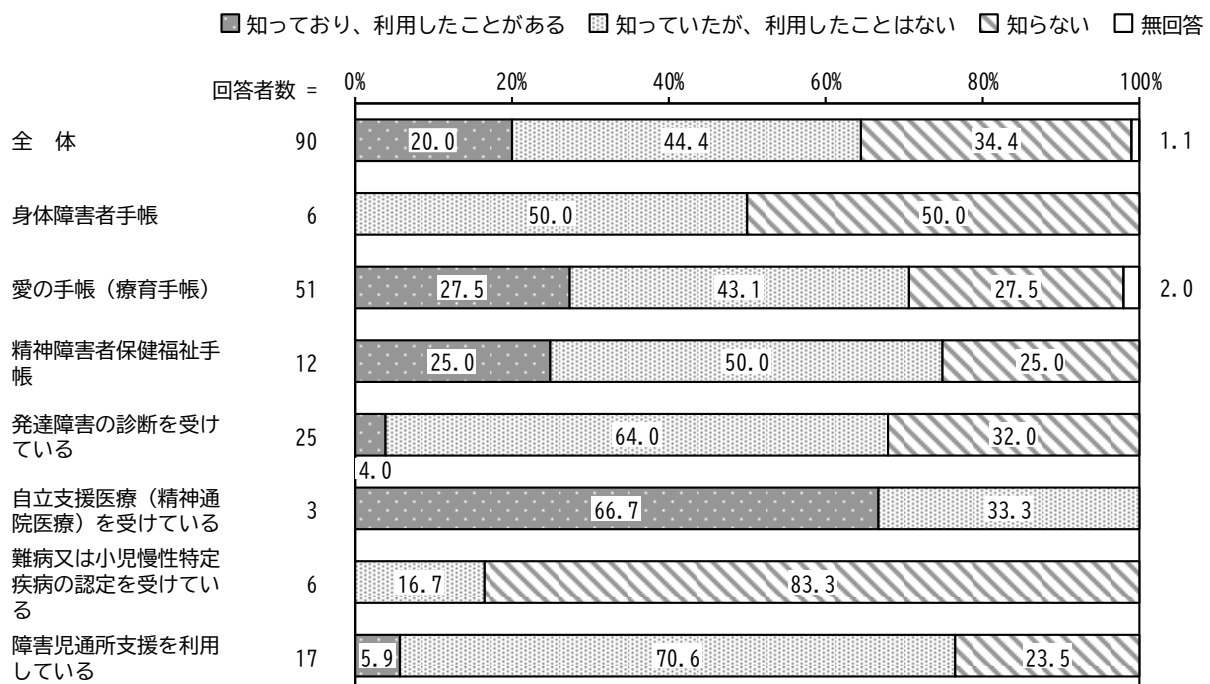
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っており、利用したことがある」の割合が、年齢が下がるほど「知っていたが、利用したことはない」「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

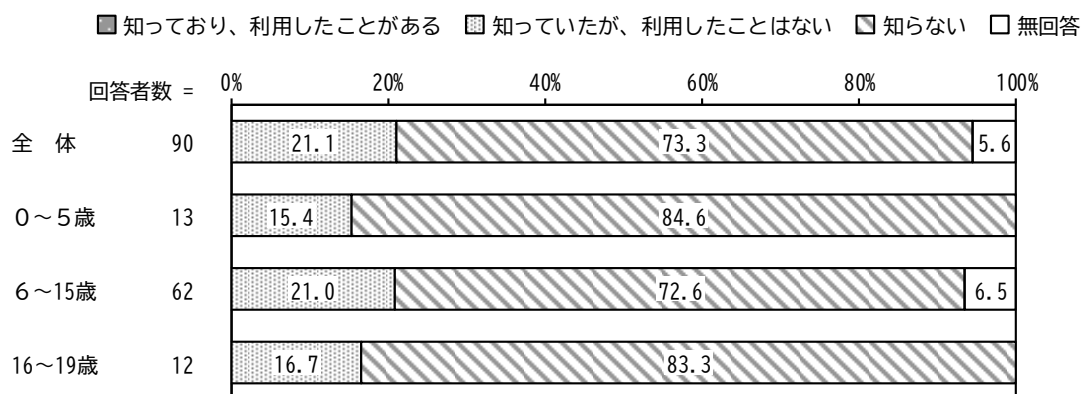
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳で「知っており、利用したことがある」の割合が、障害児通所支援を利用しているで「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



②地域生活支援センターめるくまーる

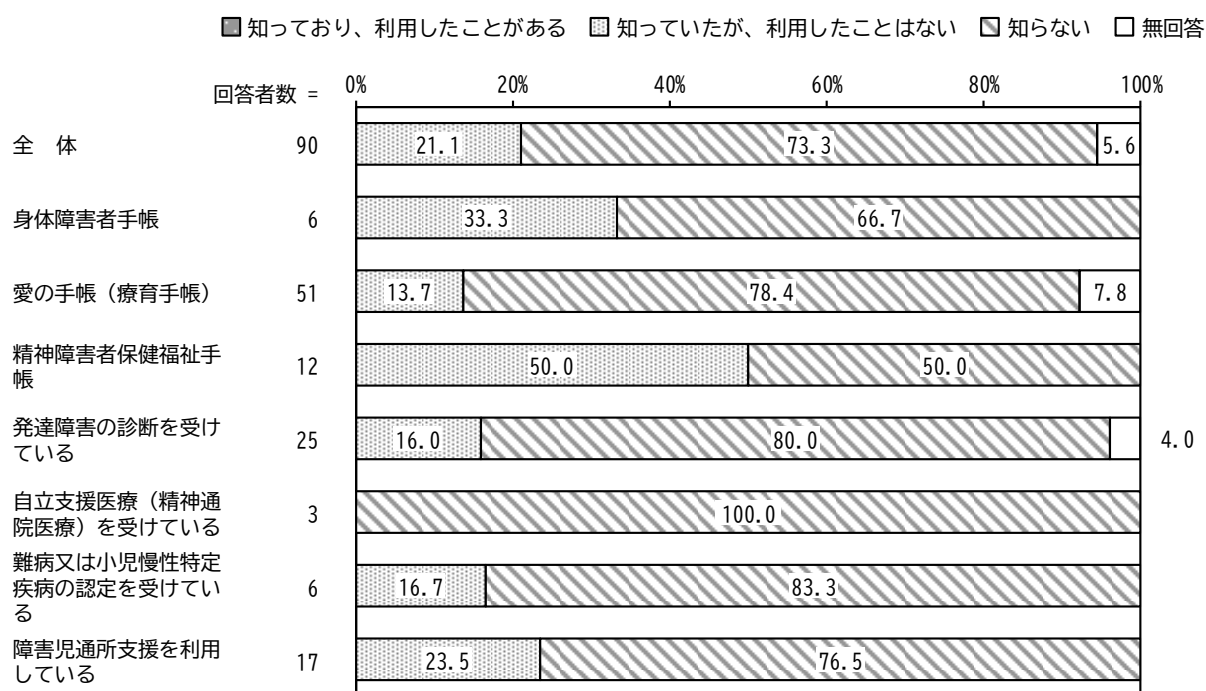
【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳、16～19歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

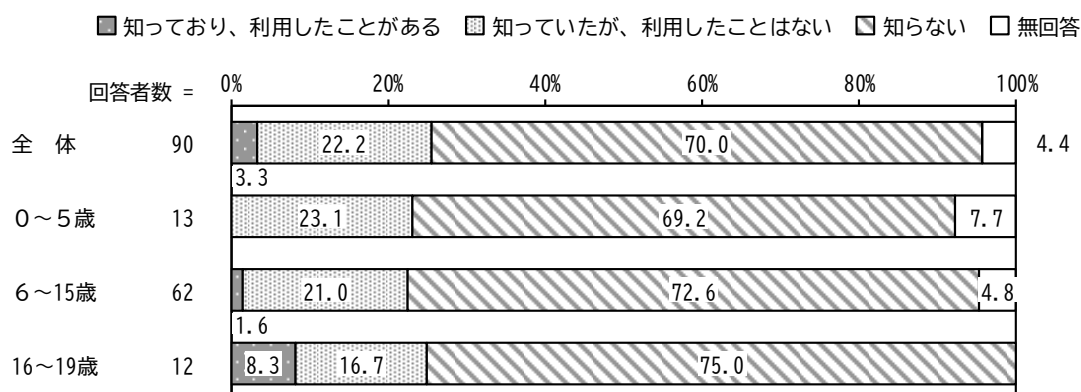
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



③障害者就労支援室「さいわい」「あおぞら」

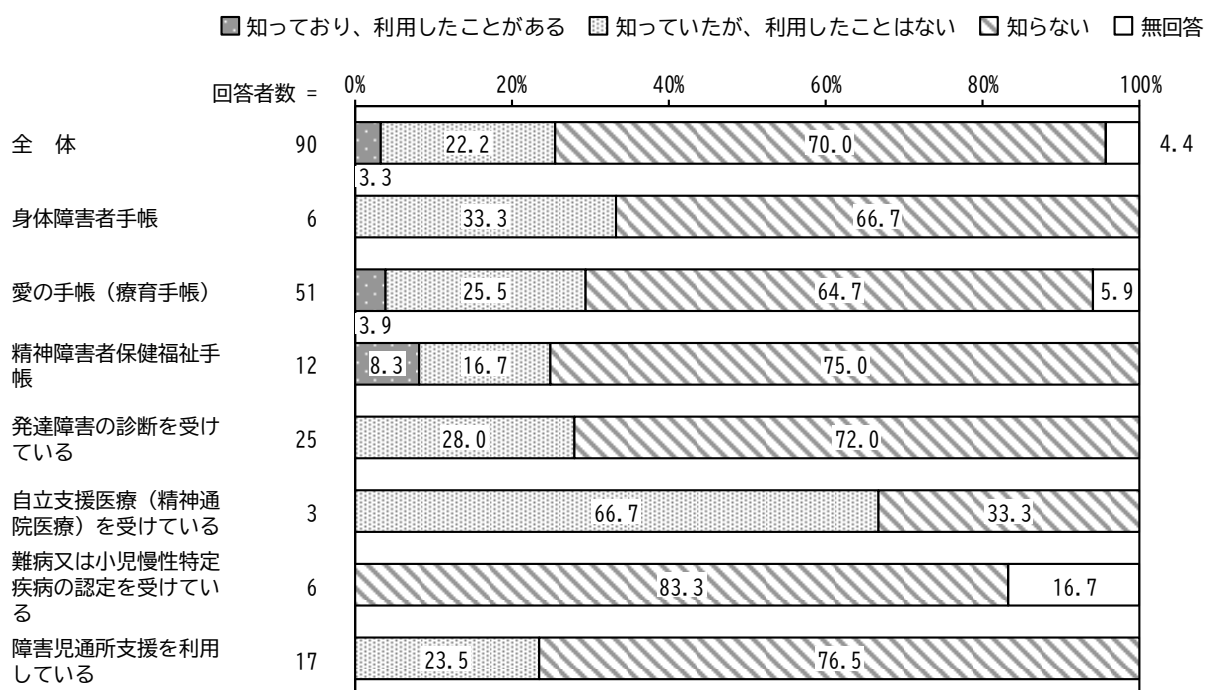
【年齢別】

年齢別にみると、16～19歳で「知っており、利用したことがある」「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

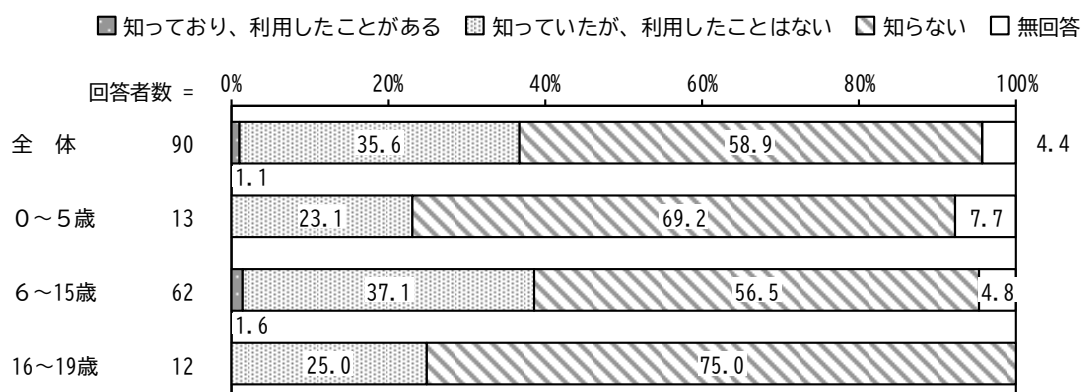
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っており、利用したことがある」、発達障害の診断を受けているで「知っていたが、利用したことはない」、精神障害者保健福祉手帳、障害児通所支援を利用しているで「知らない」の割合が高くなっています。



④市役所内ワークコーナー（ハローワーク窓口）

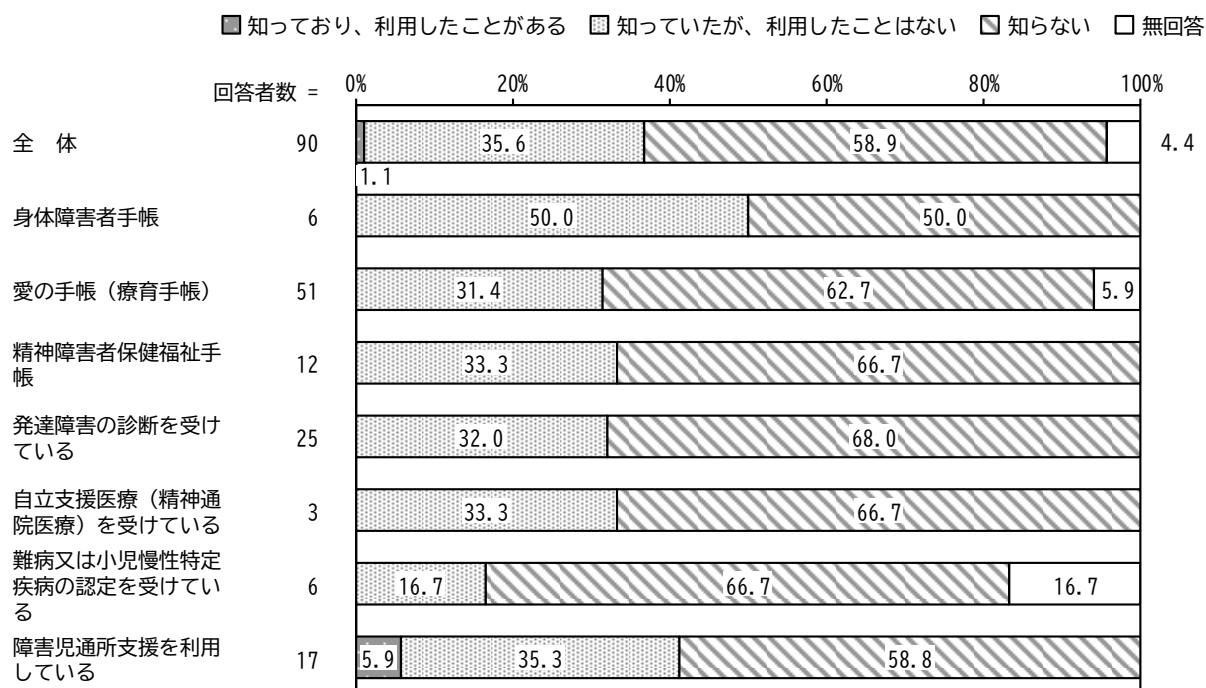
【年齢別】

年齢別にみると、6～15歳で「知っていたが、利用したことはない」の割合が、16～19歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

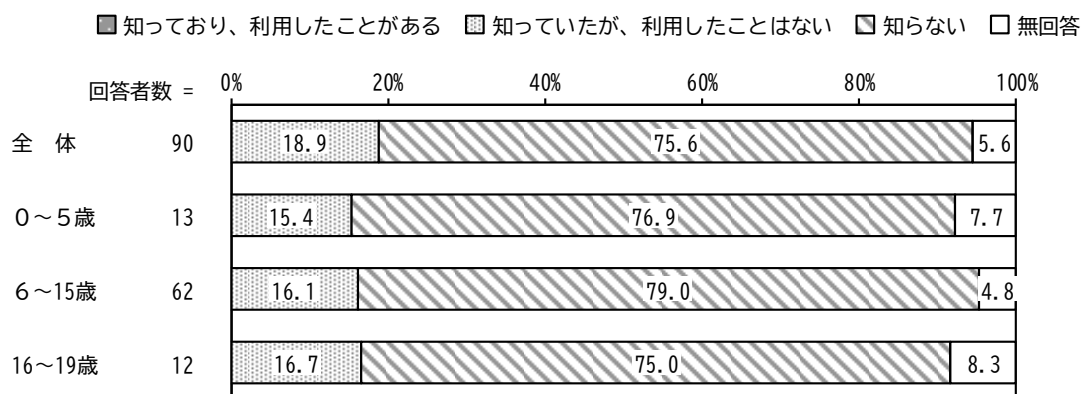
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、発達障害の診断を受けているで「知らない」の割合が高くなっています。



⑤障害者虐待防止センター（市障害福祉課）

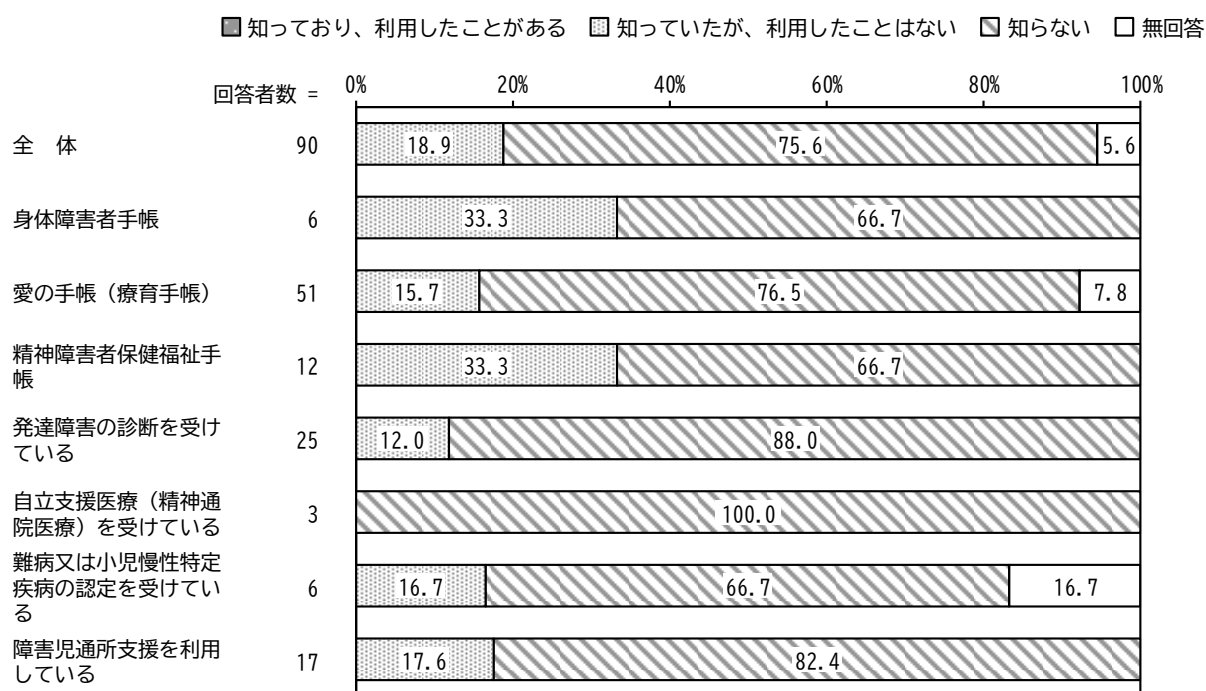
【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【手帳の種類・診断別】

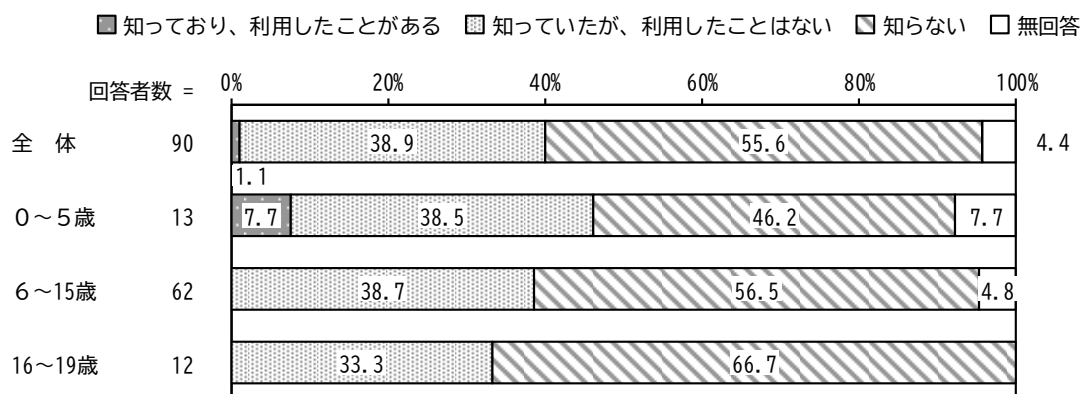
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っていたが、利用したことはない」、発達障害の診断を受けているで「知らない」の割合が高くなっています。



⑥社会福祉協議会

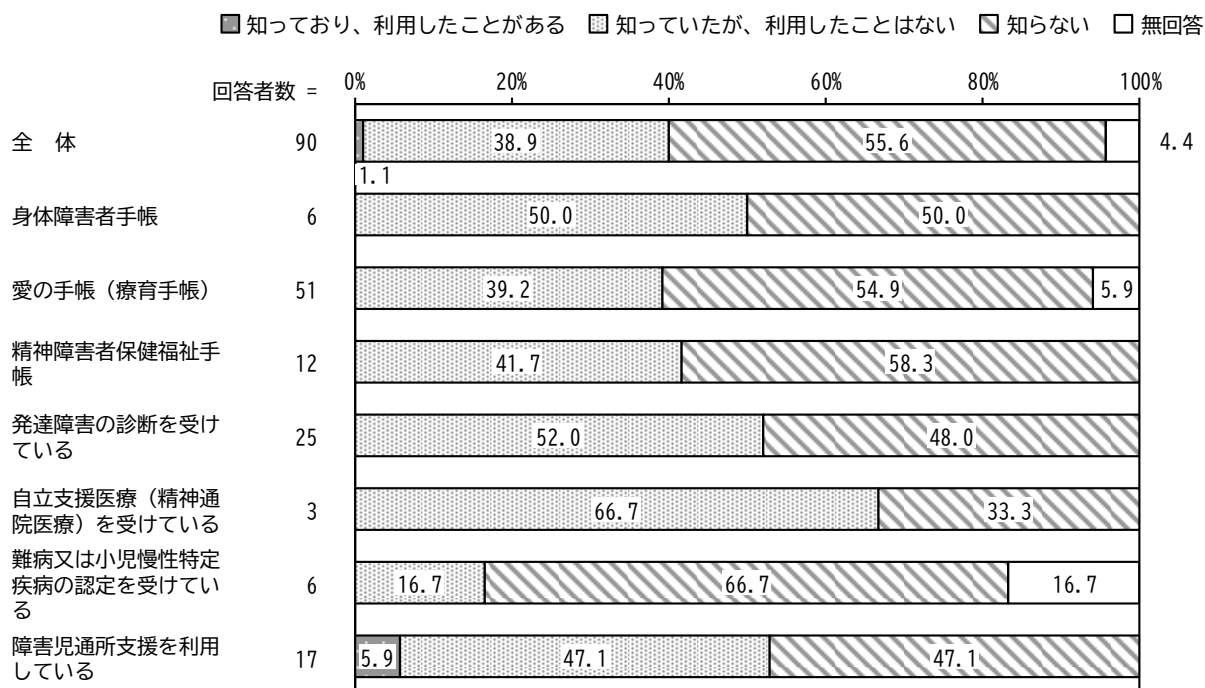
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

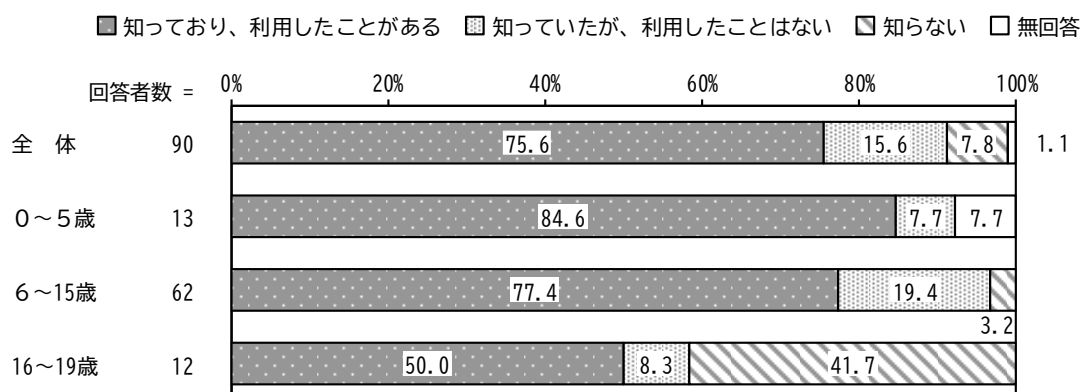
手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



⑦児童発達支援センターわかくさ学園

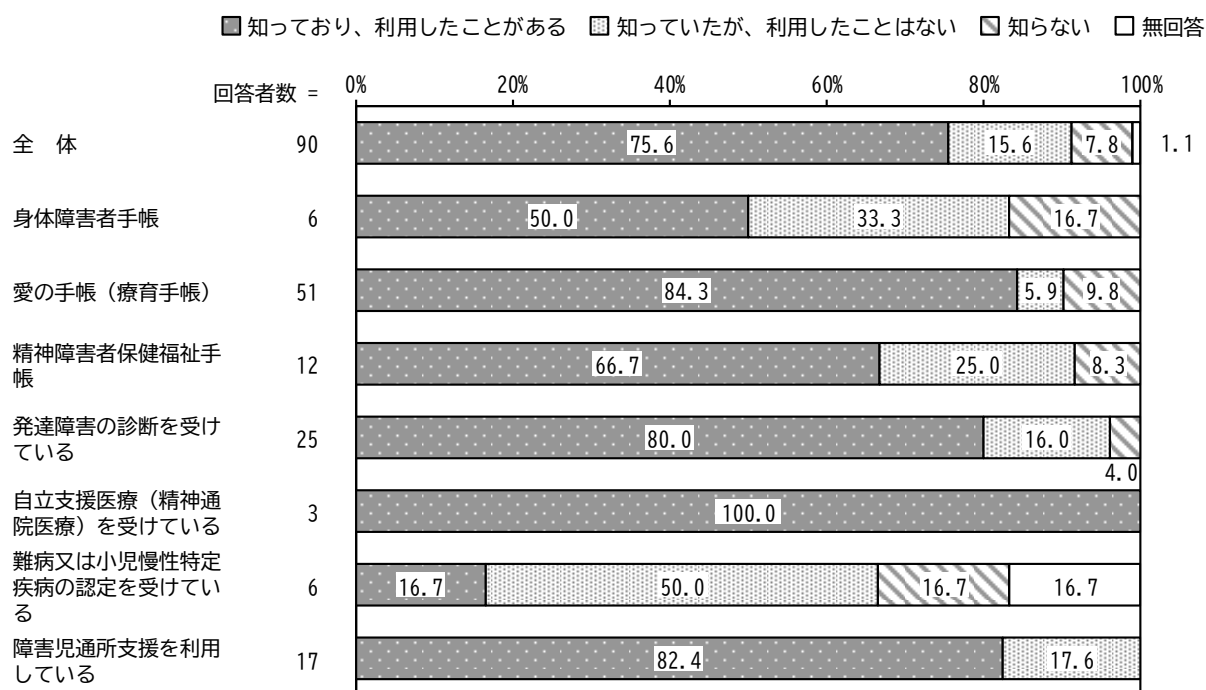
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知らない」の割合が高く、「知っており、利用したことがある」の割合が低くなっています。



【手帳の種類・診断別】

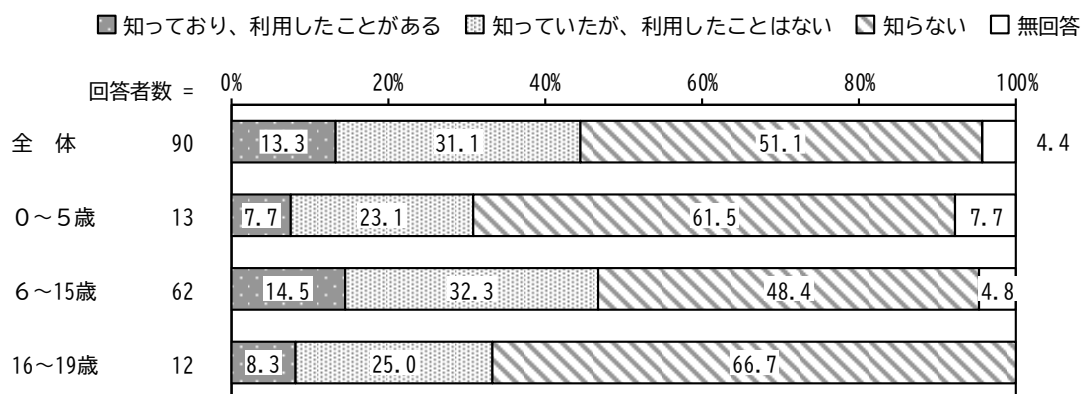
手帳の種類・診断別にみると、愛の手帳（療育手帳）、障害児通所支援を利用しているで「知っており、利用したことがある」、精神障害者保健福祉手帳で「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



⑧教育センター中央相談室（児童）

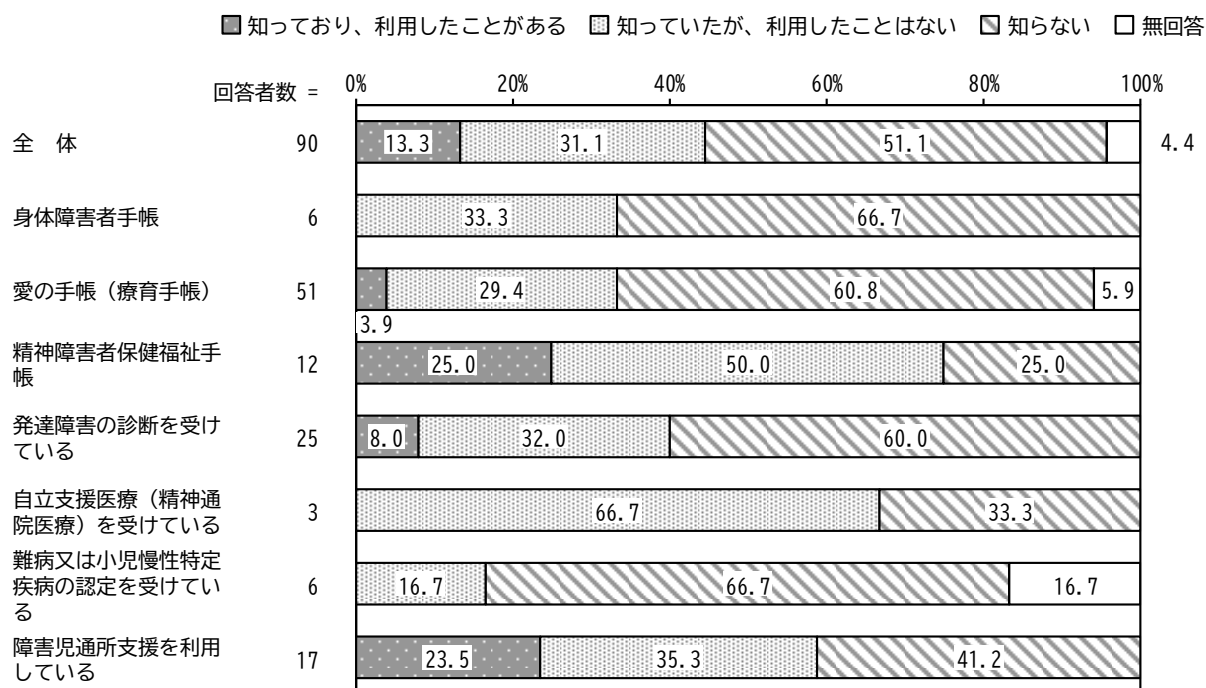
【年齢別】

年齢別にみると、16～19歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

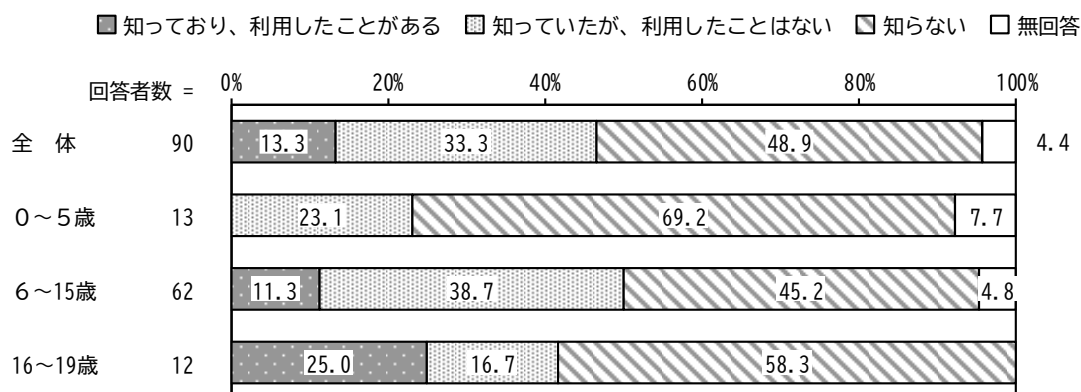
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳、障害児通所支援を利用しているで「知っており、利用したことがある」、精神障害者保健福祉手帳で「知っていたが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



⑨教育センター滝山相談室（児童）

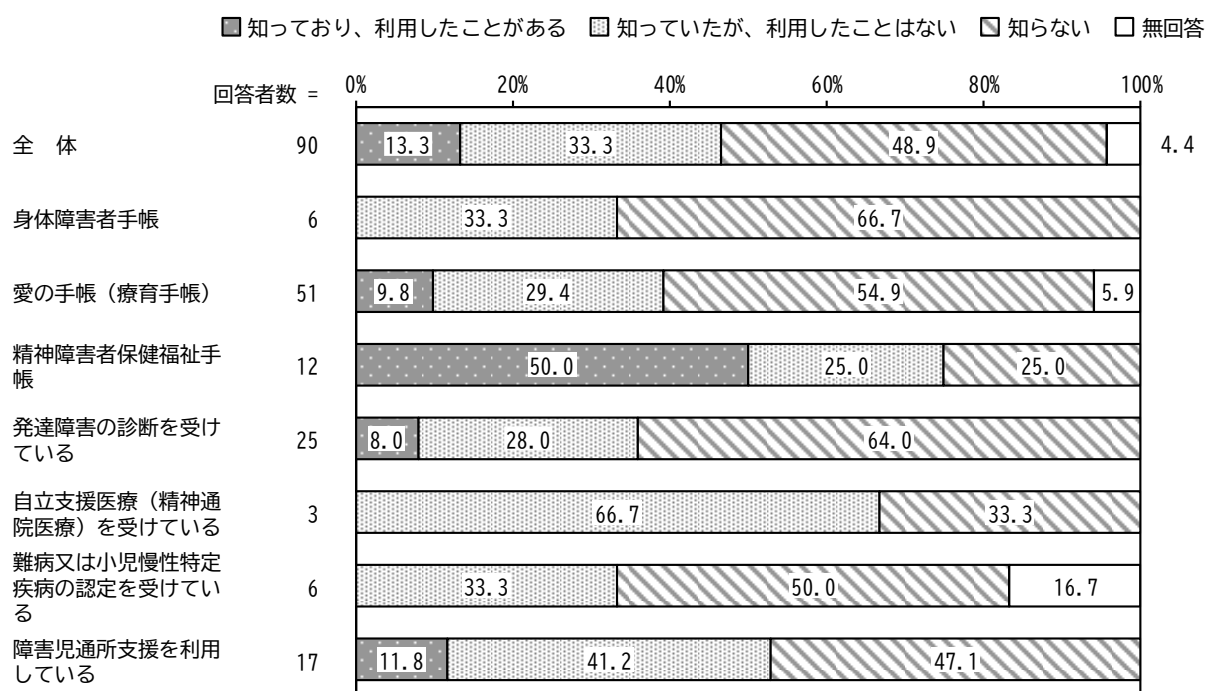
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知っており、利用したことがある」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

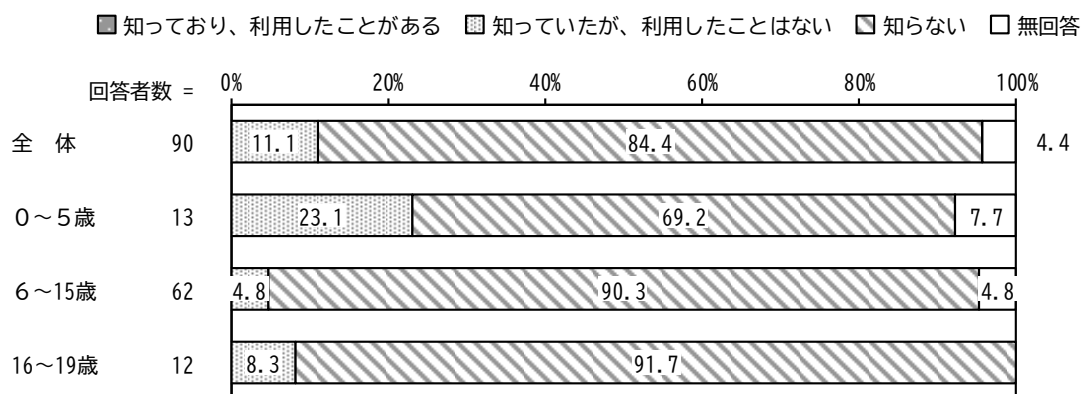
手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「知っており、利用したことがある」、発達障害の診断を受けているで「知らない」の割合が高くなっています。



⑩当事者団体等によるピアカウンセリング等

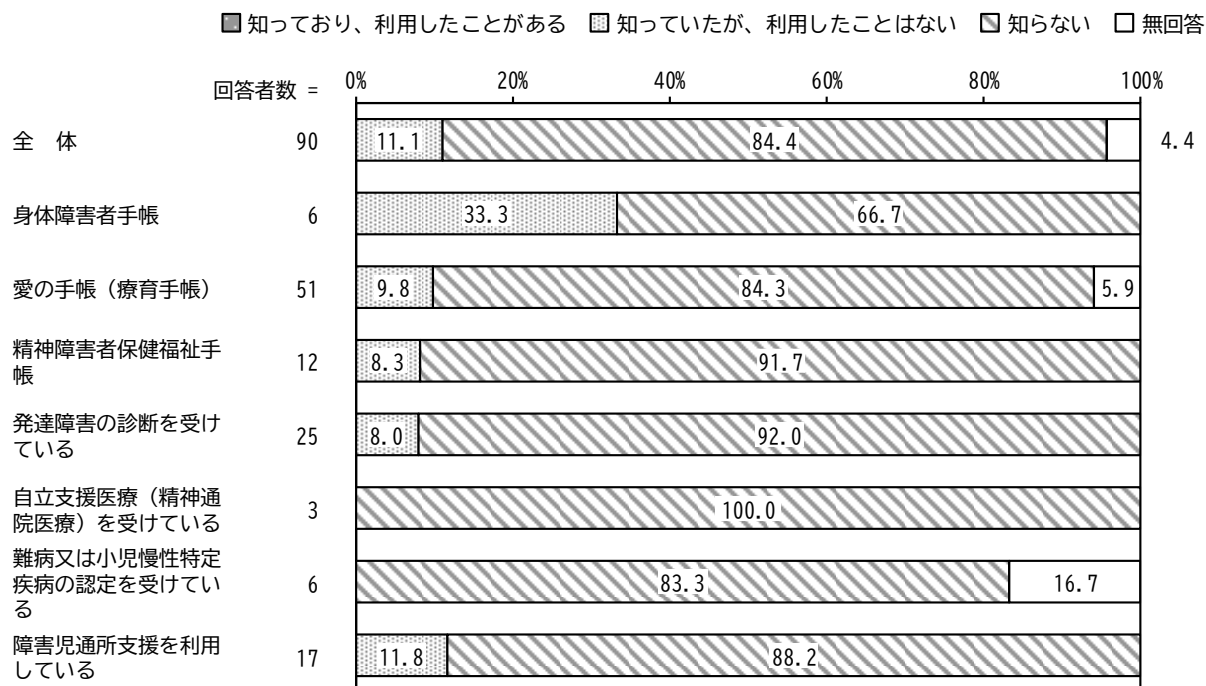
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別では、大きな差は見られません。



問 42 あなたは、悩み事などを相談するときに、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「どこに問い合わせたらよいかわからない」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「身近な場に相談するところがない」の割合が 16.7%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、16～19 歳で「相談先で、周りの方に相談内容が聞こえてしまう」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	どこに問い合わせたら よいかわからない	身近な場に相談する ところがない	電話やFAXを使っ て情報収集や相談を することができない	インターネットを使 って情報収集や相談 をすることができない	録音テープなどによ る情報提供が少ない	相談先で、周りの方 に相談内容が聞こえ てしまう	その他	家族や知人に相談 したり、情報を得ら れるので特に困って いない	無回答
全 体	90	53.3	16.7	5.6	4.4	1.1	2.2	4.4	33.3	4.4
0～5歳	13	53.8	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	38.5	7.7
6～15歳	62	54.8	19.4	4.8	4.8	1.6	1.6	6.5	29.0	4.8
16～19歳	12	50.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	41.7	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、発達障害の診断を受けているで「どこに問い合わせたらよいかわからない」「身近な場に相談するところがない」、精神障害者保健福祉手帳で「相談先で、周りの方に相談内容が聞こえてしまう」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	どこに問い合わせたら よいかわからない	身近な場に相談する ところがない	電話やFAXを使っ て情報収集や相談を することができない	インターネットを使 って情報収集や相談 をすることができない	録音テープなどによ る情報提供が少ない	点字版や音声コード 、録音テープなどによ る情報提供が少ない	相談先で、周りの方 に相談内容が聞こえ てしまう	その他	家族や知人に相談 したり、情報を得ら れるので特に困って いない	無回答
全 体	90	53.3	16.7	5.6	4.4	1.1	2.2	4.4	33.3	4.4	
身体障害者手帳	6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
愛の手帳（療育手帳）	51	56.9	13.7	9.8	5.9	0.0	3.9	5.9	27.5	5.9	
精神障害者保健福祉手帳	12	41.7	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	50.0	8.3	
発達障害の診断を受けている	25	64.0	24.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	32.0	4.0	
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
障害児通所支援を利用している	17	52.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5	11.8	

問 43 今後、市行政で重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(○印は3つまで)

「児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「特別支援教育のいっそうの充実」の割合が 28.9%、「障害者の就労支援の充実」の割合が 27.8%となっています。

【年齢別】

年齢別にみると、0～5歳で「障害児保育の充実等による親の就労支援」「災害や急病などの緊急時の支援」、16～19歳で「就労系事業所の定員の拡大」の割合が高くなっています。また、「年齢が下がるほど「特別支援教育のいっそうの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	児童の発達相談を 切れ目なく受けら れる体制づくり	特別支援教育のい っそうの充実	教育と福祉の連携 を強めること	障害児の放課後や 余暇活動の充実	成人期の余暇活動 の場づくり	障害者(児)への虐 待の予防・権利擁護	障害者の就労支援 の充実	障害児保育の充実 等による親の就労 支援	就労系事業所の定 員の拡大	重度の障害者(児) の1日中活動の充実 と場所の確保
全 体	90	38.9	28.9	11.1	22.2	18.9	4.4	27.8	17.8	15.6	3.3
0～5歳	13	30.8	38.5	0.0	30.8	0.0	7.7	7.7	38.5	7.7	0.0
6～15歳	62	43.5	30.6	12.9	21.0	19.4	3.2	29.0	12.9	9.7	4.8
16～19歳	12	25.0	16.7	8.3	0.0	33.3	8.3	33.3	25.0	58.3	0.0

区分	在宅でも医療を受 けられる体制づく り	グループホームの 施設整備	バリアフリーのま ちづくり	障害特性に応じた 情報提供	相談支援体制の強 化	障害者(児)への理 解を深めるための 講習やイベント	研修等による支援 者やボランティア の育成	災害や急病などの 緊急時の支援	その他	無回答
全 体	0.0	15.6	3.3	13.3	8.9	4.4	3.3	12.2	5.6	4.4
0～5歳	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	7.7
6～15歳	0.0	19.4	3.2	12.9	11.3	4.8	4.8	8.1	6.5	4.8
16～19歳	0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0

【手帳の種類・診断別】

手帳の種類・診断別にみると、精神障害者保健福祉手帳で「特別支援教育のいっそうの充実」「障害者の就労支援の充実」「研修等による支援者やボランティアの育成」、愛の手帳（療育手帳）で「成人期の余暇活動の場づくり」、障害児通所支援を利用しているで「障害児保育の充実等による親の就労支援」「相談支援体制の強化」、精神障害者保健福祉手帳、障害児通所支援を利用しているで「障害特性に応じた情報提供」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	児童の発達相談を切れ目なく受けられる体制づくり	特別支援教育のいっそうの充実	教育と福祉の連携を強めること	障害児の放課後や余暇活動の充実	成人期の余暇活動の場づくり	障害者（児）への虐待の予防・権利擁護	障害者の就労支援の充実	障害児保育の充実等による親の就労支援	就労系事業所の定員の拡大	重度の障害者（児）の日常活動の充実と場所の確保
全 体	90	38.9	28.9	11.1	22.2	18.9	4.4	27.8	17.8	15.6	3.3
身体障害者手帳	6	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	51	29.4	21.6	7.8	21.6	31.4	3.9	29.4	17.6	19.6	5.9
精神障害者保健福祉手帳	12	41.7	50.0	16.7	0.0	25.0	8.3	41.7	25.0	16.7	0.0
発達障害の診断を受けている	25	44.0	32.0	8.0	32.0	4.0	4.0	24.0	8.0	12.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	6	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
障害児通所支援を利用している	17	35.3	35.3	11.8	29.4	0.0	5.9	17.6	29.4	0.0	0.0

区分	在宅でも医療を受けられる体制づくり	グループホームの施設整備	ちづくりバリアフリーのまちづくり	障害特性に応じた情報提供	相談支援体制の強化	障害者（児）への理解を深めるための講習やイベント	研修等による支援者やボランティアの育成	災害や急病などの緊急時の支援	その他	無回答
全 体	0.0	15.6	3.3	13.3	8.9	4.4	3.3	12.2	5.6	4.4
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
愛の手帳（療育手帳）	0.0	25.5	3.9	11.8	3.9	2.0	3.9	11.8	5.9	3.9
精神障害者保健福祉手帳	0.0	8.3	8.3	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0
発達障害の診断を受けている	0.0	8.0	0.0	16.0	12.0	4.0	4.0	12.0	16.0	4.0
自立支援医療（精神通院医療）を受けている	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病又は小児慢性特定疾病の認定を受けている	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7
障害児通所支援を利用している	0.0	11.8	0.0	23.5	23.5	11.8	0.0	17.6	0.0	0.0

東久留米市の障害福祉施策について、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

全体で 16 件の意見がありました。

No	内容	件数
1	学校教育・通学支援に関する意見・要望に関すること	6 件
2	放課後等デイサービス・預かり支援に関すること	2 件
3	福祉サービスの拡充・相談体制に関すること	2 件
4	経済的支援・手当に関すること	2 件
5	就労支援に関する	1 件
6	将来（親亡き後）への不安に関すること	1 件
7	施設・サービスへの感謝に関すること	1 件
7	その他	1 件

学校教育・通学支援に関する意見・要望に関すること

中学校にも情緒支援級を作ってください。小学校の情緒級に通っている子の行き場がありません 小学校の支援級をふやしてほしいです。私が住む地域からは全てが遠すぎます。一番近いところで大人の足で 30 分以上です。子どもの足だと何時間かかるのでしょうか。そもそも支援級の知的級が 2 年生までで情緒級が 4 年生までっておかしいと思います。情緒の子も衝動性があり危ないのはわかりますが知的がある子も同じですし、子によっては自力で通学できません。そこに差があることと逆なんじゃないかって部分に矛盾を感じています。たぶんみんなそうだと思います 現在、次女が小学校（支援学級）に通っている。中学生に進学する際、市内のすべての学校に特別支援学級が設置されているわけではない現状を懸念しております。このままでは、長女とは別の（支援学級がある）中学校を選択せざるを得ず、姉妹で異なる学校に通うことになってしまいます。どの中学校に進学しても必要な支援が受けられるよう、市内、すべての小中学校において特別支援学級を設置・存続していただきたいです スクールバスを利用しています。来年度から利用できなくなるとのこと、大変不便になると思い、困っています。2 年生も継続利用できないでしょうか。どうかおねがいします 東久留米の中学校の知的ではなく情緒組の新設を御検討お願いします。東久留米にはないので隣の市、西東京と清瀬に市役所にそちらの学校への転入方法をお聞きした時は、慣れた様子で対応された時は、本当になぜ東久留米にはないので悲しくてたまりませんでした。「ああ、東久留米ですね」と案内されたときにはそれらの市役所の方達と苦笑いでした。東京都から予算縮小の打診があったのは理解できますが、他の市ができてい事を東久留米市で議題にもあがらないのは、何故でしょうか、それらの事に納得できる回答がないのが少しずつ支援に通う親たちの間で不安が大きくなっている状態です。年々支援級へ通う児童が増えています。今一度御検討をどうぞよろしくお願いいたします ①周囲の方の理解②通級に通いやすくしてほしい。③学校の先生にも「(知能) 足りないとおもいますけど」と言われたり親の精神面が“一緒に支えていってほしい”人からの言葉で不安定になることがあります。④低学年のうちの IQ で判断するのはとても危険に思います。知り合いの子が IQ69 から一年後 80 以上に上がり通級に通えたと言っていました、その通えなかった一年の方が大切だと思います
--

放課後等デイサービス・預かり支援に関すること

成人後にどのような支援がうけられるのかの情報が少ないのでそのような機会が多く欲しい。放デイの数は増えたが、入るタイミングにより週に何日利用できるできないが大きく差があるので、平均的に皆が利用できるような（何日まで（週））仕組みが必要。先に入った人が多く使っていて後から利用希望しても空きがない

障がいの親も仕事を続けられるように放デイの時間の短さをどうにかしてほしいです。夏季休暇中 10 時～、13 時～利用できるまでの時間をどのようにすれば良いのか、日時一時のサービスもあると聞いたが限度もあると聞き、保育園みたいに 7～19 時/18：30 くらいで預かってもらえる場所を作してほしいです。よろしくお願いします

福祉サービスの拡充・相談体制に関すること

福祉アンケートは、そのような方が家族にいないと。興味すらないと思う。妻が亡くなった時、息子は小学生。仕事がある為、デイサービスを利用していた。私の帰宅が遅くなる事があったり、土日仕事もあり、家をあける事が多々あった。利用する曜日、施設を増やせないか相談したがムリだった。その様な時は、子供を 1 人で家に留守番させるのが正解なのかかわからない。私以外にもこまっている方はたくさんいると思う。今は子供が大きくなっているの、ある程度は解決できる。しかし人はいつ亡くなるかわからない。その時、人は絶望しかない。相談する事ができる所が市役所の福祉課なのか、どこなのかわからなかった。所詮は他人事と思っている方はほとんど。自分がその立場にならないと分からない事ばかりだと思いますよ。その様な方を一人でも助けてあげて下さい。本当に助けてもらいたいと思っている方は目の前にいます。しかしそのような方ほど我慢していますよ。「老害ばかり、自分の保身に走る世の中」この国の未来を考えている人は、一体どこにいるのか聞きたい。私は今後海外に居住します。未来のない国で最後はおくりたくない。「東久留米市が住みやすい市になる事を願っています」

放デイや習い事が長続きしないことがあったので、障害児の特性に配慮した余暇支援の場づくりに力を入れて頂きたいです。どうしても家で過ごす時間が長くなるので親の負担軽減のためご検討の程、よろしくお願い致します。子供が支援級在籍中に環境が合わなくなった際に相談先が見つからず困りました。適切な判断のできる専門スタッフの配置をお願い致します。また、本人は辛い思いをしながら短時間登校を続けていたので、年度途中の特支への転学を認めて頂きたいです。主な支援者である母親が体調不良で入院することとなった際、移動支援サービスによる本人の送迎先をさがしましたが、どの事業所も人手不足などの理由で断られました。利用者に優しい福祉サービス、質の向上を願います

経済的支援・手当に関すること

他市に比べて使える補助金等が少ないと感じる。外国人への援助ばかりでなく障害児（者）に対して健常者と同等の生活がおくれるような支援を期待している

障害福祉課の方にはたいへんお世話になっております。たすかります。市の施策とは異なることかも知れませんが放課後デイなどの利用上限額の高い方への切り替えの収入額が低すぎると思う点（ちょうどボーダーの人とはとてもきついと思います）と、福祉手当が所得の如何でももらえないという点については不満を持っています。所得のことで障害の有無は全く関係のないことなので

就労支援に関すること

就労継続支援の場が少なすぎると感じています。障害者雇用について、勤務形態が 20 時間以上の勤務が基本となるとありますが、この時間設定は誰が決めたものなのか、本当に障害者の立場で考えられているのか疑問しかありません。週 20 時間以上働くことができないから困っているのです。法律での法廷労働時間の半分とは安易に考えられていると感じます。新しいルールとして、超短時間勤務でも障害者雇用の対象（0.5 人分としてカウント）とありますが、1 人分としてカウントしてほしいと切に願います

将来（親亡き後）への不安に関すること

自分が死んだ後子供が一人で生きていけるかどうか、がとても心配です。親がいなくなったあとのことがしんばいです

施設・サービスへの感謝に関すること

周りの方も言っていますが、東久留米市はわかさ学園やさいわい福祉センター等障害者に対するしせつがあり、とても助かりました。障害者が住みやすい町だなと思います。これからもよろしくお願いいたします

その他

質問の内容が1人では分かりづらく、親に聞いてようやく答えられました